京城日報

刊 (朝夕刊合せて十頁)
本紙定價 一ケ月一圓二十錢 前金 ...
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話光化門 振替京城三〇〇番

小林遣外艦隊司令官の報告

【東京電報】小林第一遣外艦隊司令官報告に依る南支長沙附近の狀況は左の如くである [illegible]

震害義捐金 府廳取扱の分

[illegible] 株式會社員一同△三百圓中[illegible]△三百圓勝引虎彥△三百圓三好和三郎△二百圓宗像成一郎△二百圓 京城株式取引所社員館人一同△百 [illegible] 作△五十圓京城ホテル店員一同△五十圓[illegible]火災保險會社々員一同△五十圓新町第一樓本店雇人一同△三十六圓五十錢花月食堂員一同 [illegible] 佐治王明△五圓河田八郎△五圓[illegible] 本妙△五圓白木元吉△五圓礒貝[illegible]一△五圓[illegible]△五圓 [illegible] 田阪太郎、吉田[illegible]、木村又八、[illegible] 今林勝吉、小笹政之、下川[illegible]一、今朝丸村太郎、佐野太吉郎、小山 [illegible] 古賀岩助、礒貝松五郎、安[illegible]三 [illegible] 計四萬二千九百十六圓五十錢

十一[illegible]支那の[illegible]に[illegible]府中[illegible]丸は支那兵[illegible]の襲擊を受け[illegible]は[illegible]地に銃殺され船員船客は生死不明で[illegible]丸は辛うじて危難を脫して[illegible]に寄港した。

最大の脅威 (京城日報)

關東地方に於ける震災は、空前の記錄を殘して既に過去の事實と成つた、而して現存の事實は、數十萬を算する罹災民があることと破壞されたる帝都を始め大小の都市村落、交通運輸の機關、工場其他經濟的諸設備の恢復されざるべからざるものがあること等である而して罹災民の救助は、擧國一致之れに當り、加ふるに近くは支那滿洲より、遠くは歐米の諸國より最も熱烈且有力なる援助を得て、現在既に豫期以上の成績を擧げつゝあるのは、誠に喜ばしいことである、又大都市の建設並に諸般經濟上の諸設備の恢復には、巨額の金を要し、自然相當長き時を要するものと思はれるのであるが、然も今日の狀況を以てすれば災害恢復の爲に必要なる費用は、外債に依ることも出來る順調である、英米の市場は自から進んで援助を與ふる機會の到來すべきを豫期して居るやうである、されば國內に於ける諸般の事業を無視して迄も、助力を缺くことはあるまいが、最も有力なる後援有るが爲めに、これに促されて、豫期よりも早く恢復されることに成るかも知れない、斯く觀測して吾人は、國民の誠意と奮鬪と、努力とを以てすれば、今次の國難に打勝つことは大した困難では無いと信ずるものである然り而も茲に最も恐るべき憂慮なる問題が現れ、甚だしく吾人の心膽を寒からしむるのは、天が我國民をして此上重大なる試練に堪へしめやうとするのであらうか、否か耶。

所謂重大なる國難とは、惡疫を指すのである、昨紙に報道したる通り、東京に於ける罹災民中に腸窒扶斯發生し、蔓延の兆ありとのことである、此れは我國帝都の事情から察して最も恐るべき脅威を感ずる次第である、古來天災又は大戰の後などには、惡疫の流行することが多い、而して惡疫の慘害は、天災や大戰の被害に數倍することも珍しくないのである、其れは斯ういふ場合には防疫の施設を十分にすることが出來ないからである、東京に於ても亦今の場合防疫施設を完全にするなどは思ひも及ばぬことではあるまいか、吾人は之を恐るゝのである、現在の患者數既に千を越ゆといふのであるから、病毒は大分散播されて居りはせぬか、殊に多數の患者を悉く病院に收容するの運びがつかずして、罹災民の救護所に其儘留置いて加療中の者もあるやうである、吾人は當局の大英斷を要望すると共に、只管神明の加護を祈るのみである、斯く神明の加護を祈るに當りて、吾人は朝鮮を顧みることは出來ない、今夏西鮮地方の風災に比すれば、大牛關東地方其他の水害は九牛の一毛にも當らないけれども、朝鮮に於ては未曾有の大天災であり、殊に其が水害であつたので、惡疫に對しても警戒の必要があるのである、是亦朝鮮に取つての最大の脅威であらねばならぬ、吾人は切に一般の警戒を望むものである。

歐米を一巡して

文部省學校衛生課長 北豐吉

私は萬國衛生會議に日本代表として出席の爲め昨年九月日本を出發して十月末巴里に著き十二月開かれる同會議に參列する筈であつたが、同會議は延期して本年五月となつたので巴里に著くと先づ巴里を中心として佛國大都市、それより獨逸に入り伯林を中心に獨逸國內の主要都市の學校衛生狀況、其他を視察し、次いで墺太利、匈牙利、伊太利、瑞西各國を視察の上英國に入り倫敦を中心として英國內主要地の視察を終へて、蘇格蘭を一瞥して諾威、丁抹、瑞典、和蘭、白耳義より再び佛國巴里に入り、五月開催された萬國衛生會議に出席し尚パストール百年祭にも政府代表として出席し、夫れより亞米利加に渡り紐育を中心に各地の狀況を視察して本月歸朝したが今や各國共戰後の施設經營に汲々とし殊に次代國民即ち靑少年に對する施設に怠りない獨逸に於ては戰後兒童の營養頗る惡く之が救濟問題が頗る喧しい。而して此兒童救濟問題は一時的のものなるのみならず同國復興の基礎は現在の靑少年の健康如何にあると云ふ見地から、此靑少年兒童の健全を保護し體力を向上せしむる爲、政府でも一般社會でも努力し、專ら靑少年の福祉增進の方途を講じて學校衛生施設の整備兒童の設營等の施設經營に努めて居る。又戰勝國である米國では獨逸の樣に營養不良に陷る樣な事はないが先般の戰爭に依つて國民の健康が如何に國力と深甚な關係を有するかを痛切に感じて、靑少年の健康增進に注意を拂ふ傾向が一層著しくなつて居る。

日本に於ても官民共に此點に充分注意せられ度い。殊に靑少年を養育する女子の體格が歐米と比較して如何なる狀態にあるかと云へば、之は私が今更言ふまでもない故に今後は大に改善せねばならない狀態である。其處で斯の如き體力を向上發展せしむる事は果して不可能であるか、或は可能であるかを考へる時に、之を學問的に云ふと大に研究を要する問題である併し私共は適當な方法を以て官民が一致し努力すれば必ずや體力を增大し體位を向上せしむる事が出來ると確信するものである。

陸軍側の活動

―陸軍省發表―

關東地方の地震災害に關し陸軍の執りたる其後の處置次の如し

一、赤坂離宮に於ける儀仗衛兵の兵力を增加し御警衛を益々嚴にす

二、第十三師團派遣隊の一部は已に到著し主力は今夜中に到著する筈

三、第二師團の步兵約一大隊をして浦和町に下車し該地方官憲と協力し同町附近の治安維持に任せしむることとせり

四、鐵道隊作業進捗の狀況左の如し

イ、品川、六鄉間の鐵道は鐵道隊の援助に依り已に運行を開始し又明六日より東京橫濱間の運行を開始し得ることゝなれり

ロ、大船以西の東海道線及橫須賀線の復舊工事の爲群馬及富山兩縣下に演習出張中なる鐵道隊を招致中

ハ、鐵道の工事に伴ひ之に沿ふ電信線路の改修工事も併せて實施中なり

五、中野無線電信は復舊を終り本日より中央電信局―陸軍省―中野間の有線電信回線に連絡し石狩―原の町―金澤其他と無線連絡を開始せり

六、軍用鳩を使用し東京附近並に宇都宮、淸水港方面との補助通信を行ふ

七、給水に就ては軍用自動貨車及市の撒水自動車を利用し極力最も困難なる方面の給水に從事す

工兵は引續き水道水路の修理に從事中

八、第二師團より招致せる衛生部員は本日到著直に救護事務を開始し又藥物消耗品約一萬人分を警視廳に交付す

九、下志津陸軍廠舍に避難民約一千を收容せり

十、京濱地方警備に要する經費十日分の槪算參拾九萬五千餘圓を關東戒嚴費として大藏省に要求せり

十一、本日より糧秣等の配給機關を左の地點に設置せり(後略)

震災飛行偵察 中央線と房總半島

―航空部發表―

九月四日 午後飛行機の偵察に依れば中央線は八王子―猿橋間を除き外形車の運行を見る立川驛長より聞知せる中央線の狀況左の如し

1 名古屋―笹子間折返し運轉
2 笹子―大月間不明
3 大月―四方津間四日開通の見込
4 四方津―八王子間開通不明
5 與瀨―淺川間は湯の花隧道陷落平の澤隧道東部陷落
9 上野原―與瀨間與瀨隧道中部陷落
7 上野原―四方津間第二四方津東口隧道陷落

九月五日(午前十一時三十分現在)

一、野島崎燈台倒壞 觀音崎は現存

二、房總半島は九十九里濱方面に於て銚子、一の宮間は被害些く一の宮以南は南方に至るに從ひ比較的大なり東京灣方面に於ては木更津少くも家屋半數倒壞あるも火災の跡を認めず佐貫湊港間に於て貨物列車顚覆しあり湊町南方一の宮附近隧道入口崖崩壞宮金谷北方隧道全壞岩井停車場北方五六百米に於て貨車脫線、那古町船形町殆んと全壞大部分火災の爲燒失、館山、北條は殆んと倒壞のため全滅一部火災、館山停車場全壞、布良は北半部海嘯の形跡あり海岸に木材多數打ち上げ居れり、南軌東の損害大なり

三、外房州に於て長者町大原町は若干の崩壞を見る勝浦町は僅合現存、天津町被害少く米原は學校倒壞、米原大夫崎和田町間の工事中の鐵道被害相當に在り

四、房總半島太平洋方面には海嘯の跡を認めず

日本研究勃興

我國學界の新傾向として最近日本研究が勃興したのは注目に値する此の一、二年間の東京側の新文學士を見るに其約六割は日本研究者で學位を得た科目に見るも神道哲學の田中義能博士神祇史の宮地直一博士、日本倫理の補永茂助博士、古事記研究の三矢重松博士、平安朝の假名研究の尾上八郎博士等其顯著なものである、この傾向が最高學府に學ぶ若い學生間の心理を捕り曾て文科の秀才が擧つて外國文學或は外國哲學に走つたに對し最近は日本研究に走る機運をつくり出した、各私立大學に見るもキリスト敎の立敎大學に文學士星野日子四郎君が神道を講じ、日本大學に文學博士加藤玄智氏が同じく神道を講じ或は高野山大學出身の秀才が前例を破り、東京帝大の神道講座聽講を願ひ出でた等に欣賀すべき傾向である。

話の種

◇飛行機は一千年前の發明 印度ラホール新聞所載に依れば飛行機は歐米人の負ふ物で無く今より一千餘年前印度の北部ラホールで飛行機に乘つて二町有餘を飛翔した古文書が現れた事より以て、飛行機發明の名譽は印度人の負ふべきものであると誇つてゐる。

◇巴里にも大野事件 曾て大野博士が良家の性的智識の無い娘を辱めた。佛國巴里にも同樣の事件があつた。即ち巴里の富豪ジヤツクレー氏の令孃は本年二十歳、深窓花の如き美人であるが、深窓に育つてゐるから未だ性的智識がない。處が本年二月頃から健康が勝れないので掛りの醫師へ通つてゐた處、いつしか姙娠の身となつたので、本人も兩親も殊の外驚き種々調査した處、令孃の知らぬ內に掛醫師があるものを令孃の身體の一部に注入したのが原因で姙娠した事が判明して直に告訴したと

◇日本犬の保存を叫ぶ 米國シカゴ市にラーネツトといふ婆さんがゐる極めて犬好きの人で此れ迄日本へ日本種の犬を買ふ目的で來た事が三回にも及んでゐる位であるが純粹の日本種の犬が漸々無くならうとしてゐるのを慨し、今の內に適當の方法を講じなければ數年を出でずして全滅すると各方面の有力者に檄を飛ばしてゐる。

朝鮮及滿洲

九月號(第百九十號)(一册六十錢 半ケ年分三圓六十錢)

東亞に對する米國の政策……デンネツト博士
日華文化同盟の提唱……平沼法學博士
鮮滿の財界……美濃部鮮銀總裁
朝鮮に於ける佛敎流布の槪觀……渡邊彰
婦人科とラジユム……工藤ドクトル
親鸞聖人と文化生活……淺內文學士
米國雜感……阪城ドクトル
夏の東京……村上狂兒
東京通信……飛魚漁郎
朝鮮から東京え來て……村上狂兒
山本新內閣の出現 焦土と化せる東京……東邦、鶴尾春渚
共進會に對する希望……諸名士
南滿洲の一角より……虹公
滿洲時事漫言……中山偶葉
滿洲三行だより……支局一記者
仁川と元山……東邦生
京城の運動界……新城正雄
森勝家事件は世人に何を敎へるか……東邦生
財界漫言……竹堂生
銀行取引停止者……一記者
山本內閣成立と閣員=朝鮮だより=滿洲だより=
世相百態=風聞駄語=
大地震大火災の槪況
人肴楷頭の哀史(二)……樋口泡香
耽溺者の群れ……松尾猶月

發行所 朝鮮京城府南山町一丁目 朝鮮及滿洲社 電話一二五〇番 振替口座京城一三二番

測量諸機械

在庫豐富

京城本町一丁目 篠崎商店 電話本局一三〇三番 六四八 振替口座京城一五四番

エルネマン會社製
ミニアチユア クラツプ
ツロ ペン クラツプ
ペ ロ クラツプ
ヘツグ ボツク 各種在庫

ゲルツ、イカ、コンテツサーネテル、カードベレチン、オリオン、カールツアイス共他有名なる寫眞機及材料製造會社の製品を最も豐富に取揃へてゐます
目下上記の各社製品の內優秀なる品を特價提供中のもの多數ありますから安價に御希望のカメラが御手に入るものと信じます。御希望の方は是非カメラ御照會の程御願ひ致します

(アクファ) ロールフキルム フキルムパツク 普通、整色乾板 現像藥品 閃光粉 寫眞機械各材料

直輸出入商 奉天浪速通六 木村洋行 電話三三四番 五四番 振替大連三五五番 私書函第三一三番
小寶部 岡田本店 支店 大連、哈爾賓

洋鐵鋼鐵道船舶土木建築材料其他工業諸器械附屬品商 釜山幸町 角野商店 (電話二三三番 振替京城一三九)

ロシアを解せんとせらるゝ御方は先づ當地へ御來遊願上候
哈爾賓 北滿ホテル
大食堂にて毎夜ロシア名物カバレー劇を開催致居候

結核專門 古賀病院 九州線鳥栖驛より四丁 田代

商業登記公告
●ルウ運輸組(變更)大正拾貳年九月七日營業所ヲ平壤府大和町八番地ニ移轉シ同日商號ヲ丸ウ運輸組ト變更ス
右大正拾貳年九月八日登記 平壤地方法院

商業登記公告
●株式會社朝鮮殖産銀行(變更)事務所ヲ左ノ所ニ移轉シタリ 大正拾貳年九月五日 京城府中學洞拾八番地
右大正拾貳年九月七日登記 京城地方法院春川支廳

商業登記公告
●株式會社朝鮮商業銀行(變更)森悟一ハ大正拾貳年九月五日其ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉シタリ 京城府中學洞拾八番地
右大正拾貳年九月七日登記 全州地方法院南原支廳

京日案內 五號活字十六字詰九行一回壹圓五十錢 名ヘ毎回毎ニ貳拾錢增料金ハ前納ノ事

外交員募集 本人來談 專賣特許キネマ盃朝鮮代理店 二葉商會 京城府本町二丁目壬一番地

株券 金融 自九時至五時 日步安簡單御便宜に取扱申上候 御照會次第御返信 電話本局二一四〇番 明治町一ノ五九 竹下

貸家 平家建十二疊二間外に二階建七室浴室附庭五十坪水道電燈 (所在永樂町) 宮本會社 御向永樂町二ノ八五 伊藤 電三一三四

買入 商品券公債社債 御一報次第御伺申候 京城旭町一ノ二(日の出湯前入) 本局八八三番 齋藤商店

月賦 販賣 樂器は光化門 ピアノ オルガン 蓄音機 運動具 123番に 京城鐘路大通 セヤマ樂器店

電話 電話賣買貸付金融 低利迅速 公債債券高價買入 明治町賣化病院橫(電本局三〇二四) 小出商會讓受 井上商會

ほねつぎ くじき 一切の治療御依賴に應す 京城明治町貳丁目 柔術道場

貸家 吉野町一丁目百番地 四疊半一間三疊一間 官吏會社員向六疊一間 御希望の方は 家賃二十五圓 電話本局四七六番へ

貸家 吉野町一丁目 四疊半三間內 官吏會社員向六疊一間 御希望の方は 家賃五拾圓 電話本局四七六番へ

賣地 若草町大通角地面百三十坪 適中央試驗所會社事務所病院 十七坪何れも附近三百坪及七十坪林 京城府大和町二丁目三 住宅地格安賣却 白島方へ

通信敎授 バイオリン尺八 何人もスグ上達する新發明講義錄 くわしき規則書進呈(僞物注意) 福岡市中島七〇 大日本家庭音樂會

特別欄

京城自動車學校
公認 生徒募集 入學無試驗 卒業生技能優秀 京城府貧金町三ノ一
運轉手不足の爲め卒業生の就職は容易なり
東京市京橋區 東京自動車學校
福岡市中島町 福岡自動車學校
大阪西區市岡町 大阪自動車學校
姉妹校

一陣の秋風爽やかに
吾人が活動慾をそゝる時
樹上唯一の良友
セブラペン
の光輝燦然たるあり
腕は高鳴る
血は湧立返る

品目
1 金G ペン先
2 銀G ペン先
3 金銀行ペン先(二號)
4 金銀行ペン先(二號)
5 銀銀行ペン先(二號)
6 銀銀行ペン先(二號)
7 金二重ペン先
8 丸ペン先六五九號(製圖用)
9 スクールペン先(五號)
10 金一七五號ペン先
11 銀一七五號ペン先
12 金一入三號ペン先
13 ニユーム鍍(一二〇號)ペン先
14 鍍鉛(一二〇號)ペン先
(右の外八種合計二十二種あり)
(一錢郵券十五枚御送附次第見本として下記品目全部取揃へ進呈)
東京牛込 石川ペン先製作所

時代の進步に伴ひたる皮革界の驚威
⊙文化皮革の出現(專賣特許出願中)
本品は今般拙者發明し(目下專賣特許出願中)たるものにして經濟と實用とを兼備し今回廣告の爲各位へ極々元價にして提供致候間左の用途によ り是非一度御試用被下度奉願候

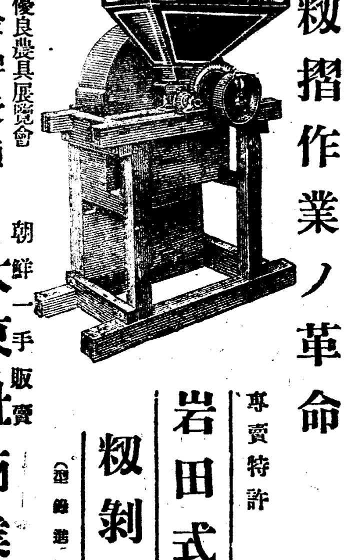
本品特徵
一、價格の低廉なる事約皮の五分一
二、强き事は皮革の數倍
三、使用極簡易素人の裁縫に適す
四、如何なる物にて磨擦するも變化せず
五、防水、防寒用最適品
六、幾年使用するとも變化の憂なし

用途
座蒲團 運動靴 靴及袋物 温突用紙 防寒手袋 ゲートル 防水防寒衣服
下駄(花緖生皮) 足袋類 椅子 テーブル掛 寢臺 製本表紙帳及 其他各種

特約店募集 各郡府一名限り見本入用の方は郵券拾錢添附を要す

朝鮮文化皮革製造所 巧精社 京城府古市町十四番地 電話本局一八一番

糀摺作業ノ革命



岩田式 糀剝機
專賣特許
全國優良農具展覽會 金牌受領
朝鮮一手販賣 大東社商業部 京城府黃金町二ノ二七 電話本局七二二 (型錄進呈)

毛、綿、各種 見本陳列
蜂印 イロハ靴 運動靴
登錄商標 蜂印メリヤス 揃品
現金問屋
相場表進呈
一手發賣元 大阪市東區南本町四丁目 中川商店 電話長二六〇五 二六〇六番 振替大阪五三三番

魔法瓶と水筒
京日特選 金星印魔法瓶
三合入 二圓三十錢
四合入 二圓六十錢
五合入 二圓
荷造送料共 三合入七十錢 四合入九十錢 五合入一圓
學生用水筒
ラシヤ覆 四合入 一圓四十錢
別珍覆 二合入 一圓三十錢
別珍覆 三合入 一圓四十錢
黑塗 三合入 一圓十五錢
荷造送料共 四十五錢
京城太平通 合資會社 京日代理部 電話光化門六三〇番 振替京城三〇〇番

鞄―靴―洋服

大田監獄調製學生服販賣開始
學生靴 特價販賣す御入用の方は御一報次第御伺可致
學生鞄 京釜線大田春日町一 京城市內は店員拜趣 地方の御方には型錄送付可仕候
製造販賣 朝鮮革具合資會社 長電話一七二番 振替京城九八〇七番

クスリはスクリ 藥劑師調劑は藥局

京城著名藥局案內(イロハ順)
明治町二 橋爪藥局 電本二五二五番
龍山元町 林藥局 電龍三二二番
本町四 ダルマ藥局
本町一 山岸天佑堂藥局 電本二〇一四番
本町二 古城贊化堂藥局 電本一〇二番
大漢門前 愛生堂藥局 電本二四〇〇番
明治町二 阪井藥局 電本一四四四番
本町二 北島藥局 電本七六一番
本町三 ミヤモト藥局 電本三二二七番
本町三 森川回天堂藥局 電本二二七六番

藥品純良 調劑確實

桑港米人擧つて震災救助に努力
排日派たると否とを問はず

【東京電報】桑港米國人側では千九百〇六年桑港震災の當時日本から受けたる同情に報ゆる爲め日本救援會を組織し義捐金五十萬弗の募集に着手したが市内の新聞紙は其の排日派たると否とを問はず筆を揃へて日本救援を絶叫し去る一日の如きは三十四回の號外を發行した尚全新聞紙は震災の記事を以て滿たされて居ると

倫敦の救濟醵金七十萬圓に達す

【倫敦九日發電】倫敦市長發起の日本震災救濟資金醵集額は現在七萬磅（七十萬圓）に達し既に第一回の分としての三萬六千磅は日本に對して交付された

伊國の同情深甚
近く慰問使を差遣されん

【羅馬九日發電】日本の大震災に對する伊太利官民の同情は伊國自身も有名なる地震國であるだけ一層深甚であつて皇室よりは慰問勅使を出す外同地大使館に對し朝野官民の見舞訪問頗る多く落合大使はその應接に遑もない狀態である

海關税を救恤金に
向ふ一ケ年間一割引上決議

【上海電報】支那は會議を開いた結果日本震災救濟資金醵集策として全國海關税を向ふ一年間一割引上て其年額を日本救濟資金に充つる事に決議した

段氏十萬元を電送

【大阪電報】段祺瑞氏は九日天津から横濱正金銀行大阪支店に向け十萬元を電送し尚之を救恤金として山本首相に對し交付方を電報して來た爲め正金大阪支店は十日東京に宛て電送の手續きを爲した

日銀總裁に慰問電報
紐育聯邦準備銀行より

【大阪電報】紐育聯邦準備銀行より日本銀行總裁に傳達されたき旨九日大阪支店へ左の如き來電があつた『今回日本に起りたる悲慘事の通報に接し驚愕痛心に堪へず紐育聯邦準備銀行の重役並に行員一同は貴下に對し深甚なる同情を表し併せて吾等の出來得る限りの力を盡して貴國に對し援助を惜まず』

生保大體基礎案
十日協議會を開催

【東京電報】今回の大災害に付き生命保險會社としては未だ具體的の決定を見ないが大體に於て
一、保險料徴收は普通延期許可に更に二ケ月間を猶豫すること
二、被災害者に對する保險金の支拂ひは一日も早く支拂ふ樣實施すること
三、保險金の支拂ひに付各社とも現金貯金公債社債株券其他財産を政府當局に提供して現金と引代へる事
以上三項を基礎として十日午前十一時より帝國ホテルに協議會を開き協議した

生保支拂更に延期

【東京電報】生命保險料金の緩和に就ては嚢に二箇月間之を延期することにしたが更に二箇月間延長し都合四箇月を延期することゝなつた

新聞通信社の善後策

【東京電報】東京市内の新聞通信社は八日午前十時より帝國ホテルに集合し左の善後策に就き協議した
一、鮮人に對する保護を一層周到ならしむる樣政府に勸告すること
二、火災保險の支拂に對し機宜の處置を講ぜしむること、及び火災保險に加入し居らざる者に對しても此の際相當考慮を拂はれたき事
三、公共機關に對しては速かに軍用電話若くは無線電話を以て通信機關を開始すること
四、借地人の借地權は此の際之を確保する方法を講ぜられたきこと
五、此の際經濟を爲すに當つては都市計劃の大方針を確定するの必要あり從つて速かに之を發表すること
等を決議し之を山本總理後藤内相井上藏相其他に通告することゝなつた

三井山下移轉
本店を大阪へ

【東京電報】三井、山下兩財界の大立物は會社の總部何れも本社の事務を大阪若くは神戸に移す事に決定した

海軍工廠第二次淘汰中止

【佐世保電報】海軍大臣は今秋十月下旬を期し過般の軍備縮小に伴ふる海軍工廠職工の第二回整理を斷行すべく其旨海軍工廠長に内命して居たが關東地方今次の震災に鑑み之を中止すべく佐世保、呉、横須賀各鎭守府司令長官大湊、鎭海、舞鶴、馬公各要港部司令官に宛て其旨電報を發した乃ち淘汰職工の餘命は之に依り尚暫らく繋がれる事である

下院各派交渉會

【東京電報】衆議院各派交渉會は十日各派より十六名の實行委員を選出し大震災に對し協力一致して善後策を講ずること本年度衆議院の支那視察議員派遣は之を中止すること等の申合せを爲した

清水有望
横濱に代る良港

【靜岡電報】横濱商業會議所では差當り清水港を横濱港に替へる可く調査員を同地に派遣する事は既報の通りであるが清水港は二萬噸級の大船をも入港せしむる事が出來るので設備を施せば將來横濱に代る貿易港として有望であると期待されてゐる

開始困難
東京米穀立會

【東京電報】東京米穀取引所評議會は十日午後一時竹田理事長邸にて開會左の件を評議したが何等決定を見ず無條件解合を主張する者等あり爲に到底本月中には立會ひ開始は困難であらうと
一、現在の建玉を如何に處分するか
二、何日頃より場を開くか

府縣會議員選擧延期
近く公布されん

【東京電報】十日閣議の閣議にて府縣會議員選擧期日の件を決定十一日樞密院會議に附議し緊急勅令を以て公布される筈であるが延期される地方は左の如くである
東京府、神奈川縣、埼玉縣、千葉縣、靜岡縣

横濱電車の復舊は約二ケ年を要せん
當分トロッコを運轉

【大阪電報】横濱市天野港務部長は十日大阪府廳電氣課を訪問し目下の狀態にては横濱市街電車の復舊には約二ケ年の日時を要すべき見込なるを以て差當りの方法としてトロッコを使用し貨物の運搬を爲さしむる計畫の下にトロッコ二百臺の輸送方を依頼した

物質的には屆かぬが精神的には盡力する
新任駐日支那代理公使下關で語る

【下關電報】新任中華民國駐日代理公使施履本氏は震災慰問使を兼ねて李秘書官外九名を隨へ十日關釜連絡船にて東上したが氏は語つて曰く『今回貴國の大震災に就ては支那の朝野を通じ何れも非常に同情し目下極力救援事業に奔走してゐる、北京政府も出來得る限り御援助したいのであるが何分にも財政が極端に窮迫してゐるので物質的には遺憾ながら充分のとが出來ない、故に物質的の方面は姑く措き精神的には縱令如何なる犧牲を拂つても出來る丈のことは致す考へであるが大震災の報道が區々にして正確なことは判らない、張駐日臨時代理公使は今尚生死不明であつて横濱駐在總領事の一家は全滅したと云ふ、又在京の民國留學生二百名の處置も至急につけねばならないので震災地の視察と貴國の慰問とを兼ねた余は施氏公使として赴任の期を早めて北京政府から派遣されることになつたのである』云々

本年度募債打切り
明年豫算大緊縮

【東京電報】大正十二年度の募債計畫總額は一億五千九百萬圓なるが此の内今日迄の既發行額は鐵道事業公債三千萬圓で殘額の一億二千九百萬圓は緊急止むを得ざるものを外償に仰ぐの外全部募債を打切りとなす筈尚明年度も募債計畫は殆ど打切るのみならず剩餘金の消滅歳入の減少自然減收等により同年度の豫算は所謂災害豫算となり大緊縮が斷行される筈である

對外貿易
朝鮮客月成績

本月中朝鮮對外國貿易額は輸出八十四萬餘圓、輸入六百八萬餘圓、合計六百九十二萬餘圓で前年同期に比し輸出四十五萬餘圓輸入四十二萬餘圓合計八十七萬餘圓の減少を告げた而して一月以降累計額は輸出一千四百八十四萬餘圓輸入七千三百九十一萬餘圓合計八千八百七十五萬餘圓で前年同期に比し輸出三百八十五萬餘圓輸入五百六十萬餘圓合計九百四十五萬餘圓を増進し貿易の趨勢は輸入超過五千九百七萬餘圓を前年同期の入超額に比し多少増大を呈した。今本月貿易の内容を見るに輸出では各重要品殆ど一齊に不況を告げ就中前年同月に比して減額の大なるものは煙草の十七萬餘圓、木材の十二萬餘圓、米十萬餘圓であつた次に輸入では是迄も相當入荷せられし滿洲粟が西鮮の洪水から同地方下層者間に一層需要増大して百九萬餘圓の入増を呈し其の外内地向砂糖綿は引續き好調で五十九萬餘圓を前年皆無なりし執胎類は四十三萬餘圓を數月來入荷少なかりし石油は十九萬餘圓を増加したけれども此等増進貨物の種類は比較的少かつた然るに不振を告げた貨物は硝金巾類四十二萬餘圓、木材三十萬餘圓、小麥粉十四萬餘圓、爆發藥十一萬餘圓等が減額の大なるもので其の他の各品に就て見るも減少敢て顯著ではなかつたけれども重要品の大多數は何れも入減に終つた

帝都復興省を設置せん
復興大臣を置きて

【東京電報】東京市の復興は今や一般の輿論となつて居るが内務省では昨今都市計畫委員田子教育課長等連日協議を爲した結果取敢ず十一日都市計畫局では海軍省構内に事務所を設けて事務を開始し尚近日中五十億乃至八十億圓の經費を以て帝都復興省を設け復興大臣を置くことゝなつた

教科書供給には震災は影響しない見込
學務當局者は語る

東京を中心とせる今回の大震災は各方面に多大の影響を與へた事は今更云ふまでもないが差し當り朝鮮の教育上に及ぼす問題としては國定教科書の供給如何である。右に付當局の發表せる所によれば今回の大震災に際しては東京に於ける國定教科書飜刻發行會社も災害を蒙つたのである。これが爲本年度後期用教科書の供給は當然差支を生ずるであらうとの事が既に各紙上に掲載されて居るが、幸ひにも朝鮮内の

小學校用教科書

は最早各道、京城の兩特約販賣店へ大震災前現品が到着して居たのである。從つて供給上には何等差支を生じない事となつて居る。

普通校用の教科書

も亦幸ひにも本年度より朝鮮印刷株式會社に於て其製版を爲す事となつたので震災には何等關係はないのである唯教科書中挿繪の電氣版は東京に注文せるもの丶内二三途中で行方不明の分があつたのでこれは幾分印刷に差支を生じた樣なものゝこれも會社に於て極力應急の手段を講ずる事となつたので要するに後期分の教科書供給は大體に於て差支ない見込である。云々

米價前途

震災以來一時先高を期待された米價は其後暴利取締支拂猶豫、諸取引取締三勅令の發布に依り思惑全く消滅し内地期米は約瓶落しの傾落を演じ鮮米も稍落ち付き模樣を見せてゐる、米價の前途に就て硬軟兩派の觀測が區々であるが今の處作柄も順調であり震害減收及び震害地への米運送に基く各集散地の品ガスレも大局から見て餘り問題とならぬらしい、從て目先き供給上の壁跌は起らぬ見込であるから天候の異變が無く現狀を維持するものとすれば高値は望まれず又下値も淋しい模樣で先づ小幅保合を繼續すると見るが至當であらう、

建築材料
震災影響甚し

關東地方震災の爲め商工界は全國的に甚大なる影響を蒙り殊に建築材料の如き當面必需の商品にありては全國的に相場の變動を生ずべき勘されて居る、而して其内數量も大なるは鐵材、セメント、木材等にして朝鮮の如き當分内地より移入を仰ぎ得ざるのみか却へて逆移出するを要すべき形勢にあるが鐵材は兼二浦製鐵所の擴張、各地方に鑄鐵工場盛にして尚在庫品も相當にありて當分補給に困るすこともあるまじくセメントは平壤小野田セメントの擴張、外に慶尚南道仁川稼島に於て東洋セメント會社を計畫するものあり在庫品を合はせて自給に支障なく木材も亦鴨綠江大水害に遭逢せしと雖も内地に供給して尚相當の餘裕あり而も本年建築界は例年に比して不振の爲め散在にして是等建築材の需要一惡化し後なるを以て市價には大なる影響なきものと觀測されて居る

鮮人留學生は穩健
震災に亂暴は働いてゐない筈
一層教育を普及させたい
長野學務局長談

東京を中心とせる今回の大震災に就ては巷間傳ふる所によれば一般内地在住鮮人は可成りに亂暴を働いたものもある樣である。この噂は尚充分に確知する事は出來ないが尚これが事實とすれば甚だ遺憾と謂はねばならぬ。然しそんな事を

やつたとすれば勞働者側の所爲と思ふ。それは無智の勞働者で苟も朝鮮人留學生の内斯くの如き行動に出たものは一人もあるまいと思つて居る。過般自分は鮮人留學生の暑中休暇で歸鮮した者を招致して一同と談話を交換して見たが何れも同じ一視同仁の此政治を解して居るのみならず、其聖慮の厚きに何れも感激して居る狀態であつた。留學生は實に斯くの如き者ばかりであるから今回の震災と雖も恐らく穩健なる行動に出たものと思ふ。それを一部不心得の鮮人があるため種々の揣摩臆測を受けねばならぬと云ふ事は誠に氣の毒の至りである。然しそれは

今に判明する事であらう。次に來年度の國民教育の方針であるがこれは新教育令發布後三面一校主義を採用し着々それに向つて進行した爲既に三面一校は終了するに至つた。そこで學年延長であるがこれも來年度を以て無事終了を見る事となつて居る。然し尚普通學校四箇年を終業したまゝ教育を中止する者も決して尠くないので、これでは充分國民教育が徹底しない

それに對しては來年度は相當計畫を樹立して居るがこれは是非とも來年度から實行して出來得るだけ實業教育の普及を圖りたいと思つて居る。これによつて四ケ年で中止せんとする者も非常に便宜となり延ては國民教育も一層徹底する次第である云々

支店銀行
鮮内放資雜事

京城に於ける各銀行は關東震災の爲め手形交換延期となつたので朝鮮も預取引上影響を蒙る事を豫想し貸出に對して警戒を加へてゐたが七日頃は當分一口一千圓以上の内地送金を停止する旨各銀行に通達した是が爲め支店銀行は當然一時内地から來て之を京城で取立てた處で其資金を内地に送るには現金で輸送するか或は米穀其他の手形を買付け本店で取立てさせる外途がなく且今日の場合現送は危險であり又内地で取立てる事は差當り不可能であるから自然手許資金に餘裕を生ずる事となり之を利用するには鮮内で貸付ける外は無いのであるから支店銀行として營業上の關係を中斷させる譯で不便を感ずるであらう併し是が爲め鮮内の金融が遽かに好轉するものとは期待されぬが若し是等の資金が鮮内で放出される事となれば事業界其他好影響を受けるものが多い併し今日の場合各支店銀行としては鮮内放資は行はぬであらうと觀測されてゐる

京城商品界（二）
震災影響如何

内地關東地方の大慘害が京城商品界に如何なる影響を及ぼすかに就て先づ本町通り共同販賣所から南大門通及本町筋に於ける主なる小賣商店の意見を叩いて見ると大要左の通りである

食料品雜貨 食料品は或特種のものを除く外大部分は關西地方から來るのだから殆ど影響はない只被害地の需要が激増した爲め一時に一割乃至一割五分の値上があつたと傳へられたけれどもこれはほんの一時的で直ぐ元々通りになつたといふから今後何か大した値上を見ることはあるまいがつて朝鮮の小賣値段に差して響きはない筈である事に角今日の商人の觀察としては些少元値に動きはあつても小賣値段は斷じて上げないと云ふ事に

菓子類 菓子類も洋菓子日本菓子何れも生產地は殆ど關西地方だから生產には支障を來さない譯で値段も上る筈はない原料に多少の動きがあつても極些細なものだから小賣相場に影響する程のことはない東京に工場の在るのは森永製菓會社が一番大きいけれどもこれも各地に工場が散在して居るから本元が休んでも他地方で間に合せがつくから差支へはない

藥品類 藥品類も東京の三共製藥會社が罹災したから『タカヂアスターゼ』とか其他の新藥（現在三百種以上）には餘程影響して供給上にも不足を來すかも知れないが大部分は大阪で製造して居るし又獨逸からどしく輸入されて居るから一向差支へはない値段も定價が極まつて居るから勝手に高く賣ることは出來ない但し繃帶類は自然多少の昂騰を見るかも知れない然しこれとても徴收令が發布されて居るし殊に各師團の在庫品をどしく持出して使用して居るから大した事はあるまいよし上つても全く一時的で決して持續はしない

需要期も近づき殊に京畿道の本年の米作は至つて豐作だから今後ますます下りこそすれ上る氣遣ひは毛頭ない其他の日用品も震災前と比較して變が一升に就て一錢上りの二十一錢であるだけで他は少しも上下なし

今參考までに 十日現在の小賣値段を擧げると▲薪十貫匁九十錢▲木炭上一俵一圓三十錢▲鷄卵十個十五錢▲牛肉上等百匁五十六錢▲食鹽小一瓶十錢▲砂糖白一斤二十九錢▲醬油一升七十五錢▲味噌一貫匁六十五錢▲淸酒上一升二圓▲粟上一升二十錢▲麥一升二十一錢▲白米特等一升三十九錢五厘といふ狀況で落着いて居る但し金巾は震災前よりも少し上つた三エー印で震災前は百二十圓二十六圓五十錢のが今は二十八圓三十錢になつて居る然しこれは震災の影響ではない今が朝鮮の需要期なので每年の例として自然であるから問題にはならない

天圖開通延期

【會寧特電】天圖鐵道は龍井より天寶山に至る第二期工事は既に着手せし處財界變動の爲め來年四五月頃まで工事を中止し土木請負者は皆龍井に引揚げた從つて十月十四日に擧行さるべき同鐵道開通式も或る時期まで延期された

全鮮宣教師大會

全鮮宣教師に於ては來る九月十五日より五日間ピヤソン記念館に於て宣教師大會を開催する事になつたが出席者は百四、五十名に及ぶ筈で有吉政務總監も十七日出席する豫定である

移出餘力二十萬石
朝鮮の米價は騰るまい
京畿道商工課長 尹泰彬氏談

内地に於ける未曾有の大震災を聞いて京城地方でも一時米價の釣上げを企てたものもあつたやうだが社會の監視も中々八釜しい上に官邊でも暴利を取締る方針をとつて居るので第一買占めをするにも金融の途がないそれやこれやの關係で今日では

全く奸商輩は 其影を潜めて白米小賣値段も特等三十七錢から四十錢五厘までに上つて居たのが十日の小賣値段は一錢下がつて三十九錢五厘になつたこれはまだ／＼下がる見込で居る、といふのは東京で深川其他の倉庫にあつた米を約五十萬石と多く見積つてこれが全部燒けたとしても既に大阪方面からだけでも五十萬石の米が入つて居るから朝鮮の一萬石其他各地から入るものを加へると震災前よりも多くなつて居る現在東京の人口を二百萬として一日一人平均三合づゝ食すると見ても一日の

消費量六千石 であるから先づ當分の供給には差支へない譯である續つて當地の現在はと見ると平年より移出に於て二十萬石減つて居るだから尚二十萬石の移出餘力ある上に京城の在庫米約一萬石仁川の在庫米約五萬石それに漢江里方面には約二萬石の籾がある東幕里方面は個人としても一萬石以上の籾を貯へて居る其上に

京城商議救恤費可決

京城商業會議所では八日役員會を開き震災救恤に關する諸件を協議したが更に十日午後二時から評議員會を催し滿場一致を以て左の二件を可決した
一、震災地混雜の際に就き慰問使派遣は見合せる事
一、本年度の豫算で副業共進會店頭裝飾並に優良店員表彰等に支出する事となつてゐた商工業施設費五千圓は商業復活費として東京商業會議所に寄贈する事

高女校長會議
延期となる

本月二十五日より奉天に開催の筈であつた全國高等女學校長會議は大震災のため明年に延期されたと

朝鮮新聞差押

十一日附發行朝鮮新聞は治安妨害の廉に依り差押へらる

ヨシアシ

こんどの大震災でも、淺草の觀音と、芝の增上寺とは少しの損傷も無い。建築家は大に頭をかしげねばいかん

◇震災地では人手の不足に非常に困つてゐる。在東京鮮人の大團體である相愛會の無料勞力提供はかゝるが故に美擧であり、尊くもある。

◇内地の大震災を奇貨措く可しとして、奇々怪々極まる言辭を弄し、朝鮮統治の根幹を蔑すやうな思想を撒布する朝鮮文の新聞が朝鮮にあるとしたならば如何。

◇東亞日報と朝鮮日報とは果していかなる思想を鼓吹してゐるか。

◇朝鮮統治下の急を要するもの丶一つは不逞思想を宣傳する新聞の發行禁止である、すなはちそれは確に思想善導に資する所以であるんである。

◇微溫な手術は結局大患の因を爲す何事も徹底的に考へて最も勇敢に行ふが肝心だからねー。

◇東京では、自轉車や運轉手の日給一金五十圓也と、まるで火事場泥棒みたやうなもんだ。本當に然うではないか。

厨川博士
海嘯に逡はる

子夫人に伴つて明暮となつた

姙婦二十三名

（京都電報）十分京都醫專の艦車で歸來した際……所に收容されたが其數は九日迄の一時に三十名に及んでゐる同所には醫師と助產婦の配備があつたゝめ内二十三名は無事に分娩した

夫人は壓死

大島大將小田原別邸で壓死したと傳へられたが大將は無事なれど夫人並子……は壓死した

鮎貝事件の嫌疑者として檢事局にて取調べ中であつた森村太郎、同……の兩人は九日にて檢事の拘留……

下手人ではない

鮎貝氏夫妻を襲ふた下手人が其筋に逮捕されたと云ふ風評があるが……鮎貝氏に關するもので鮎貝氏事件とは別問題である

面長を

九日午前一時頃平北寧邊郡大德面……

毒物投入の形跡
檢査の結果なし

堀田伯夫人
壓死

不明を傳へられた二條……事である（大阪電報）

電話四〇九番 佐藤病院 院長 ドクトル メヂチネ 佐藤小五郎 入院應需

藥 勉強第一 親切本位 在庫豐富 出荷迅速 釜山辨天町一丁目 合資會社 大黑周壽堂 電話長四〇五 三七一 振替京城四五六

御料理 安東縣 太陽樓 電話七三番

御料理 安東縣 電話二五九 五九二番 由良之助

最上醬油 龍 ウリーコッキ 丸通醬 日本醬油株式會社

福岡市外水茶屋（縣立病院内） 認可 福岡產婆學校 產婆生徒募集

鞄は丸喜のカバン 合資會社 丸喜商會 京城本町二丁目三 電話本二七五 振替二三〇一番

代表商品 ソーウル自轉車發賣元 ユーニツク及各國自轉車並ニ附屬品一式 修繕ハ親切ト神速廉價 大高自轉車商會 京城明治町壹丁目 電話本局三〇〇番

資本金壹千五百萬圓 積立金 繰越金貳百拾六萬圓 株式會社 十八銀行京城支店 京城府黃金町二丁目 電話本局六一 振替口座京城一四 同 新龍山支店 京城府漢江通り十三番地 電話龍山五五 振替口座京城一八三 同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話龍山一八 銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

痔疾專門 京城久枝肛門病院 入院隨意 城防治町二ノ三一 電話本局二一〇二番病院用 三七二番宅用

醫療化學諸器械一式 ® 北島藥店 仁川本町 京城本町 永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六

藥種賣藥卸商

京城永樂町二丁目 入院隨意 酒井婦人病院 電話三〇三番 酒井一郎

各種金屬美術品 白金地金 金銀器製作 德力 京城明治町一丁目 電話二一五七番 振替京城三四 德力商店

凄慘なる猛火の洗禮に
大東京は二晝夜で燒野原と化し
本社支局も遂に火神に呑れた

本稿は六日正午本社東京支局より大阪へ直行せし所澤飛行郵便に託し大阪より普通郵便にて十日夜本社に著せしものである

曠古未曾有の震災、火災、狂暴を極めしつゝある颶風の如き帝都の燒跡の眞ッ只中に立ちて震災後五日にして初めて緘されたる此の第一報を發す

三百年の德川の文化を享けて明治大正の輝やくたる文化的文明の發達たりし大東京市は一瞬にして顚覆した、一日午後零時半に突如出來した第一回の上下動の際丸の內に建築中であつた九層樓一建坪一萬坪の內外ビルデイングが第三階目よりよろめき折れて二百名の職工を鐵の柱と共に木葉微塵の運命に導き又さしもネヲネツサン式の建築の美を誇つた東京會館や丸の內ビルデイングの大建築の天井を落し壁を破り住むに由なく毀ちた事を手初めに宮城の石垣を崩壞せしめ淺草の十二階の塔を半ばから折り其の他市の建築物に魔王の一擊を加へたと見るや直に恐るべき悽慘なる猛火の洗禮が續いて來た、記者をして自己の脆弱なる經驗を顧らしめよ、支局の事務室に執務しつゝあつた記者は上下動のシヨツクを感ずると共に一瞬の猶豫に驅はれて逸早くテーブルの下に潛入するや壁畫の崩れ落ちる音、飾立の倒れる響を相踏いで頭上に聞いた、揺り返しの來ぬ間を見て階下に散亂せる器具の破片を飛び越えて戶外に逃れ出づれば家々の甍は落ち電線は垂れ下り軒並に屋根の傾くのを見た、そして向側の電氣協會の建物からは午餐の宴會の食事調理中のフライ鍋に火が入つて濛々たる黑煙の上るを見た、萬事休す、社員が重要書類を抱て避難する間も遽し火は瞬く間に飛んで支局は猛火の洗禮に遭ひ此の邊一體の家屋と共に見る間に灰燼に歸した、二重橋前の廣場に蟻の如く群がり來る數萬の避難者と共に佇んで四方を見れば神田、日本橋、芝、麴町、京橋、淺草、下谷さては宮城前の林野管理局の各方面黑煙の柱天に冲して實に四十八時間後に帝都が燒野原に化するの運命は此の最初の一瞬間に形作られたのである(東京府下世田ケ谷町太子堂一二〇支局假事務所にて)

軍艦三十三隻
品川灣て救濟事業に從事

品川灣に碇泊して救濟事業に從事してゐる軍艦は驅逐艦を合せて三十三隻に達した尙船後丸以下八隻の喞筒は品川灣で食糧の陸揚中である(東京電話大阪經由電報)

慰問品を滿載して
軍艦『利根』品川に入る

軍艦利根は香川縣高松から慰藥十萬個、慶紙三萬箱、食鹽一千叺、盆一萬五千枚、乾物一千袋、香川縣慰問品の白米一千俵、味噌一千貫、醬油一千樽、土鍋一千個其他救恤品二百噸及び救護班八十八名を乘せ八日品川に入港した(東京電報)

東京附近 出動部隊
弘前師團も動く

田中陸相は新たに弘前師團の步兵第五聯隊(青森)の內二ヶ大隊だけを召集した、目下東京地方に出動してゐる軍隊の總數左の如くである(東京電報)

步兵 二十箇聯隊
騎兵 七箇聯隊
砲兵 八箇聯隊
工兵 十七箇大隊
電信 二箇聯隊
鐵道 二箇聯隊
航空 七箇大隊
衞生救護班 二十箇大隊

救濟米
四十二萬石發送

八日夜迄救濟事務局に報告の到著した各支部からの發送米の總額は四十一萬六千六百石に達した(東京大阪經由電報)

橫須賀の解放囚人
大部分歸る

橫須賀刑務所は地震と同時に囚人の全部を解放したが總數約八百五十名の內歸來せる者は六百五十名歸來せざる者約二百名その外燒死した者も五十名あつた(東京電報)

囚人名古屋に向ふ

夕張、驛の兩艦は囚人二百九十五名を乘せ名古屋刑務所に向つた

村銀支店長壓死

村井銀行室町支店長龍野勇起氏は壓死し同支店員一名燒死した。」

東大圖書館の藏書
七十五萬冊燒失
再び得難き珍書烏有に歸す

東京帝國大學は醫學部の大部分及附屬病院を除き殆ど灰燼に歸したが右の內同大學に取つて最も大切なるは圖書館の燒失であつた藏書七十六萬冊の中僅々一萬部を殘し全部烏有に歸したのであるが此の中にはマツクスミラー文庫一萬冊エンゲレス文庫六萬冊文部省所有文部省實錄六萬四千冊神社普通記錄、內務省有評定所記錄九卷一千冊、幕末史二萬五千冊テレングルヒ文庫及び宮內省所有禁廷記錄、紅葉山九千九百九十五冊と西藏一切經等再び得難い藏書なるも日本資料編纂上必要な書籍若干の類燒を免れたのは不幸中の幸であつた(東京電報)

「雨傘を貸します」

民衆との融和接觸を圖る目的で路行く人が驟雨か逢つた場合交番所で番傘を貸付けるといふ本町署の新しい試みは愈々十日の雨降りから實施された比較的本町筋は京城目貫の場所である丈に人通りも頻繁な處本町二丁目交番には番傘二十五本を用意して居た處雨具の用意もなく朝早く出勤した官廳銀行會社員が交番へ飛込むかと思へば今度は恥かしさうに婦人が面をあからめて番傘一本を拜借して歸途に着く等同交番では忽ちの內に二十五本が羽の生えたやうに貸切れ他の交番から二本ばかり借用したと云ふ有樣なので詰合のお巡りさんは孰れもニコ〳〵して居た

『早く退京せよ』
地方人の滯京は大迷惑
警視廳から警告を發す

燒けて終つた東京市に地方の人々が見物旁々殺到して居るが警視廳では之等出京した地方民に對し左の如く警告を發した

諸君が永く滯在すればそれ丈け東京市民が迷惑致しますから成るべく早く御歸り下さい、諸君が好奇心から燒跡を徘徊して居ることは作業上非常に迷惑致します(東京電報)

九日迄の義捐金
四千五百萬圓

九日迄の義捐金は皇室の一千萬圓米國の寄附金豫定額五百萬弗を合し四千五百萬圓に達す(東京電報)

東京の物價暴騰
運轉手の日給五十四圓
引越荷物の運搬は一回三十圓

帝都の秩序も漸く軍隊の御蔭で安寧秩序は維持されてゐるが凡て小賣機關迄崩壞された爲め一尺の晒木綿一個の罐詰を買ふにも容易でない、暴利取締令はあつても日用品の値段は暴騰を續け浴衣地一反が五圓と暴騰し自動車運轉手の日給五十四圓、丸の內から牛込迄の車賃が七圓となつた、それでも車夫は拒絕して應ぜぬ位で引越荷物運搬の如きは一回二十圓から三十圓と暴騰してゐる(東京電報)

陸軍大演習
中止される模樣

海軍大演習と同じく今秋三重縣下に擧行せらるゝ筈なりし陸軍大演習は今回の關東地方震災の爲め中止せらるゝ模樣である(東京電報)

永代橋の爆破を
兵庫縣當局から電請

天災に對する救援船は阪神地方より續々橫濱に向つて廻航してゐるが橫濱の解纜してゐる爲め荷揚は頗る困難狀態にあり郵船會社のランチが隅田川の上流に四十隻あるが永代橋の墜落で通路を止められ川下りが不可能であるから兵庫縣當局は臨時事務局に對し永代橋を爆破するやう電報を發した(大阪電報)

關西線列車
運轉不能
三重縣の豪雨

十日午前五時四十分關西線河原田驛の西方より加佐登驛(三重縣三重郡)名古屋起點二十八哩四千鎖附近は前夜來の豪雨のため約三尺出水し河原田加佐登兩驛はプラツトホームまで浸水し運轉危險のため各列車は西、龜山で打切り午前六時三十分四日市河原田間內部堤防決潰し附近一帶泥海と化し線路は土砂流失し四日市河原田間不通となり午前十一時五十五分加佐登驛より救援列車を仕立て出發せしめたる所更に天代川堤防約四十間決潰し救援列車は兩川の間に挾つて消息不明名古屋鐵道局にては取敢ず名古屋一番發列車は四日市から引返し運轉してゐる附近の人家の流失は夥しく濁流に流された家畜多くあると(東京電話下關經由)

愛國生命無事

愛國生命保險會社は災禍を免れ重役外社員は無事で避難したと。

慈善袋
三十餘圓に達す
元町青年會

龍山元町青年會の東都罹災者救濟慈善袋は會員の手で每夜續行して居るが九日夜までの總計三十三圓六十七錢に達し一圓、二圓の寄附もあり九日夜永樂町詰所では十圓紙幣を投込んで只阿部とのみ云つた人もあり同情は日に多く加はつて行くさうである

消防組でも
古着類
を集めて贈る

京城龍山消防組聯合で東都罹災者救濟の爲め廣く古着類の寄贈を募集する事になつて十日から約一週間每日午後七時から同十一時まで左の場所で組員出張で取纏める事となつた

▲龍山方面=本願寺前、黃金町四辻、警察前、京龍館前、三角地、郵便局前、電話局前、古市町停留所前
▲京城=京城驛前、南大門內、朝銀前、黃金町入口、本町電氣會社前、新町入口、本町終點、黃金館前等である

平素より一層
勉强せよ
食料組合の注意

內地の震災に乘じて暴利を貪る奸商があるとの噂專らなので京城食料品商組合長中井利八氏は組合員に對し大要左の意味の注意を與へた。

未曾有の大震災に際し食料品殊に價格の變動が甚しいので中には此の機に乘じて不當の價格を以て販賣するものがないとも限らぬ爲め正當の組合の如き正當の價格を以て販賣しつゝあるにも拘らず一般社會より非常なる暴利を貪つて居るかの如き誤解を招くのは當組合の頗る迷惑とする所である、元來當府內には公設市場を有し日々の標準値段も立つて居るから成可く此の標準により販賣せねばならぬ事は云ふまでもないが現今の如き非常の際は平素よりも一層勉强して精々價格の低下に盡力一般顧客の誤解を招かぬやう注意して頂きたい

第一高女生の活動 關東地方の罹災者に愛婦朝鮮本部から送るべき衣類は有吉本部長邸を始め府內各女學校にも依賴し仕立を急いで居るが貞洞の第一高女でも袷、羽織半纏小供衣類等千百枚裁縫を引受け全校八百餘の女學生が七日以來わき目も振らずに專念縫針を運んでゐる、十二日までに全部仕上げるべく一生懸命になつて居るが彼女達の誠心こめた仕立物は悲慘な罹災者を如何に喜ばせる事であらう。

一部不良鮮人のために
世界の同情を失ふ
かと思ふと遺憾千萬だ
馬野警察部長談

震災に對して朝鮮人間には如何なる考へを有つてゐるか—右に就て馬野警察部長は語る

『此度の振古未曾有の震災に乘じて一部の不良鮮人が暴行を働いたと云ふことに就いは有識階級の人々は一齊に憤慨してゐる『震災の爲めに苦しんでゐるに乘じて暴行を働くと云ふことは、人間として爲し得られる行爲ではない、斯樣不都合な事をした爲めに朝鮮人に對する世界の同情が失はれたかと思ふと殘念で堪らぬ是等不良な徒は人類の敵であると共に我等朝鮮人を陷れたものであつて憎みても餘りがあるものであると云つてゐるそれで自分は善良なる一般朝鮮人の爲めに誤解を解く義務を痛烈に感ずると共に一部不良者を憎まざるを得ない』

東道高等課長は語る

『自分も此の震災に命辛々避難して來た東京に居た留學生は一樣に「あんな震災の最中暴行をなすと云ふのは不都合である、その爲め善良なる我々迄甚だ迷惑をしてゐる次第だ、此際吾々は結束して非消德的な不良分子を徹底に排斥せねばならぬ」と憤慨してゐる、こんな具合であるから不良鮮人の暴行に就いては內地人よりも朝鮮人の方が激昂してゐると云ふ狀態である

……只今東京から歸つて來た留學生が京城市內で十名位である』

東拓先發員の報告
京城支店に宛て

東拓京城支店先發員として東上せる中澤事業係長外三名は借越線を迂回して八日晝入京し高崎發電所より右の如き電報があつた

會社事務所並重要書類等一切無事にて社員中家屋を燒失せるもの多少あると經理課庶務課長部に輕微の負傷せるのみにて總裁以下社員全部無事なるを得た鈴木支店長は大宮に向け八日朝大阪を出發したと

仁川救恤品
一貨車分纏る

仁川愛國婦人會委員部では豫て關東地方罹災民救恤のため古着其他寄贈品を募集中であるが旣に一貨車分纏つたので十三日を以て第一回分を締切り十五日釜山を出帆する光濟丸で罹災地に發送する筈である(仁川)

慘死者追悼會

仁川佛教各宗聯合會は十一日午後七時より東本願寺に於て關東地方罹災慘死者追悼會を催すと(仁川)

愛婦支部活動

九日貞洞府邸食堂に於いて京畿愛國婦人會支部會を開催し支部長及三田幹事役外主なる官公吏並に民間有志の夫人七十名餘り參集し協議の結果東京地方の震災に對する慰問金募集を決議し各其區域を分擔して各戶別訪問を開始した

惡疫流行
注意を要する

府內に猖獗を極めた赤痢腸チフス患者は其後當局の豫防警戒に依つて一時終息し居たるも時候の變り目の昨今再び擡頭し本町五丁目愛知產業會社內吉川良介(二七)は八日腹痛を訴へ總督府醫院で診斷の結果腸チフスと決定したが時節柄一般に注意を要する

平壤に
チフス流行
患者百餘名

平壤地方に本年も赤痢チフス、パラチフスの流行を來し近來非常に患者增加しつゝあり同地憲兵隊から軍司令部に達した報告に依ると五月一日より七月末に到る腸チフス患者十二名、パラチフス四名であり八月一日より九月三日までに腸チフス百名パラチフス九名に激增し益々蔓延の兆があると

辯護士を欺き
三千餘圓騙取

府內諫洞百五番地無職李順新(三二)は益善洞に居住する洪辯護士に對し家屋の賣却を周旋して遣ると詐稱して同人より現金三千五百圓を詐取したこと此程鍾路署に探知され目下取調を受けて居る

債務者に暴行
金を返さぬとて

十日午後六時半頃西界洞番地不詳職工金致成(三〇)は豫て現金四百圓を貸て居る竹添町二丁目紙物商吳東鎔(三十)に對して再三再四借金の督促をしても聽き入れず返濟しないので業を煮やし鄰方へ押掛け强談判したが更に要領を得ないので鄰を引捕へて毆打して居る處へ西大門署巡査が駈付け說諭の上兩名を引分けた

賣手買手が
目出度く手打

內地の震災火災の影響を受けて米價が暴騰したので仁川期米取引所では買手は損失を招き之に反して賣手は多額の利益をせしめ兩者間に葛藤を生じて居た處丸田取引店主の交涉に依り解合となつたので同店主は得意先の內鮮人百二十名を十日午後六時半より府內貫鐵洞洛陽館に招待して無事手打した

安東縣の小火

十日午前四時本社支局隣の二階より發火し四時半全く鎭火した損害及原因詳細取調中だが幸ひ支局は無事である(安東縣特電)

產婆看護婦試驗

京畿道では十月二十三日から看護婦及產婆の試驗を行ふことになつたが願書提出期限は十月十五日迄、警察部衞生課に提出し、學說試驗は看護婦は同二十三日、產婆は二十四日、實地試驗は產婆看護婦共同月二十六日何れも道廳にて行ふ由である

氏名詐稱で投宿

府內鍾路五の一二八番地津村昌(二三)は六日午後五時頃東京日比谷區本町生れ會社員秋津行雄と氏名を詐稱して投宿し新町遊廓で遊興して居る擧動が怪しいので十日午前二時頃新町派出所巡査が迂路ついて居る處を引捕へられたが懷中に質札數十枚を所持して居たと

京城神社の秋祭
お祭騷ぎの餘興は見合せて
嚴肅質素に執行するらしい

京城神社の秋季大祭は例年十月十六、十七、十八の三日間盛大に執行されて來たが今年は何うなるかと『私一個の意見としては神事だけは執行しても差支なからうと思つて居る震災の影響も是亦神事であるから出來るだけ華美を避け所謂お祭騷ぎを廢して森嚴莊重に執行すれば敢て差支はなからうと思ふ』と語つて居た京城神社では右につき事務會を開き更に總代會を開く事になつて居るが結局神輿、屋臺、山車、假裝行列など餘興的のものはすべて見合せ祭事だけを嚴肅質素に執行する事になるらしい

演藝案內

黃金館 松竹キネマ直營 每日晝夜 當る五日晝間より

風景絕佳一實寫 赤倉のスキー 全一卷

英國ジヨンテイベツト映畫 思想劇 村の祭 全五卷

ランカシヤー州の若き男女の戀を骨子として作り上げた劇でブラツクプールの美しい海岸線を背景とせる滋味ある映畫

○ワイダグラフ映畫 ウイリアム、ダンカン氏 大冒險大活劇 沈默の誓 全五卷

リチヤード、デイツクは父の仇を報せんと島に一縷砂塵を蹴り惡人の後を追うた冒險は冒險を生み鐵腕の爆發所に起りまばたきする間もなきみるからに壯絕快絕なる冒險大活劇

松竹キネマ力作久保田久雄小川國松高尾光子米津信子共演

大喜劇 忍術ゴツコ 全二卷

久雄と光子國松と信子は須日から習んでゐた虎の卷の秘訣を會得してそれは此の世の中にあるだろうかと疑はれるやうな大喜劇が潮の如くおしよせて來る

休菊樂長唄 勸進帳 松竹特作岩田祐吉栗島すみ子主演

南山美談 血染の軍旗 全五卷

戰島の大和心を人問はば朝日に匂ふ山櫻かな 明治三十七年の日露の役に勇名を異國まで歌はれし山瀨軍曹の悲壯なる物語り

喜樂館 日活直營 京城本町壹丁目 電話二五九七番 當る十一日より超特別大提供

●實寫 南極探險 壹卷

ルスローランド孃主演 ■連續活劇 第六回目『覆面の女』 自十一篇 至十二篇

■舊劇 松之助會心の大傑作『柿木錦助』 全五卷

傷害保險を附して撮影されたる日本最初の空中勇士宙天遙かに金の鯱を覗ふ大膽不敵の大勇士

■日活向島現代劇 山本嘉一小栗武雄主演純映畫

■死戀『愛に甦る日』 全六卷

嗚呼戀るべきは死!此れ又喜びを我れに與へてくれた運命の戲れである、其れは結婚の當夜の出來事である、其れは自分の妻となるべき女は其の愛人たる男と情死したのである彼は憤然として意を決し姉娘と結婚したのである…

東京震災の大映畫

悽愴悲絕炎々たる帝都燒失の慘狀猛火の中に老幼男女の燒死體は無數に散亂し飢渴に泣く市民各所に避難民の有樣、雙觀橋の中ビルジング、帝國劇場、銀座通、淺草十二階等增上寺其他炎上顚壞しつゝある實狀等とても正視する能はざる慘害の實況震災第二報只今到著公開す

○料金特に値上せず本興行中從來發行の招待券御斷

浪花館 明治町 電話二六〇 卅一日より特別興行京阪落語大一座 都家歌六一行

▲落語歌丸▲落語千枝▲笑話笑鶴▲音曲文彌▲落語現代踊▲落語音曲殺造▲曲花丸▲落語舞踊▲二〇圓樂▲長唄舞踊歌奴▲落語歌舞歌六▲大切餘興總出

京龍座 龍山 電話三二一番

見よ悲慘なる此映畫 九日より晝夜二回興行特別活動寫眞

▲關東大地震實況 强震、海嘯、火災、關東東海の天地阿鼻叫喚、あゝ慘又慘、國家同胞の一大凶變 第一報フイルム只今到著

▲潛航艇史上の大椿事 潛航艇七十號の跡を尋ねて悲絕壯絕の實寫撮影

◎舌切雀 三卷 其他フイルム各數種映寫す

あんぞら病
縣家傳丸藥にて如何なる難病も全治す御照會あれ
仁川 吉木醬油醸造場

奉天 ミヤコホテル

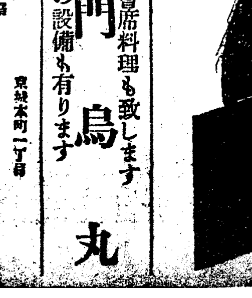
震災義捐金 府廳取扱分

▲千五百圓淺野太三郎▲三百圓木村供三郎▲百圓川浪潤治▲百圓三ツ矢醋株式會社▲七十圓岩見乙松▲五十圓山本勝次▲四十圓陣內吉次郎▲四十圓岡山榮太郎▲四十圓藤山熊吉▲四十圓迫田英次▲四十圓谷岡直七▲三十圓石橋滿▲三十圓津村榮彌▲三十圓佐野仁作▲二十圓谷本晉一▲二十圓三輪万五郎▲二十圓中野竹郎▲十五圓作元象義▲十五圓好平榮太郎▲十五圓榮田佐吉▲十五圓末松權造▲十五圓廣瀨弘太郎▲十圓平木賢晁▲十圓丸山滑治郎▲十圓塚崎七郎▲十圓吉田巳三郎▲十圓黑田滑七▲十圓角井文藏▲十圓尙井榮三郎▲十圓安部繁雄▲十圓森下勘太郎▲十圓久保田次郎▲十圓山田哲次郎▲十圓三上信市▲十圓藤本治兵衞▲十圓後藤正一▲十圓一色善太郎▲十圓磯崎磯右衞門▲十圓中原徹平▲十圓東京堂▲十圓正木政一▲十圓鹿子木キヨ▲十圓東幸一▲十圓高原陞▲十圓木下鐵城▲十圓廣谷外太郎▲十圓大野晉吉▲十圓末重種▲十圓白石鶴太郎▲十圓宮岡利作▲十圓吉岡吳服店▲十圓伊藤寅次郎▲十圓吉村拾之助▲十圓中村力殿▲十圓三戶芳次▲十圓中山市二▲十圓濱崎又吉▲十圓立本宗太郎▲十圓宇野要八▲十圓近藤哲太郎▲十圓小林美之助▲十圓山田美夫▲十圓赤星吉太郎▲十圓深堀裕內店▲八圓三好野支店員一同▲七圓竹林初造▲七圓內田梅松▲七圓中村金藏▲五圓西原熊吉▲五圓尾崎寅吉▲五圓和順同▲五圓有馬浩▲五圓永米佳造▲五圓谷原多喜三▲五圓山賀力藏▲五圓鈴木五三九▲五圓大澤敬止▲五圓野田金之丞▲五圓上條捨次郎▲五圓內田德右衞門▲五圓和田靜雄▲五圓[illegible]店▲五圓網野治芳▲五圓[illegible]衞門▲五圓江藤幸太郎▲五圓[illegible]つね▲五圓高山正平▲五圓[illegible]次郎▲五圓澤治カネノ▲五圓[illegible]藏▲五圓安東秀吉▲五圓中川[illegible]郎▲五圓益田金物店▲五圓[illegible]社▲五圓藤井新次郎▲五圓[illegible]龜太郎▲五圓好岡良太郎▲五圓[illegible]鳥寅三郎▲五圓吉川藤四郎▲[illegible]關谷太吉▲五圓金石順▲五圓[illegible]力藏▲五圓[illegible]店▲五圓田中得一▲五圓[illegible]郎▲五圓橫堀正男▲五圓[illegible]郎▲五圓寺澤雅三郎▲五圓[illegible]太郎▲五圓米田百松▲五圓[illegible]二郎▲五圓佐竹正[illegible]三▲五圓西川松之丞▲五圓[illegible]之進▲五圓林謙藏▲五圓[illegible]▲五圓吉村龜之助▲五圓[illegible]圓山田▲五圓松本喜一郎▲五[illegible]原定一▲五圓中村多門▲五[illegible]吉太郎▲四圓松島專▲三[illegible]ノ▲三圓水野理髪店▲三圓[illegible]助▲三圓田中清一郎▲三圓[illegible]五郎▲三圓巴自轉車店▲三[illegible]次郎▲三圓牧雄次郎▲三圓[illegible]堂▲三圓佐野勝太郎▲三圓[illegible]義▲三圓鈴木鎭次郎▲三圓[illegible]治▲三圓田中寅太郎▲三圓[illegible]治▲三圓太田源平▲三圓松崎[illegible]郎▲三圓石井龜助▲三圓七田[illegible]▲三圓坂本秀二▲三圓下垣[illegible]▲三圓櫻井茂助▲三圓片野喜代[illegible]▲三圓福岡虎雄▲三圓久保田[illegible]▲三圓柳屋八郎▲三圓川口[illegible]圓將興安▲三圓伊藤乙松▲三[illegible]野晉二郎▲三圓米田[illegible]大吉▲三圓太田巻夫▲三圓[illegible]造▲三圓吳世權▲三圓阿曾王[illegible]

イカイ胃散
價 廿錢 三十錢 五十錢 一圓
各藥店にあり

席貸專門
御好みに應じ會席料理も致します
ラジユム溫泉の設備も有ります
烏丸

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話(二)三五九〇番


雨期來る!!!
雨傘新荷着
蛇目傘及小供學校用傘及車夫用人夫用雨合羽防水布各種其他魔法瓶中瓶取替
靴製造販賣
京城本町一丁目
高木靴店
電話二二四三

魂の力【第六十五回】

中川雨之助作　小寺柳村畫

人の心

憲一郎はやがて、職工たちに向つて、苦しい心を匿しながら、買收のことを話して終つた。

『諸君に渡すべき金も渡さないで、僕が二日も三日も顔を見せなかつたのは會社の事情がありません。實はその間、金策のため方々を走り廻つてみたのですが、僕の力では如うしても金は出來なかつたので止むなく一先づ立歸つて來ました。尤も日出商會の方へ行けば、金は借れるものと高を括つてゐたのですが、日出商會へ行つてみるとそれが大變な間違ひで、金は借れないばかりか、今度會社は他の會社と合併するために、一時此方との取引を中止して貰ひたいと云ふのです』

『やつぱり買收だつたのか』と、職工の一人が呟いた。

『日出商會と縁が切れて終へば、此工場は全體如何なるのです？』

と亦一人が訊いた。

『會社の方では、取引中止と云つたところで、それはホンの暫らくの間の辛抱で、やがてすつかり合併が出來上つて了ひさへすれば又從前通り取引をして遣るといふんですが、それは只會社の口實であつて、一向的にはならぬらしいです』

『買收その通りだ』と、誰やらが合槌を打つた。

『そこで僕は、諸君の意見を訊からと思ふんですが、希望腹藏なく言つてみて下さいその上で此工場の運命をも決しなければなりません』

『だつて起さうと倒さうと、貴方の考へ一つぢや有ませんか。要するに私どもは、やはり貴方に使はれてゐる身分なんですから……』

と一人が云つた。

『所が、僕には策が盡きてしまひました。何うして宜いのか殆ど譯が分らなくなつてしまひました』

『それぢやモウ此工場も愈々閉鎖ですかね』と、大きく言つたのは、今まで默りこくつて居た熊田であつた。

『熊田君、閉鎖しなければならないのなら、僕は潔よく閉鎖も致しませう。が、只だ殘念でならないのは諸君とお別れをすることです。僕と共に塚谷を出て下すつた諸君を、僕の力でお助けをすることも出來ないで、此儘空しくお別れをするのが如何にも殘念でなりません』

『しかし夫も成行きなら仕方が無いでせう』

日頃は、假令土を舐つてゞも、塚谷の奴等に對抗して遣るんだと云つて、誰よりも一番強硬であつた熊田が、今日に限つて急に腰の弱い、諦めの宜いやうなことを言出したのが、憲一郎を始め、皆には不審でならなかつた。

が、誰もが、それを咎ることもできなかつた。

併し結局は工場を閉鎖して終ふか、或は如何なる艱難と闘つてゞも維持して行くか、一同はその何方かに腹を決るより他はなかつた。

『村越さんにばかり、御心配を懸けても濟みません。私たちは私たちで、何とか相談を決めてその上貴方にまで申出ることに致しませう』

さう云つて職工たちは工場の隅で一と固まりになつて、何かヒソヒソと相談を始めた。生死を共にとまで誓つた仲の職工たちの、然うした他人がましい態度を見ると憲一郎は不快であつたが、併し何うすることもできなかつた。

それから暫く經つと、職工たちはドヤドヤ再び憲一郎の側へ來た。而うして熊田が一同の總代といつた風で、改まつた調子で言出した。

『皆が相談の結果、一先づ辭めさせて貰ひたいと云ふのです。金の事や取引先のことで貴方にばかり心配をかけるよりは、寧そ我々の方で、早く辭めて終つた方が、結局貴方も心配が無くなつて助かるだらうと云ふのです』

『それで皆さんは是から先を、何うして生活して行かふと仰有のですか』

憲一郎は悲痛な聲で訊いた。

『そこまではまだ誰も考へてゐないです。が、何んな仕事をやるにも僕の籠に有附かなきやなりません。働らかなければ活きて行くことのできないものですからね』

憲一郎には、熊田の言葉が皮肉のやうに聞えた。

その日、[illegible]職工たちはいつ[illegible]てしまつた。只獨り居殘つたのは泉職維であつた。

『先生折角の此工場もいよいよ閉鎖するんですか。先生、あなたは何も御存しないですが、皆は或は先生を裏切つて、モウ一度塚谷工場へ戻つて行くかも知れませんよ何うもねえ熊田の態度が怪しいんです』

日頃誘の洞とした工場の内で憲一郎と泉とは暫らく相擁して人の心の醜み難さを泣てゐた。

俳句　內藤鳴雪選

題『納涼』——（五）——

○京城　京二　納涼更けて片われ月を見る夜哉
○大田　牛來　水打つて涼む小縁や木の雫
○京城　曉星　夕顔に蚊遣まつはる納涼かな
○慶州　鶴州　ぶらぶらと涼みの群や川淺まで
○京城　銀勝　晴れ渡る星のながめや納涼臺
○同　青波　閑練して一家睦まじ涼み臺
○晋州　乃保留　降省人圍んで宵の納涼かな
○密陽　巴來　師の後に椅子も捧げて涼みけり
○大邱　紅霞　暗がりに人居て涼む氣配かな
○京城　吐虹　鯛拍子にゆるゝ灯や納涼舟
○尚州　淡水　暗に浮く納涼船や灯の幾つ
○同　みさ女　一竿に納涼の船をさし出だす
○京城　耕牛　荒川を舟さし下す納涼かな

偶々會句會（定州陽舟社）

枕打の霧を摘がし聞えけり　陽澤
殘り蚊に書見の置移りけり　同
秋の蚊や庭木に當る風の音　同
山霧の大樹浮かせて流れ鳬　西州
大岩を霧らして霧や霽れに鳬　同
色壁の隅へ殘り蚊消えに鳬　同
渡し呼ぶ聲に廻へて霧の中　とゑ
驛の灯の並び浮べる夜霧哉　同
霧霽れし丘の小家の[illegible]　同
大霧る夜更けたる大厦の灯　帆影郎
瀨の音を罩めて大霧流れ鳬　同
殘り蚊や臨帶の上の藥瓶　同

蝸牛會小集（京城）

花野ゆけば折々匂ふ風ありし　三星
朝雨の靜けき水田や鳥おどし　同
トロッコの折々通る花野哉　同

雨晴れて夕日に明き花野哉　五郎
犬連れて走る子供や夕花野　紫雲
灯すや案山子の影の消ゆる時　志昼
夕霧に沸と立ちし案山子哉　同
場は赤く花野の果に存きぬ　雙月
砲車過ぎし轍の路や花野原　吐風
傾きし案山子に風の强き哉　同
夕ざれば湖に花野に鋪渡る　同

雨偶會（京城三星報）

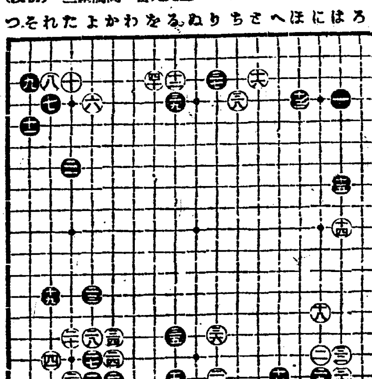
[illegible]宵きがつきし裳哉　吐風
雁鳴くや焚火を圍み皆無言　同
秋の夜や聞くものは水音ばかり　同
大空に雁の渡りて存晴るゝ　紫雲
秋の夜や門に[illegible]旅の附　同
いさゝかの庭草の宵殘り鳬　同
外燈に虫の夜や雨の秋　笑殿
盆なして山端に落る夕の雁　同
かりがねの沼に雨の朝　同
雁鳴くや門に下駄切つて戻り子　同
厨の灯草に洩るゝや夜半の秋　三星
草の實やきりぎりす彈く程なりし　同

讀者

▲旭町二丁目ある焼き屋の主人よ態度ないですよ。誰にでも人間がつてモット可愛がつては如何ですK生▲京城局長殿に申上げます局内の案内係さんは朝鮮語がわからないと見えて鮮人が物を聞くと窓へ行つて聞けと云つていましたあれでは居ても居なくても同じ事です（實見生）▲妾は古い切手を集めてゐますその切手を貼る切手帳を手に入れ度いのですが何處で求めばよいでせうか（京城黃金町やよひ女）▲○○組の下請負者某は餘り人夫の使方が慘酷だ使う程なら最少し賃金を克く支拂へ（鍾路不服生）▲私は土木總會が東京市の慘害に遠慮し娛樂會の開催を見合せられたのは同胞として斯くあるべきものと感激しました（正義生）▲秋風の音のさやけさにもう秋である事を感じます久しく聲がない京城歌壇をものすべく御社の御力でぜひぐく歌會を催していただきたう御座います（やみがたき子）▲何れ機會を見て開催する考へです係▲御顔醫生樣生は三十日暇位の小猫をお世話しませう（黃金町一の一六九電話千三武內）▲同上方へおあつらへむきの小猫が居ります から差上げましよ（旭町一の一三ふじ井）▲邦文タイプライターの中古品格安讓り受たし値段お知らせ下さい下記へ（永樂町二の三六桝田）▲白の猫縮緬で襟を引いた襟に少し一寸位髮油の附きたるを落して見れる處なきや（代紐無生）▲平壤驛前にて貼なしにて四疊半か六疊位の二階を間借りしたし（平壤府八千代町五五森虎男）▲私の家のはなれ一室四枚半に家族同樣親切に世話します（櫻井町二の二三一明瀬）

圍碁對戰（一）

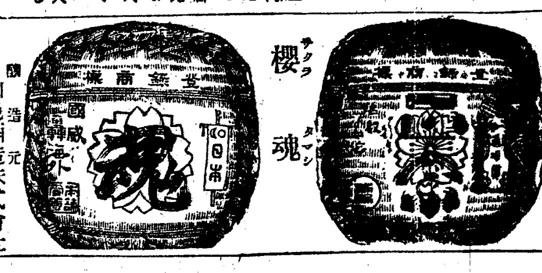
互先番　高橋重三（初段）
曲篤郎（初段）



●二一　た七　●二五　か十七　●二九　に十七　●三三　ほ十八　●三七　り三
○二二　い十七　○二六　た十七　○三〇　は十七　○三四　か十五　○三八　ち四
●二三　よ十三　●二七　よ十六　●三一　は十八　●三五　る十四　●三九　る四
○二四　か十六　○二八　よ十五　○三二　は十六　○三六　り十五　○四十　を三

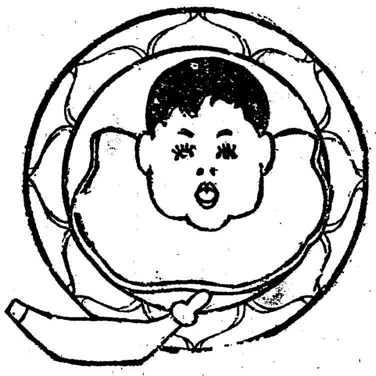
流經新藥 月經レスプリン

閉止四五ケ月以内に確實に流經作用を呈し得る目的を達し得られる優秀なる效力を有せり藥價一瓶貳圓五拾錢 送料四拾五錢切手代用一割增 三錢切手進呈說明書
大阪北區曾根崎上一丁目三六地 常盤藥院 振替大阪二三三番



櫻正宗　櫻魂

釀造元 山邑酒造株式會社 兵庫縣灘魚崎
賣捌元 山邑酒造株式會社 京城支店 京城明治町二丁目



粉末純乳 ラクトーゲン

離乳期に御注意遊ばせ

晩夏より初秋の候にかけては小兒が最も胃腸障害に罹り易い危險な時であります

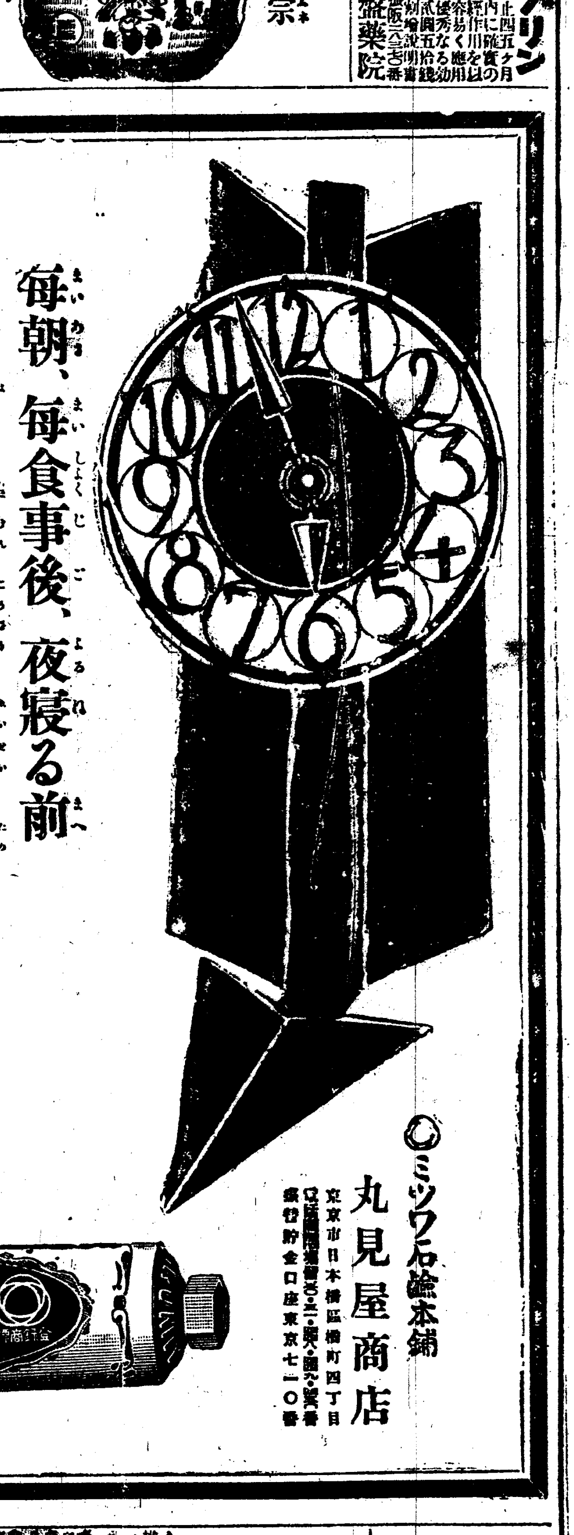
齋藤醫學博士は其の報告書中に曰く　ラクトーゲンの成分を分析表より推算すると約十二%の水溶液は殆んど人乳に一致し之と同一の「カロリー」を有す。

一、ラクトーゲンは人體に適當するだけの脂肪と他の有效成分を完全に含有し脂肪を取り去つた（牛酪の原料として）脫脂粉乳類とは全然品質の異つた理想品であります。

一、ヴイタミンの含有に特別の注意を拂つて製造した合理的哺乳料でありますゝ此際御愛兒の爲めに良品を撰擇する事に御注意下さい。

イヌイ　乾卯食料品株式會社
本店 大阪市東區伏見町二丁目
支店 東京市丸ノ內ビルデイング內

到る處の藥店食料品店に販賣す



每朝、每食事後、夜寢る前

齒牙の保健、口腔の衛生の爲に
○ミツワ煉齒磨を必ずお使ひなさい

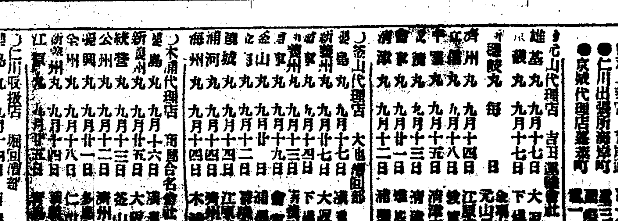
品質優良、香味清快なる口腔衛生料

○ミツワ煉齒磨

賣捌 化粧品店・藥舖・雜貨店・（最寄に販賣店なくば本舖より直送す。（郵券代用不苦））

定價 壹個 全五十錢

特徵
脂臭くない
苦味がない
味が良い
匂ひが快い



○ミツワ石鹼本舖
丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目
電話浪花（三二・二一二六）・二二八・二二九・二四番
振替貯金口座東京七一〇番

9・2

仁川本町三丁目
天辰齒科醫院
東京齒科醫學士 天辰親夫

朝鮮郵船定期

朝鮮郵船株式會社本局 電話 [illegible]
釜山支店 佐藤町 電話 四一一・四六四番
元山支店 海岸通 電話 一〇三番
仁川出張所 海岸町 電話 三五一番
京城代理店 蓬萊町 電話 二一七〇番

元山代理店 吉田運輸會社
雄基丸 九月十七日 大阪行
[illegible]丸 九月十七日 下關行
[illegible]丸 每 日 元山金剛山[illegible]
濟州丸 九月十四日 江原道行
[illegible]丸 九月十八日 [illegible]
[illegible]丸 九月十五日 淸津直行
[illegible]丸 九月十三日 淸津行
[illegible]丸 九月廿一日 雄基行
[illegible]丸 九月十二日 浦鹽行

釜山代理店 大池廻漕部
[illegible]丸 九月十七日 濟州行
[illegible]丸 九月廿七日 大阪行
[illegible]丸 九月十四日 下關行
濟州丸 九月十三日 濟州行
[illegible]丸 九月十九日 會寧行
[illegible]丸 九月廿日 統營行
[illegible]丸 九月十二日 群山行
[illegible]丸 九月十四日 江原道行
[illegible]丸 九月十四日 濟州行
[illegible]丸 九月十四日 木浦行

木浦代理店 商船合名會社
[illegible]丸 九月十六日 濟州行
[illegible]丸 九月廿五日 大阪行
公州丸 九月十三日 釜山行
[illegible]丸 九月十二日 濟州行
全州丸 九月廿一日 多島海行
新州丸 九月十八日 仁川行
江原丸 九月廿五日 [illegible]

仁川取扱店 堀回漕部
櫻島丸 九月十四日 濟州行
新濟州丸 九月廿三日 大阪行
新州丸 九月廿七日 新義州行
全州丸 九月十三日 木浦行
互濟丸 每 偶 數 日 海州行
慈德丸 九月十八日 鎭南浦行
江原丸 九月十四日（青島 芝罘 大連行）
平安丸 九月十八日（安東 大連 青島行）

大阪商船出帆

仁川出帆
●大阪行（群山木浦經由）
×宮島丸 九月十日 午後三時出
×交通丸 九月十四日 午後三時出
×大智丸 九月十八日 午後三時出
●南浦安東縣行
△東晃丸 月 日 午後三時出
△第七原田丸 月 日 午後三時出

元山出帆
●城津淸津行
北丸 九月十三日 午後二時出帆
●釜山、門司、宇品、神戶、大阪行
丸 九月十二日 午後四時出帆

大連出帆
●上海福州基隆高雄行
（但し○印は青島寄港）
羅[illegible]丸 九月廿七日 午前五時出
盛京丸 九月十日 午後四時出

內地各港出帆主要航路

●歐洲行每月十三回●南米行一年十回●濠洲行每月一回●北米行每月一回●台灣行每月二回●南洋行同一回
×印一等客御斷△印船客御斷

大阪商船株式會社仁川支店 電話 第一貳・貳一〇・五五
切符發賣取扱所
內國通運會社支店 電話七〇番
京城通り旅館 電話二六番
専務仲次 仁川本町 堀田組 電話二一八四
荷扱 仁川港町 堀田組 電話四二一一番

三菱商事 仁川出入

長浦丸 月 日入港 月 日出港
三瓶山丸 月 日
大黑山丸 月 日入港 月 日出港
長浦丸 月 日入港 月 日出港

三菱株式會社船舶部
仁川代理店
浦崎商店回漕店
仁川本町四丁目 電話長一〇八番

京城日報

夕刊（朝夕刊合せて十頁）
本紙定價　一ヶ月金[illegible]
發行所　合資會社京城日報社　京城太平通二丁目　電話光化門[illegible]番　振替京城三〇〇番
發行兼編輯人　[illegible]　印刷人　小川三之介

匈牙利外務大臣の見舞電報

[illegible]此の慘禍に際し匈牙利國民全體と共に深く其の如き損害を[illegible]せし日本國民に對する最も深甚なる同情の念を余自身として閣下に捧ぐ

[illegible]合は七日[illegible]露天で緊急會議を開き[illegible]一致左の決議を可決した

[illegible]一日も速かに復舊することに決死の努力を期す右決議す

京日評壇

今回の震災に對しては、全世界の全人類から厚き同情を寄せられるので、我國民は非常に感謝して居る次第だが、同情を表するには種々の方法もある。

◇支那から、濠洲から、佛國から、英本國から、米國から、金を送り食糧を贈り、或は救護班を急遣し或は又艦船を特派して救護、輸送の援助をした國もある。佛國の如きは歌舞音曲を停止し伊國は半旗を掲げて震災の日に表はれたる不幸なる人々に對して哀悼の意を表した。これは皆人類愛の發露である。

◇かういふ尊くも純なる人類愛の發露に接して、吾人は前日も述べた通り、世の中には種々の思想もあり、闘爭もあるが、其れは永き平和の糸を編みつゝ行く中に生ずる一齣、一句の文と見ても可い、と感じた程である。

◇然るに、我國内に於いて特異なる人類愛の表現法を用ゐる者がある其れは京城に於いて發行する一諺文新聞である。該紙の人類愛表現法の一二を意譯して見やう。

「震災は實に氣の毒だ。同情すべきだが、然し心から同情し得ない。」即ち純なる人類愛を、朝鮮人が感じ得ないといふのは一體誰の罪と思ふか、とて其非國民的思想を紙面に而も大膽に表はして居る

◇それから『天は罪行せず』と書いて居る。之れは徳は孤ならずといふことの反對で、俗に『人を呪はゞ穴二つ』といふの意だ。即ち暗に、今次の災禍を『いゝ氣味だ』といふに當り、日本の國家國民を呪咀する非國民的の言辭であり、且今日の場合、鬼畜と雖も、企て及ばざるべき恐ろしい殘忍な心事が窺はれる。

◇又斯うも書いて居る『方々で義捐金を募つて居るが、純な人類愛から出た美擧ぢやない。官憲の歡心を買はんが爲めにするので、眞に唾棄すべき所業だ』と官憲に阿ねると言はれては、誰でも好い氣持ちはしない。我朝鮮の同胞が罹災者に寄與せんとする共同精神は、幾分之が爲に沮喪されるかも知れない。

◇殊に甚だしい不快を感ぜしむるは、米國から五百萬弗を醵出して寄贈したい。といふので在米日本領事館を通じて、其意を致したる旨の米國電報を援引して『五百萬弗の寄捐金を贈るのに、受ける方に異存のあらう筈は無いのだが、米國が其麼の手數をかけるのは日本國民の孤疑性を知るからだ』と。

◇大體右の調子だ、これは彼が、朝鮮人の義捐金募集を指して、官憲に阿るものだと想像し得る如き、下品、賤劣なる根性を以て所謂不逞者流に迎合しようとするのかも知れぬが、何れにしても斯かる不都合なる新聞の存在は、決して好ましいことではない。

◇或る朝鮮人は、慨歎して曰く『同紙の論調から推察するに、東京や横濱に於て、地震と火事の最中、不逞鮮人が逃げ迷ふ老若に對して[illegible]なる罪科を犯したのも、平素の不平が昂じたのだから致方が無い。と言ふ風に解釋して居るらしく思はれる』と

◇更に『吾等は、不逞鮮人の暴行だけでも、場合が場合であるから誠に耻かしく感じ、朝鮮人の名に於て、世界人類に對し申譯が無い。と考へて居る。然るに朝鮮人の輿論を代表せる。而して社會の木鐸たる新聞が正邪善惡の辨別を缺ぎ、加ふるに人類愛の發露を妨げんとするが如き記事を平氣で掲ぐるに至つては、實に言語道斷、朝鮮民族の面汚しである。將來若し世界が、朝鮮人を不道徳非人情の劣等種族として遇するやうのことがあつたら、同紙の如きは其責任の大半を負はねばならない。[illegible]むべきは惡德新聞である。』

政府は一億でも二億でも
要るだけ救濟金を支出する
後藤内相東京市會席上で聲明

【東京電話】東京市會は六日救濟委員會打合會を開いた、後藤内相は其席に於いて政府は取り敢へず九百六十萬圓の救濟資金を支出したが自分の考へでは今回の災害には一億でも二億でも出さなければ到底救濟の目的を達する事が出來ぬと思ふから必要だけを支出する樣努力する覺悟であると述べた

保險金と政府

【東京電話】各火災保險會社の被保險者に對する保險金の支拂方については政府が八割を引受け殘餘の二割を會社が支拂ふとの説もある

財界巨頭會議
議題は善後策と大東京の經濟復興
會議範圍を擴大し貴衆兩院に交渉

【東京電報】今回の震災善後策に關する財界巨頭の會議は九日午前十時より東京商業會議所内に於て開催され財界知名の士三十餘名の出席あり藤澤氏を議長に推して直に議事に入り應急救濟の方法を講ずる外大東京の經濟復興に關する件即ち
一、金融の疏通促進
一、保險仕拂に關する善後策
一、大東京の中心を那邊にすべきか
等其他を議事とし大東京の災害を如何にするかを議題としたが右は頗る重大な問題であつて到底實業家のみを以ては容易に決定し得られないので會議の範圍を擴張し貴衆兩院にも交渉し協同一致して議事の進行を圖ることゝなり和田豐治氏の發議に依り委員會を組織し右委員は貴衆兩院議長並に澁澤榮一氏に指命を一任することゝし午前十一時散會した

剩餘金で救濟か
政府は臨時議會を開くまい
粕谷下院議長語る

【東京電報】政府は臨時議會を召集して徹底的救濟策を講ずるの途を執るが好いと云ふ者あるも之れについては目下責任を以て八方に善後策を講じて居るから政府自身としては臨時議會を開會しない考へだと察せられる、若し臨時議會を開くの要があるとすれば政友會方面の意見にも出て居る海外募債の件が附議さるゝであらうが此公債については次回通常議會迄に其準備が出來かねるのである、それで政府は歳計に對する剩餘金を持つて居るから結局救濟策は此金を以て便宜行はるるであらうと

臨時閣議開會

【東京電報】九日の臨時閣議で左の如く決定した
一、米穀輸入税免除
一、生魚牛肉及び鷄卵の輸入税免除

各部隊入京す

【東京電報】陸軍省公表＝九月六日以降八日午後三時迄に到着した部隊は左の如くである
仙台師團歩兵二個聯隊、名古屋師團工兵大隊及び輜重兵隊、北海道師團衛生隊、廣島師團歩兵二個聯隊、金澤師團歩兵二個聯隊、姫路師團衛生隊の一部、高田師團衛生隊（小田原駐屯）京都師團工兵隊の一部、

横濱に警備兵派遣

【東京電報】關東戒嚴司令部發表＝目下東京に到着中の第九師團の一部は警備の爲め即時横濱に急行せしめたが第八師團の大隊も引續き同地に派遣の筈である

赤字五百萬圓支出

【東京電報】日本赤十字社は九日職員會を召集し五百萬圓を支出して大々的救護に從事する事に決した

米船續々日本に向ふ
食糧品其他を滿載して

【大阪電報】米國運送船ブラックホーク號は十四日到着の筈食糧品家屋材料ガソリン等を滿載してゐる又ビーコノ號は新炭鐵用鐵林材等を積載して十九日着到の筈アハコンダ及メリット號は救助用材料を積載して日本に向ふ準備中である。」

日本震災借款
各國の同情で募集容易か

【紐育九日發電】勝財務官發大藏省着電　一、日本は震災善後借款を起すべしとの觀測が紐育で行はれてゐる、日本の信用と今回の震災に對する米國全般の深甚なる同情は比較的巨額の發行を容易ならしむべしとの意見が多い二、義捐金募集に關する大統領の布告に依り同樣の布告を發した多數の州知事の布告となり同情は期せずして集まり米國赤十字社の地方に割當てた額は當初の見込五百萬弗を超ゆべく既に二百五十萬

朝鮮の電報は特別扱
罹災地發着の電報について
遞信局　近藤監理課長語る

今回の震災地方から發する電報にも一も早く朝鮮に到着せしめたいと遞信局では百方苦心して居るが震災が起るや否や直に東京、大阪へ向けて局員を急派し一方内地の各地郵便局と絶へず連絡を採つて居つたが何分東京大阪の電信線恢復が意の如くならず殘念ながらも重要國事に關する電報の外一般電報は東京から發送の途が無かつたが當局よりは内地局に數次交渉の結果罹災地發電報第一回の分八百五十餘通は九日の夜から又第二回以後の分も引續き續々朝鮮に到着することになつて九日朝京城に着したもの千四百九十九通此の内京城局に來たもの千三百十二通府内の配達五百五十四通である、内地にては罹災電報の爲め非常の輻輳を來し大遲延を免れぬから今尚何れの地方に對しても郵送して居るが斯くては朝鮮着のものは一層の遲延を免れぬので當局は内地關係の向に徹底的に交渉を遂げ大阪からは是非共陸上で便送せられたい電報は總て朝鮮よりの出張員で取扱ふからとの條件で遂に

朝鮮のみは特別の取扱ひを受くることになつて九日からは下の關まで十日未明よりは大阪まで内地同樣に郵送することになつたのである愈々九日午後七時頃より陸上便送を開始した電報には京城局では東京集配人の非常召集を行つて督促するや否や集配人を各戸に派し午後十一時には第一回全部の配達を了へた局では小島事務官外七名の技術員を更に内地に急派し東京、釜山、下關局等にも更に局員を特派する等之れが取扱に萬全を期して居る

[illegible]力を盡して居る、又昨夜着した電報は罹災地より軍艦で平戸[illegible]に陸上したるもので多くは[illegible]紙片、鼻紙に走り書きで郵便の形に作り上げ受付月日番號等の記載は省略されて遞送したのである十日は已に早朝來大阪局から續々電報を送つて居るが今尚内地では重要國事救助に關する官報を取扱ふのみなるを以て九州地方より最も早く來るのであるが罹災地に宛つる電報は遞信局では其他の電報及一般私報の取扱を開始することに遞信省其他の關係の向へ最も交渉して居るが之れが交渉を兼ね九日夜小島事務官を東京へ急派することにした

勅令の及ぶ範圍
朝鮮との關係
丸山警務局長語る

六日治安維持に關する緊急勅令の公布を見たのであるが朝鮮でも此の際この種勅令の公布の必要無きや如何に就き丸山警務局長は大要左の如く語る

法規形式の如何

を問はず朝鮮に於ても緊急勅令に該當する取締及處罰は勿論必要であるで早速自分は提案する手筈まであるしたが今回の如き一般的緊急勅令は當然效力は朝鮮にも及んでゐると云ふ議論もあり旦又朝鮮に於ける目下の事態は一日二日を爭ふ程の急を要せないから充分研究を遂げてと思つて今日に至つてゐるが元來法律ならば之を朝鮮には適用施行する場合は之が延用の勅令を以てしたのであるけれ共勅令は法律にはあらざるも法律と同樣の效力を以て居るものである緊急勅令に對して此の效力の及ぶべき範圍を更に勅令を以て公布すると云ふ譯にもいくまいと思はれる昨日東京出張中の和田財務局長から自分への電報に依ると『緊急勅令は當然朝鮮にも效力が及ぶべきものであると云ふことに政府内の意見が一致した模樣であるから明日頃は通牒がいくだらう』といふことであつたから實は待つて居る所である

果してさうなる

とすれば單に治安維持に關する勅令のみではなく今回公布を見た三緊急勅令中暴利取締令も當然朝鮮にも及ぶのである云々

震災救恤品の輸送
取扱方變更さる

京城鐵道局に於ける東京、横濱其他震災地行き救恤品輸送取扱方を左記の通り變更九日より實施した。

扱別大貨物各扱
▲發驛　朝鮮線各驛
▲着驛　一朝鮮各港所在驛（不通區間を除く）二震災地各驛　三省線小野濱經由日本郵船會社航路濱港

品目及運賃料金
▲朝鮮線（イ）官衙公共又は慈善團體宛救恤寄贈品にして官公衙の託送のもの又は其の證明あるものは無賃（ロ）官公衙公共又は慈善團體の罹災民救濟用食糧品及建築材料にして官公衙の證明あるものは規定運賃の五割減
（發着手數料所定の通）
▲鐵道省線　官公衙公共團體寄贈品にして貨車面に救恤品たることを表示するものは無賃
▲日本郵便會社航路　鐵道省に同じ

清水港を横濱港に代へる

【東京電報】横濱震災委員會所では差し當り清水港を以て横濱港に代ふるべく同地に調査員を派遣する事に決した。

暗號電報
不許可範圍

【東京電報】暗號電報不許可の範圍左の通り
一、戒嚴令施行地に發着する私報
一、内地と新領土間の私報
一、外國私報

各省救護事務多忙を極む

【東京電報】内閣各省等は救護の臨時事務に忙らにして當分平常通事務を執る能はざる狀況である

東京方面交通

【東京電報】交通は八日より芝浦清水間汽船便乘、横濱品川間は郵船開始、品川横濱間鐵道通ず

在郷軍人の決議

【東京電報】帝國在郷軍人會は左の事項を決議した
一、罹災民の救濟二、流言蜚語の防止三、安寧秩序の維持

豫算編成替要求

【東京電報】各省の明年度豫算は既に各省から大藏省に回送し同省で査定中であつたが今回の震災及び火災に依つて救濟事業社會政策事業及び各省廳舍其他營繕要求が突發し從つて明年度豫算は茲に再び編成替へをなすの必要が生じた爲め近日大藏省は各省に編成替へを要求する由

[illegible]兆に及んだ三日本の公債相場の下落額である之は一面國際金融市場に於ける日本の信用の厚いのを物語るものである。」

北京外交團の見舞

【青島電報】北京駐在の外國使節會議は日本今回の震災に關し聯合國大使會議の名に於て日本政府に對し深厚なる同情を傳達すべく決定する所あつた

支那留學生も起つ

【東京電報】在留の支那學生は帝國政府に對し日本今回の災害を救濟する爲め支那國民は一致團結して救濟方を講ぜられたしとの旨を電請した

赤塚正助　命特命全權公使[illegible]駐箚　外務省歐亞局長　井手繁三郎　依願免本官

無錢遊興や宿屋を踏倒した店員

[illegible]數日前より拳銃を携帶した一青年が府内新町遊廓を徘徊ついて居る[illegible]ことを聞き[illegible]本町署刑事はそれとなく注意中九日午前[illegible]

天機御機嫌奉伺
李王殿下より

李王殿下は閔長官を李堈公殿下は李武官を十日午後二十分御使として總督府に遣はし天皇皇后兩陛下攝政宮殿下の天機並に御機嫌伺の御沙汰を傳達した

總督府出張所
衆議院内で執務

【東京電報】總督府出張員事務所は衆議院に於て更に一室を借受け執務してゐる

總督着京

【東京電報】齋藤朝鮮總督は震災見舞の爲め九日夕刻着京した

貨物受託停止
震災地行の分

震災地行一般貨物は當鐵の輸送力不足の爲め東海道線沼津以東、中央線上野原以東、信越線輕井澤以東、東北線熊谷以西行一般貨物は當分の内其受託を停止することゝなつた、但し沼津、三島著食糧品救恤品及建築材料は除く

朝鐵の無賃扱

朝鮮鐵道會社各線とも震災地行救恤品無賃輸送取扱ひ開始した
一、扱別大貨物各扱　一、發驛朝鮮鐵道會社線各驛一、着驛朝鮮各港所在驛一、荷受人罹災地官衙公共慈善團體一、運賃千寄贈品は相當證明あるものに限り品種を論ぜず無賃納入の食糧品及建築材料にして相當證明あるか又は罹災救恤用と認むるものは規定運賃の五割減（發着手數料及接續費決定）

領事會議
開否は不明

南北滿洲駐在の領事官會議は來る二十五日から奉天に於て開催の筈であつたが震災の爲め同日よりの開否は目下の所不明であると

秋月社長無事

東京震災のため消息の絶えてゐた秋月本社々長は幸ひに無事なりし旨十日高賀本社東京支局長より打電して來た

行政整理
地方官に當分委任

【東京電報】各官衙の事務は災害の爲めに忙殺せられてゐる一般行政の事務も思はしくないので之等一般行政整理を當分適宜に地方官に委任して便宜を計る事になつた

豫約新聞通話規則
通話心得、料金、區域其他
蒲原遞信局長談

新聞通信事業發達の現狀に鑑み新聞通信事業者の通話に對し利便を供する必要を認め本月十日の朝鮮總督府官報を以て豫約新聞通話規則を發布せらるゝに至つたが本制度は新聞社又は通信社が一定時間に於て新聞掲載事項を通信する爲め其加入電話に依り一箇年を通じ毎日一定の時間に二通話以上の市外通話を爲す者であつて電話線路の故障等已むを得ざる場合を除く外は認可せられた通話の數だけは毎日時刻を違へず通話が出來るので新聞通信には最も適當な方法である

豫約通話は其の通話時刻の凡て二分前に交換局から豫約者に對して呼出の信號をするが豫約者は前以て總ての準備をして置いて直ちに支障の無い樣にしなければならぬ例へ豫約者の都合で豫約の時刻に通話を始めない場合があつても其の時刻に通話を始めたものとして通話は時數を計算することになつて居る

豫約通話の料金は豫約の時數に應じて年額で課せられ一通話の豫約通話料は一般通話料金の三百六十倍である又豫約通話の通話區域は一般の通話區域と同樣であるが一般通話が非常に輻輳する區域は認可せられないこともある又通話時刻通話時數等は他の豫約通話の關係其他一般通話との關係を稽へて定むるものであるから申請した通話時數及び通話數通り認可の出來ない場合もあるので認可の際に之を指定することゝなる。

公會私會

商議評議員會　京城商業會議所にては十日午後二時より臨時評議員會開催内地災害救濟問題に就き協議する筈なるが八日開會の役員會に於て本年度豫算に計上しある商工業獎勵費五千圓を全部救濟資金に振替ふる事に協議纏りたれば評議員會に於ても結局之を承認する事となるであらう

人事消息

旋履本氏（日本駐在支那代理公使）隨員帶同六日夜北京出發九日朝鮮經由東上した
陶永和氏（支那紅十字社代表）外四名と共に日本罹災民慰問の爲め八日出發十日京城通過東上因みに一行は孰れも日本留學生出身にして北京醫學界の代表的人物である
▲新庄祐治郎氏（警務局高等課長）關東戒嚴警務署長會議より九日夜歸任
▲吉川義章氏（日本電通京城支局長）十日朝内地より歸城
▲藤村忠助氏　十日朝著釜九時北行（釜山電）
▲榎本經氏（辯護士）八日咸北地方より歸城

茶話

今朝關東の震災から避難した[illegible]高等課長曰く、關東地方の大震災に對し到るところで大なる驚異と大なる同情とを表してゐる▲と同時に反面には相變らず下らぬ荒唐無稽の流言蜚語のあるのには驚く▲震災の影響で騷いでゐるのは滿洲では先づ[illegible]が一番であるとの話▲就中如實に實現されたのは株式が多少下押し傾向を示した丈けのもので他には未だ何にも現はれぬ▲序に流言蜚語の一節を紹介すると、震災で多くの宮殿下が薨去されたから尾崎行雄が大統領になるだらうと言つた調子▲尾崎君もとんだところでとんだ場合に出されたもの苦笑の至りだらう▲鮮内へ入ると新義州を始め平壤でもよく情勢を訊いて見たが何ろ氣の毒な位の流言蜚語であるとある▲震災地からの電信私報は一兩日前から開通されたが未だ極僅しか入電がない▲こちらからあちらへの電報は取引關務に關する官報以外は新聞電報のみで一般の電報は駄目である▲一日一日も早くこの通信狀態を復舊させたいもんだ

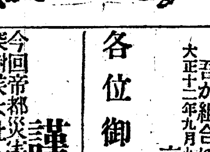
工事請負入札
一、平壤兵器製造所[illegible]工事
右九月二十二日入札詳細ハ九月十一日朝鮮總督府官報ニアリ
平壤兵器製造所

至急　貸告
不良の徒が擔者の手形及び不動産權利證を僞作し金錢の借借をなさんとする風說あり擔者何等關係無之内外人とも注意ありたし此等欺瞞手段に罹らざる樣御注意ありたし
京城府[illegible]洞四六ノ二　閔庭[illegible]

公告
京城府本町二丁目九十番地
パイン商工株式會社
右會社ハ大正拾貳年八月五日解散シタルニ付債權者ハ大正拾貳年拾月拾九日迄ニ請求ノ申出有之度此段及催告候也
追而右期間内ニ請求ノ申出無之債權ハ清算ヨリ除斥セラルルモノトス
右公告候也
大正十二年八月廿九日
パイン商工株式會社
代表者清算人　植松貫之助

樂器運動具定價表進呈
少年樂隊　金六十圓以上
五人組樂隊　金二百二十圓以上
山葉オルガン　金四十五圓以上
鈴木バイオリン　金五圓五十錢以上
鈴木マンドリン　金十一圓以上

於朝鮮　樂器界の元祖



京城鍾路大通り　セヤマ樂器店
京城鍾路（鍾路警察署前）　セヤマ運動具部

タイプライター　活字　良品極廉速送
熊本市紺屋今町　酒井活版製造所
長電一七四五番　振替三〇一番

●必ず儲かる副業
誰か一、二坪の庭にて。無資本で、一日五六圓の收入ある。女子供にも容易に出來て、海外輸出藥草にて、サフラン。百合。オリーブ。人參。ヘチマ。外數十種の必ず儲かる秘訣は斯道の大家純室公民先生が發表せる●家庭副業の新研究に手にとる樣に詳述せり●●特價一圓二十錢前金注文送料八錢後金希望者はハガキで申込次第に代金引換便でも送る代引送料廿錢
東京府下富士見町六　振替東京一五八番　正文社

あんナシ（しんナシ）保證付
わたハ　京印　綿
綿店　呉服店ニアリ
朝鮮製綿會社
京城齊藥町　電話龍山二二六

▲謹告▼
拜啓各位益々御清福の段奉賀候陳者今回關東地方の震災に就て金物類は暴騰致居候得共弊店は社會奉仕の爲めに出來得るだけ格安にて御商談に應じ申すべく候間多少に拘らず御用命被成下度御願申上候
仁川本町四丁目
阿波屋金物店
電話三三大番

謹告
今回の大震災に付き早速安否御見舞に預り奉謝候本社よりの入電に依れば本社は類燒せしも重要書類は全部安全に有之營業上些の支障無之候間御安神被成下度不取敢御禮旁々謹告仕候
九月十日
朝鮮京城旭町貳丁目七八番地
横濱生命保險株式會社
朝鮮支店

謹告
拜啓今回關東之大事變に付我業の主要原料たる砂糖小麥粉等或る中間商人の奸策に依り意外の大暴騰を致し吾等營業者は非常に苦痛を感じ候得共此際平素の御引立に報ゆる爲一切値上げ不致從前の單價にて一層叮寧に入念製作致して賣仕候事に決議致候間益々御用命之程伏て願上奉り候　頓首
追て中間商人の奸輩は近く發表と同時に將來吾が組合に一切取引を斷絶致す事に仕り候
大正十二年九月九日
京城菓子商組合
組合長　本吉清一
各位御中

謹告
今回帝都災害ニ就テ深甚ナル御見舞ヲ忝フシ深謝候本社ハ幸ニ災禍ヲ免レ重役以下社員一同無事ニ有之候間御放慮相願度此段謹告仕候也
愛國生命保險株式會社
朝鮮支部

お待ち兼ねの
新荷が着きました
白耳義製　手編毛糸
關東大震災に鑑み出來得る限り安價にて提供致します
弊店今秋第一回直輸入品
京城明治町郵便所前
米倉毛糸店
電話本長一三三四番

謹告
東京本社被害ナシ御安心被下度候
契約者各位
東海生命保險相互會社
朝鮮出張所

九月十日ヨリ開講　補缺會員募集ス
旭町二丁目メソヂスト教會内
實用英語夜學會
電話本局二五六五番

開業
辯護士　中嶋潔法律事務所
大田春日町一丁目
電話長二二六番

内外から集まる同情の滴

避難歸還者に 手厚い世話を始めた
震災慰問事務所

釜山府聯合慰問救護會及震災慰問事務所と協議を遂げ第一棧橋に震災避難民の取扱所を設け新に罹災避難者取扱所を第一棧橋の中間にある家屋を休憩所に充て其處で食事を給すると共に鮮人會、國粹會、消防組は罹災者の乘車案內、食事分配等に當ることゝし傷病者に對つた食物は一食に米二合宛握り飯に沢庵、朝鮮味噌等を添へることとしたと

鮮人學童 貯金全部を義捐す
東京の少年に送つて下さい

八日の夕方可憐らしい十二歲位の、朝鮮人兒童が七つか八つ位の弟らしいもの手を引いて本社編輯局に來訪し襟に下げた巾着から沈銀英同弟と戰聯と書いた紙片と五圓紙幣一枚を出し『之れをどうか地震で困つてゐる東京の少年の救濟金の內に送つてくれ』とのことであつた。其の服裝といひ、言葉づきといひ、又は其態度といひ誠にいぢらしいので、本社員は深く感心させられて仕舞つたのであるが誠に殊勝な心がけなので其のまゝ受取ることを躊躇し少年の父なる安國洙氏に之れを質すと『イヤ實は兒供達も東京の慘狀を聞いて小さい心を痛めたらしく學校の歸りに自分達の郵便貯金二圓四十錢を引出して東京の少年に送りたいといふから自分も大いに其志しを喜とし二圓六十錢を補助し合せて五圓として送つたのである遠慮なく受取つてくれ』とのことであつたので本社では直に右手續を取つた

最初の遭難鮮人歸る(八日朝釜山棧橋にて)

地方各縣の 救援團入京活動す
道路の修理屍體運搬 食糧品の配給に盡力す

罹災民救護の爲め上京した聯合救護團の作業に就いた人員は九日迄に群馬二千名、栃木千五百名、茨城、福島、宮城縣其の他各二三百名の多きに達したがこれ等は何れも道路の修理、死體の跡片付、食糧品の配給其他の仕事に盡力して居る(東京電報)

李王妃殿下 女官御差遣

九日來院始せる赤十字篤志婦人會の總裁慰問の爲め李王妃殿下には十日午後特に女官三名を明治町の愛婦幼稚園に差遣された

赤十字の 慰問品
約二千圓に達す

赤十字社朝鮮本部及愛國婦人會等で取纏めた震災慰問品は九日までの分は衣類シャツ類二千五百七十四點で內單衣七百五十八枚、袷二百十四枚、古服五十點、丹前十二枚、帶八十一點、蒲團百十四點、毛布十九枚、小供衣三百八十七枚シャツ六百七十二枚、タオル類百二十九點、反物類三十九點、小切足袋、靴下類等多數で見積價格は約二千圓以上に達すると

普天教幹部 の義捐

普天教の幹部李祥昊、文正三の兩氏は全羅北道から態々上京し本社を訪ひ震災救恤の義捐金として二百圓の取次方を依頼した右は同氏等が個人としての寄附で同教としては別に教徒中から募集して寄附する筈であると右に就て李祥昊氏は語る『朝鮮の耶蘇教以外の宗教團體として普天教の寄附が嚆矢である同教は世間から太乙教と云つて世間の疑惑の目を以て見られてゐたのであるが一昨年來內容の改革を計つたので今では朝鮮で有數の宗教團體となつてゐる、その普天教が義捐を新聞にやると云ふことは內鮮融合の爲め欣ぶべき現象である』

各方面の 慰問品
續々集まる

京城府三の二小林商店主小林源六、元井九十郎氏は市內各方面を奔走して震災慰問品を取纏め中であつたが衣類タオル類など十五行李を纏め得たので既に發送の手續を終へたと、尚此の外日本殖產會社から慰問品二百貫其他三越の紡績品、女教徒會、假組合、實業聯合會等の慰問品も多數ある見込みであると

東拓殖銀義捐

東拓京城支店では震災義捐金を醵出する事となり同支店長以下全店員一同より合計一千五百圓を醵出する事となつたが俸給に對する割合は勅任五分以上を課して判任一割二分乃至三分となつて居る又殖產銀行では課長級以上は二割以上一般は二分以上と決したが一般に五分は低率過ぎると

婦人會長夫人 百圓寄贈

東大門婦人病院長ロセッタ、ホール夫人は昨九日午前態々赤十字社朝鮮本部を訪問し金百圓に左の書面を添へ寄贈した

「今回慘禍たる震災地方に於ける赤十字救護事業の爲め金百圓拜入致候間然るべく御使用被下度願上候唯懷善とする所は資金の僅少なることに有之候願くば神は此の少額の金が罹災者の上にあらむことを、私の祈は各國民、人種を問はず共に同情と愛を以て救濟に當ることに有之候 草々敬具」

女高普生應援

女子高等普通學校の上級生は揃つて愛國婦人會の慰問衣類の整縫を手傳ふことゝなり十日一同教室內にて熱心に裁縫した

藤田男 五十萬圓を義捐

藤田男爵家は今回の震災に關し五十萬圓の義捐金寄附を申出で尚白米一萬石を贈る外網島別邸の一部をも開放して避難民を收容することゝなつた(大阪電報)

三井更に寄贈

三井合名會社は更に二百五十萬圓を寄贈し合計七百五十萬圓となつた

辯護士團 一千圓寄贈

京城內地人辯護士會では十八日の總會にて東京震災に千圓の義捐金を送る事を可決し直に其手續を開始した、それから朝鮮人辯護士會でも震災救濟打合せの爲め十日午後一時から辯護士控所で總會を開いた

金鎖を金に 代へて義捐す

本町一丁目代書業金原顯三郎氏は今回義捐金として現金十圓を提出したる上更に自分が帶びて居た金鎖(評價四十圓)を外し時計の鎖としては金鎖でなければならぬと云ふ必要はない、寧ろ贅澤であるから之を金に換へて義捐金の中に入れて貰ひたいと現品を差出したと

十八圓の薄給者が 唯一枚の着物を

仁川物產會社仁川支店員小島作太郎君(二二)は僅月十八圓の薄給者であるがたつた一枚しか持合せのない單物をぬいで罹災民に送つてくれと府廳に持參したと其の熱誠は感謝すべきである(仁川)

美しい 鮮人女工の同情

京城府西大門外にある京城紡績株式會社の工女百二十餘名は東京罹災の狀を聞くと共に同情して直に罹災者に衣類を送る事に着手し各自一錢宛を出し合ひ職工より罹災の狀況に同情して衣類を贈ることになつた罹災地方に於ては事變と同時に一部不良鮮人の蠢動を加へて內外の指彈を受け居る今日之れはまた優にやさしき人情の發露ではあるまいか

京城府の調査員 今夜出發東上す

京城府居住者の在東京家族調査は受付以來依頼者殺到し十日午前十一時締切までには約九百件に達し人數を數ふれば二千人以上に上る見込みである、最初府當局は鈴木前田の兩書記を派遣する豫定であつたが事の如く調査人員が多いので更に野中府屬、松本、佐藤等の雇員を增加する事となり同一行は愈々十日夜九時の京城驛發東上した

鐵骨は安全 鐵筋混凝土は惡い
震災が建築學に與へた資料

東京建築技師の談に依れば今回の大震災は建築學に對して多大の資料を與へ將來の建築に對しても種々の改良を促すことと思はれるが今回の地震では丈夫な鐵骨で造つたものは安全であつて鐵筋混凝土は一般に惡い樣である、尤も鐵骨は何れかと云へば建物の安全と否とは建築それ自身よりも寧ろ地盤の關係如何に依つて決せられたるもので極めて粗末な建物でも其地盤が堅硬であれば其の損害は些しもなかつたことであるが、併し地上等とかで地盤の惡い所では損害が甚しかつたと云ふ

厭世投身を企つ
母や妹は死んだものと思込み 人道橋で警官に救はる

東京市神田區西小川町三丁目醫師の長男田昇(二〇)は震災前から來城し南大門笑福旅館に投宿中の所東京大震災で神田區全燒せるとの報を聞き實家にある母親と妹は慘死したものと考へ歸るに歸られず遂に厭世して居る中東京の家族の安否を知る由もなく人道橋から自殺を計つた所を九日夜警官の爲め救助せられた懷中には四通の遺書を持つて居つた此事情を聞いた黃海社の安藤人渡邊定一郎氏は本人を勵まし旅費を與へて歸京せしめ十日夜母親と妹の安否を訪ねて歸京した

囚人三名脫走を企つ
土工に從業中

九日午後四時十分頃京城府西大門外で作業中の囚人三名が看守の隙に乘じて逃走を企てたが潜伏して居るのを認取し格鬪の上逮捕し看守へ引渡したと

其後の 寄附申込

關東方面大震災に對する其後の寄附申込み者左の如し(東京電報)

一、三十萬圓 鍋島侯爵
一、食糧(價格約八萬圓) 岡山縣
一、三十萬圓 公爵毛利元昭
一、三十萬圓 公爵島津忠重
一、三十萬圓 侯爵前田利爲

火藥を火中に 投じ難を防ぐ
火藥業者の應急所置

東京市內にて火藥販賣業者二十四名中十九名連署し火藥類倉庫五棟を破壞し在庫品の多くは直ちに河中に投げ込んだ(東京電報)

德富氏無事

東京地方今次の震害に際し國民新聞社長德富蘇峰氏は無事

震災映畫上映

京城劇場 文藝映畫第一報第二報を上映、一等一圓、二等八十錢、三等五十錢

喜樂舘 九日から日活撮影の震災第一報を上映し十一日より實演連續冒險『南極探險』ルスローランド主演現代劇『柿木棟助』五卷、日活向島現代劇『愛の甦る日』六卷、東京大震災第二報

黃金舘 大阪朝日新聞社では黃金舘で震災映畫を十日十一日二日間上映する、入場料は內

大每活寫班 大每京城支局では左記の方法に依て上映する

十日夜八時より 二圓
十一日夜八時より 二同南大門
十二日夜八時より 二同
入場無料

十重二十重に積重なつた 被服廠跡の死體
異臭邊りに漲り悲慘とか慘憺とか言ふ形容詞を超越す

今度の大震災で最も酸鼻の極を呈したのは何と云つても本所被服廠の跡で避難民三萬五千人が燒死したことである當局では手の附け樣もなく八日になつても其儘となつてゐる異臭邊りに漲り悲慘とか慘憺とか云ふ樣な形容詞で云つても迚も云ひ表はす事は出來ない被服廠跡地は一萬五千坪もあるが全部死體で埋はれ殊に石原際留所跡の箇所は十重二十重に積重なつて燒死して居るこれ丈け廣大な所だから身體は安全と聞き避難したが一大旋風と猛火の爲め一溜りもなく三萬五千の避難民は燒死したのである(東京電報)

大川筋から 無數の屍體
水上署で死體收容に着手

水上警察署は二千五隻の船を使用し大川筋及び海岸筋の死者收容に着手したが其の數は無限なため當分は警視廳から派

震害に脅えてゐる鎌倉に 二十六名の海賊團

七日夕刻海賊が現れたことであつて賊の一團二十七名は武器を攜ひ鎌倉を目掛けて盛に掠奪を行ふべく…る(東京電報)

仁川瓢館

仁川瓢館(東京仁川支部)では…

氏は震災のため八日夜大阪に到着した(仁川)

四萬五千人を火葬に附した
八日朝までに 所持金十萬餘圓所持品山をなす

本所の被服廠で八日朝迄に火葬した數は四萬五千餘であるが之等死亡者の所持する金額のみで十萬圓に達し更に時計指環其他の裝飾品は山をなしてゐる火葬場では絕へず僧侶が讀經してゐる(東京電報)

避難所の死體多數も燒屍に忙殺されてゐる(東京電話)

燒却死體六萬
溺死壓死合せて十萬か

帝都に於ける死體取り片付けは八日夜半までに約六萬以上に達して居るが之等は既に燒却したが此外溺死、壓死等を合すると十萬を越えると

大震災の犧牲者
九日までの死體六萬五千人

九日午前十時迄に報告があつた東京市の死體收容總數は六萬五千二百八十六名で各區の內譯左の通りである(大阪電報)

▲麴町區百名▲神田區二百七十五名▲日本橋區二百五名▲京橋區六十七名▲芝區九十五名▲麻布區卅六名▲赤坂區百二名▲四谷區不明▲牛込區四十七名▲小石川區二十一名▲本鄕區三十四名▲下谷區百十五名▲淺草區五百九十六名▲本所區五萬三千四百十八名▲深川區七十六名

親兄弟に離れた 一千餘名の迷兒
警視廳で保護やる

震災以來警視廳及び各警察署に於て保護中の迷兒は之を全部取纏めて警視廳刑事部に移し各警察署に於て之れが問合せに應ずる由因に九日正午迄に判明した迷兒の數は九百八十五名であると(東京電報)

橫濱市 八日漸く鎭靜
囚人の半數は歸らず 倉庫の在庫品掠奪さる

橫濱市平沼にあるスタンダード石油タンクの猛火は八日に至るも尙鎭火せず黑煙濛々として物凄し又根岸方面では刑務所を開放したが囚人の約半數は今尙歸らず稅關倉庫、海岸倉庫等の在貨は掠奪に逢つたが八日以來其筋の取締に依り漸く平靜に復した(大阪電報)

公園の鯉や家鴨を食つて 露命を繋ぐ避難民
二十萬人は賴る人なく 身寄はあつても他府縣にある

今回の大火で燒き出された罹災民の數は約百二三十萬に上つてゐるが其の大部分は夫々避難し大低落付く所に落付いたそうであるが其中約二十萬人は全く賴る人なく又は身寄はあつても他縣に居る始末で日比谷、芝上野の各公園淺草公園等は之等の人達で一杯になつてゐる此家族達は炊出を唯一の賴みにして命を繋いでゐるが之れは心ゆくばかりに行き渡らず日比谷公園の池の中の鯉や家鴨等を追ひかけて殺し之れ等は全部取り盡して終つた(東京電報)

日光御用邸の 土塀崩壞す
兩陛下御機嫌麗しく渡らせらる 栃木縣知事謹話

日光御用邸は同邸の土塀崩壞せる外に被害なく兩陛下には御機嫌益々麗しく拜せらる、關東地方大震災に付聖上陛下には事の外御軫念あらせられ給ひ震災に關する情報の達する毎に種々御下問を賜はり罹災民の救濟事業に付日夜御軫念遊ばさるゝ誠に恐懼の至りである

鮮支人二千名 習志野に收容する
言語不通より生ずる事件を防ぐ爲

鮮人及支那人に關する言語不通より生ずる事件を未然に防ぎ保護する爲め八日迄に習志野の臨時收容所に收容した人員は鮮人八百五十名支那人千名である(東京電報)

食糧は充分だが 衣服の不足が心配
寒さに向ふので救護事務所に至急配布を希望する

食糧は先づ十分の見込であるが之からは寒さに向ふ事とて衣類の不足に心配してゐるが右に就き救護事務所では至急配布されたいと希望してゐる(東京電報)

殺人脅迫者は 特に嚴罰する
警戒の不備に乘ずる 不逞者を逮捕監禁

內務省警保局は此の際暴行に對し擅にする者を逮捕監禁する爲め內外國人又は國家に對する罪、強盜其他の犯罪者を特に嚴重に處罰する筈である(東京電報)

人心沈靜し 秩序回復す
【陸軍次官發―軍司令部公電】

【陸軍次官發表】次長公報九月十日午後二時朝鮮軍司令部著電】東京府の燒失家屋は約三十萬罹災民約百三十萬である

▲橫濱市の燒失家屋全市約九割に達するものゝ如し戒嚴區域內に於ける東京市の電燈及瓦斯は概ね完成し各師團工兵隊の補給は鐵道の修理、道路、電信線の恢復、鐵道の連絡等に盡力を傾注しつゝある ▲東京市內の給水及電燈電話の架設完成し鐵道は東海道本線を除く外概ね開通し震災地の糧秣は目下續々到着中で橫濱地方の補給尙遠の如くならざるが京濱方面は其緒に就いた ▲東京市民は一般に極めて沈靜し秩序恢復しつゝある全國民は勿論米國、支那を始め各國は罹災民に對し無限の同情を表し救恤に努めてゐる

最初の避難鮮人
二百二十名歸還す

震災地よりの避難者內鮮人二十四名及び神戶方面よりの避難鮮人二百二十名は下關より新羅丸に收容し十日朝十時釜山著救護所にて食事その他の手當中にて同夜各々その目的地に向ふ筈なりと(釜山特電)

醫專の生徒が 救護班を組織
準備は既に整うた 命令一下何時でも出發する

震災に對する救護方面の救護は著々として進みつゝあるが傷病者の手當に至つてはまだ充分とは云はれない京城醫學專門學校では是を憂ふる職員學生の最上級生三十名を以て救護班を組織し命令一下何時でも出發し得るやう準備を整へて居る右につき學生側では語る『最初は義捐金でも集めやうと思ひましたが新聞で見ますと救護の手が不足して居ると云ふ事ですから寧ろ我々の身體を投げ出す事にしました早速學校當局及び道當局の諒解を求めましたところ双手を擧げて贊成されたので直ぐ樣準備に取懸りまして居る處です我々はまだ學生の事で至つて未熟な者ばかりですが皆熾烈な意氣で何時でも出發する自信を持つて居ます兎に角一同倒れて後に止む覺悟で志賀校長からの電報を待つて居るのがもどかしくてなりません』

志賀救護團

志賀博士を團長とせる醫師看護婦救護團は八日東京著九日より東京赤十字救護班に加はつて救護作業に着手した

朝鮮米廉賣

朝鮮より輸送する白米は東京府及市に於て廉賣のことに取計らふべき旨九日陸軍大臣より總督宛電報があつた

着陸の際 重傷す
兒玉中佐の奇禍

關東戒嚴司令部發表=各務ヶ原東京間連絡飛行に任ぜる飛行大隊工兵中佐兒玉淺次郞氏は八日午後二時三方ヶ原より三島練兵場に著陸の際重傷を負ひ生命危篤なり著裝物は之を宮田大尉中繼し午後二時十五分出發東京に到著した(東京電報)

相愛會
勞力提供申出

在京鮮人團體相愛會では今回の震災に對し勞力提供を申出たので道路、橋梁等の修理に使役することとなり一般の同情集りつゝある(東京電報)

罹災民への 配給米
一日六千俵

東京市の罹災民に對しては目下一名當り一日二合五勺の割合で米を配給してゐるが之でも一日六千俵乃至七千俵を要すと(東京電報)

橫濱の死傷者
陸軍省調查

七日迄の陸軍省調查に依れば橫濱に於ける死者は二萬三千負傷者は三萬七千である(東京電報)

今秋の御盛儀
御裁可を仰ぎて延期されん

今秋御擧行の筈であつた東宮殿下御成婚の御儀は今回の震災に依り東宮殿下より御延期の趣き而宮相より牧野宮相に申し送つたが決定に至るまでには陛下に奏上御裁可を仰ぐ可ければ何分の御沙汰あるやに承はる

震災後 初めての電報
配達をして『有り難う』と感謝されるのは初めてだ

震災後東京からは官報の外入電なく一般電報は私報の到る樣を鶴首して待つて居たが愈々九日の夜になつて私報の第一報が京城局に入つた、途中は輸送するものゝ如く第一報は下關からの發信で五百三十九通、第二報は大阪からで四百九十三通合計千三十二通である京城局からの京城府の分は五百五十四通で配達不能は五通あつた、京城局第一回の受信終了は午後十時二十分で配達終了が午後一時、第二回は午前三時三十分受信を終り配達は午前八時三十分までに終了した、配達夫の談話に曰く『電報配達をして以來、有り難うと叮嚀に禮を言はれるのは今回が始めてゞす、電報!と叫ぶと家族全部が飛び出して來て開封しない中から御禮をして有難うくとお禮を述べられます、平素と異り電報が來る程だからと云ふので斯うして喜ばれるのだらうと心中を推測します』尙此の外釜山局に三百八十六通、元山局に百十通の私報入電があつたと、之れからボツく續いて來るだらうと

故師正王御葬儀

新らしい書籍雜誌は 當分見る事が出來ぬ

いやうになる今度日本國中の書籍の全滅に依つて大抵の本や雜誌の出版元は燒けたので書籍や雜誌の…

氣象日報

北は其他は晴天にして海岸は稍強し前記の颶風は支那の內陸に入るか又は東海に來るか目下不明なるも何れは其影響を受けて一般に天候不良なるべし十一日京城は雨天

九日正午 …

震災義捐金 本社取扱分

壹百圓 帝國生命保險會社京城支店長玉崎謙三
壹百圓 帝國生命保險會社京城支店職員一同
五十圓 黃金町三ノ三〇 本田榮治
五圓 平南安州郡立石面 堀尾トメ
小計金二百五十五圓也
累計金八千七百六圓四十錢也

訂正 昨紙夕刊三百圓京城石工同業組合員一同とあるは京龍石工同業組合一同の誤

府廳取扱分

二百圓糖長鳥二百圓田中友吉二百圓巴城館松本民介二百圓三田政次郞一百圓椎木字之助一百圓村上天興一百圓楢木きみ一百圓朝前出合名會社一百圓坂虎太郞五十圓石川物產商會五十圓神吉長作五十圓岩本庄吉京城支店三十圓田中友吉店員一同三十圓棚田文治郞三十圓久保田良藏二十圓宮部吉次郞二十圓特產物會社奴室二十圓木島新二十圓白井商店十圓大西賀一十圓辻後次郞十圓久保田秋藏十圓岩田太助十圓渡邊新太

關東地方の大震災に翕然として集まりし各地の同情
同胞の危急を救ふは此時！
先を競りて義捐金を申込む

釜山 釜山に在住せる支那人は領事の同國領事官を中心として東京方面に一部を寄して居るが今回東京方面に於ける震災が萬古未曾有の大慘害を惹せるに對し領事を始め在住者一同多大なる同情を寄し數日來義捐金の募集中であつたが取纏めの結果三千五百圓餘の巨額に達したので之を二分し其半額は神戸商務會主催の救濟資金の一部として同會に送金し半額六百數十圓を釜山府主催の義捐金中に加へられたき旨八日現金を添へて府廳に申出でた

統營 今回の東京震災を中心とする大震害に對し統營市民は去る五日六日の兩日面協議員各區長學校組合議員町總代新聞記者其他內鮮有志多數面事務所會議室に集合協議鮮民救濟に就き協議した結果市民にて廣く共四千圓以上の醵金をなし之れを以て布團約二千枚以上を購ひ百餘人の婦人と二萬餘となし災害地に急送することに決し婦人有志は袋の縫製仲買組合は荷造り發送等に全力を傾けて居る一方有志者は各町に夫り醵金募集中なるが成績尤も良好で豫定以上の額に達する見込である

晉州 既報の如く晉州面に於ては義捐金の募集を七日より開始せるが一般の內鮮市民は募集を期待せる事とて義捐續々申込み面協議員鄭氏は鮮人の自分は僅少であるがと二百圓即納し內地人側は淸水佐太郎氏は五百圓義捐金申込み受附事務開始と同時に既に二千餘圓の巨額に達した尙和田知事は山下郡守、上原面長、淸水道評議員を同日午前十時道廳に招致し義捐金に對する本府の希望を傳へた又愛國婦人會の慶南支部長は親山に義捐金用務を帶び醵金行せり尙修養團支部は義捐金募集に際し晉州市事務所の後援と山下支部長以下團員は一致し大活動を開始し非常なる効果を擧げつゝある

大邱 慶尙北道にては今回の大震災に對し大邱府を始め各郡島に於ても非常の努力を以て同情義捐金及び慰問袋衣類等の募集に努めつゝあるも尙其上遺憾なきを期する爲め慶北道廳より諸官廳を歷訪し達城、永川、慶州、迎日、盈德の六郡に、竹下屬を軍威、義城、青松と英陽の四郡に、竹良屬を漆谷、星州、善山、金泉、尙州、聞慶の六郡に、竹下屬を醴泉、奉化、榮州、安東の四郡に何れも八日附出張を命じた

全州 全北の震災救濟義捐金は四萬圓以上を募集することにしてゐたが一般篤志家は振るつて應募するので五萬圓以上に及ぶであらうが全州其他では在鄕軍人分會及び修養團で梅干を募集して歩いたので之亦充分に出來生姜漬五十樽も難なく蒐め全北特產の雨傘も三千五百本を買求めたので八日道廳員多數手分けして荷造をするやら生姜漬をするやらで知事始め幹部は目を廻してゐるが何れも白米千石と共に十一日群山港から積出す筈又愛婦支部の古着募集も一般婦人の同情で多數の古着を集めたので之に消毒を施し之亦同樣十一日までには送り出す筈

光州 八日午後八時より光州小學校講堂に於て市民大會を開き關東震災及其附近の大慘害に就て救護方法を協議した。集るもの內鮮人無慮數百名各官民代表者臨席にて先づ此の慘害の狀況を述べ各自應分の義捐せられ度しと夫より光州面を十三區に區分し各區より委員を出し郡六面、學校組合議員を各區に配當し十一、十二の兩日を以て全部取纏める事とし滿場一致決定し席上忽ちに三千餘圓の寄附申込ありたり

鎭海 鎭海市民は今回の震災に對する義捐金募集について寺院青年會婦人會と夫れ〴〵二戶三戶となつて只管慰問の方法を講じつゝあるが何分一寒村に等しき事とて滿足を得る事は出來ないので去る七日には市民の一部一心寺に集合し此れが方法を講究した

大田 今回の大震害に大田官民有志の發起にて募集したる金品寄贈品は總品取り交ぜ六千點以上に達し義捐金は未だ全部の募集を終らざるを以て明確ならざるも目下の狀勢よりすれば五千圓以上に達する見込である物品は直に荷造りをなし罹災地に向け發荷した

公州 關東地方に於ける震災に就き愛國婦人會公州支部並公州郡守面長公職者發起となり先づ衣服類の募集をなし八日全部取纏め愛國婦人會朝鮮本部に發送方を委託することゝした尙八日午後一時より公州面長學校組合管理者發起となり有志大會を開き義捐金募集に關する協議をした

江景 此度關東大震災に對し坂上面長初め警察署長在鄕軍人銀行、消防組、米穀組合其他各團體發起の下に義捐金品募集の處市民は率先之に應じ物品は修養團員各戶を歷訪集收し近く第一回分を發送の筈である

芙江 忠淸北道淸州郡芙江驛所在の居住內地人は近年著しく減少して現在四十一戶であるが今回の大震災の報傳はるや懇話會は猛然立ちて直に集會を催し即時義捐金の募集に著手し總額三百圓を醵出した其額は多大と謂ふ程ではないが前記の如き僅少の戶數であるのと尙且他地方に率先して之を實行したる其美擧は特筆に値する

淸州 東京地方大震災義捐金募集につき七日知事官房へ官民重なる者を集め協議した結果淸州面は官廳の主腦者記者團及名譽職を帶ぶる民間の有志を網羅して委員に擧げ一致協力して義捐金を募集する事
赤十字社愛國婦人會に合同して別途の活動をなし慰問袋其他金品を募集する事
淸州郡各面は郡守警察署長部內有志者發起人となりて義金の募集をなす事
各郡は郡守其他官民有力者を以て發起人となし募集したる金品は道廳に回附して一纏となす事
右の方法によりて直に行動を開始し出來得るだけ多數の金品を募集する事に申し合せた

鳥致院 關東地方の大震災の報傳はるや之が義捐金募集の爲め各方面代表と協議の上區別委員を分ち募集に著手するや先きを爭つて同情集まり來り消防組は衣類取纏めに婦人會は其整理にて衣類數二千點に及び現金又豫定に三倍して三千圓に達した殊に鄰邑全義は內地人戶數僅に二十四戶にて金三百三十圓衣類八十餘點を一に屆け來りなかに隧道番石川某工夫再減某の如きは薄給の身にて貯蓄金を引出し醵出した

天安 東京地方震災者救恤の爲め天安郡に於ては各十四面に於て衣服の寄贈方を傳へたが天安面邑內里では內地人側は組長並に有志により集め鮮人側は青年會員專ら努力し內地人九百點鮮人側七百點あり成歡面では學校組合と協同し成歡青年會總出で取纏め內地人側四百點鮮人側三十點あり其他笠帽類良好、並川木川方面で二百點ばかりあつた

元山 關東地方大震災遭難者救援慰安のため元山救援會を組織し會長石原府尹以下寢食を忘れて奔走中であり、燃ゆるが如き市民の同情は漸く昂き義捐金となつて續々申込まれつゝあり一面愛國婦人會元山支部を初め宗敎的各婦人團又佛氣にも蹶起して慰問品を募集する事となり八日から活動を開始した

海州 今回東京に於ける震災に對する救濟義捐金募集の爲め黃海道教育會は發起して道內各種學校生徒から夫々義捐せしむる目的で各校長に宛左記各項を依頼した
一、義金は中等學校生徒は五錢以上二十錢以下小學校生徒は五錢以下である
二、送金先は黃海道內黃海道教育會振替京城一四四三番で募集期限は九月末日迄である

兼二浦 面協議員及び學校組合評議員は八日午後三時より面事務所に會合の上石塚面長と共に關東地方震災の罹災民に對する義捐金募集に就て協議した結果此の際全市の住民が結束して救助しなければならぬと言ふので九日より面長及び公職者全部が總出で戶別的に募集する事となつた、尙其席上に出席した者のみで約四百圓の義捐金が集まつた。

平壤 關東地方大震災救濟の爲め平壤府に於いては實業青年會並に各新聞社後援で二十日迄金品の募集に著手し目下實業青年會の大活動を見て居るが平壤愛國婦人會に於ても府尹官舍に役員會を開き九日會員の總動員を行ひ全市各戶に付き遍く金品の寄贈勸誘に努め依つて得たる金品を一纏めにして京城本部に移送し京城本部から罹災地に向け發送すると云ふ、尙平壤商業會議所も府の發起たる義捐金募集には大々的後援をなすべく七日評議員會を開催した

新義州 生田平北道知事及び官民有志發起の東京地方震火災に對する義捐金の中から急を要する食糧品を取敢ず發送する事となり新義州米穀市場に交渉し白米百石大豆百石をば八日中に新義州驛から發送した尙平北道內各郡面では今回東京都の震災救濟義捐金募集に就て各種團體を一括して取纏める事に決し道廳府廳郡廳に於て代表して募集方法を講ずる事となり近く各團體にて募集計畫を一と纏めとして引續き從來募集した金品物品をも一括する手筈である

安東縣 官民有志側では遼陽の我國震災と共に去る四日に安東國際罹害救濟會を組織し各方面に亘り一齊に活動を開始せるは前報の通りであるが當地修養團支部及希望婦人會でも敢然起つて義捐會の活動を補佐することゝなり去る九日修養團員は各自『溢れなる頭腦を敲く『一起つて同胞の急に當れ』とばかり叫び五千枚の宣傳ビラを市中に撒布して同情心の喚起に努め一方看護婦人會では手に手に慰問袋を携へて市中隈なく戶別訪問して貧しき燃さにも市內の民心は期せずして同情の結晶と化し連日民政役所さして寄附を申出るもの踵を接する有樣であるが又學校方面でも慰問袋募集に著手したので千數百の小國民は先を爭ふてカタパン、ビスケット、干菓子等を持込み僅二日の間に全校生徒は一人も殘らず持寄つたのには今回の震災が此の頑是ない小さき胸にまで如何に深く刻込まれたかが偲ばれる又當地朝鮮人會では過般當地水害の際に於ける內地人側の好意を德とし今回の大震災に當り日頃の厚意に酬ゆるは此の時にありとばかり去る六日緊急總會を開き即時義捐金募集に著手することを決議し目下當地は勿論上下流一帶にまでも檄を飛ばし大活動を開始した

大連 大連救世軍では所屬軍人の總動員を行ひ七日から市中を巡廻して衣類日用品等物品の寄附を求め當一方市內繁華の地に救助鍋を出して同情金を募り一切を市役所に提供して適當の措置を講ふ事に決した

流言に惑はず 各自生業に精勵せよ
金忠淸南道知事諭告

東京及近縣に於ける今次の震災に伴ふに大火災を以てし人命の死傷財物の喪失筆舌に絕し人類の慘禍國家の損害之に過ぎたるはなし之が焦眉の措置を既に政府に於て萬遺漏なきを期し秩序を保ち安定を得せしむるの施措を講ぜられつゝあり畏くも攝政宮殿下深く御憂慮あらせられ親しく優渥なる御沙汰を賜ひ內帑の資一千萬圓を發して應急の處置を講ぜしめられ民生の休戚を御軫念あらせらるゝは寔に恐懼感激措へざる處なり畏に內閣總理大臣告諭を發し此の廣大無邊なる聖旨を奉體し當路官憲の努力最善を盡くすは勿論民衆又官と協心戮力各自相勵みして適職の處置を誤らざらむことを諭告せらる惟ふに今回の事たる災害地域の同胞をして塗炭の苦惱に陷らしめたると共に單に一地方一地域の禍殃のみに止まらず國家をして絕大の損害を蒙らしめたり之が救濟復興に關しては擧國一致の奮起協力に俟つこと切なるものあり此の秋に臨む本道民たるもの豈に獸觀することを得むや然るに輙もすれば擾亂臆測を逞しうし流言蜚語を流布し民衆を迷はすものなしとせず我道民たるもの須からく之に惑はず安んじて各自其生業に精勵し一は同胞相愛の大義に基いて上下一致官民協力以て斯の異常の災厄に處するの途に努力し以て上聖旨に副ひ奉ることを期せざるべからず是れ本官の切望して已まざる所以なり

大正十二年九月二日
朝鮮總督府 忠淸南道知事 金寬鉉

釜山府協議會

【釜山】釜山府では十日午後二時から府協議會議室にて府協議會を開催し震災地救濟金支出其他二件を附議した

震災の影響で 相場が立たぬ秋蠶繭
賣手も買手も去就に迷ふ

【大邱】慶北に於ける本年夏秋蠶の掃立枚數は約一萬五千枚にして夏蠶は早くも上簇を終り秋蠶も早きは目下上簇中遲きは目下五齡中なるが本年の發育狀況は不良なりしと旱魃の爲桑葉の硬化甚だしく一般に其成績は不良なり而も繭相場は今回の大震災に因り生絲相場の通常不能の爲其大勢を知るに由なく隨つて繭相場の見當付かぬ爲め一部の商人は當て推量にて思惑買ひを試みんとするものあるも大部分は其去就に迷ひつゝあるを以て大邱の三龍絲會社に特に貸付くるものの價格は他日相場の安定を見たる上にて決定する事として無相場の現品のみを交附しつゝある狀態なりと

救濟事務に當る
釜山在鄕軍人分會と修養團員が犧牲的に

【釜山】震災地罹災民救濟の爲め朝鮮各地より輸送すべき物資の受發並に避難民救濟取扱の爲め釜山第一棧橋に災害地救濟事務取扱所を設置さるゝ事となつたについては總督府からも係員派遣の筈であるが萬般の事務取扱につきては釜山府に於て直接其任に當るべき筈であつたので府では八日午前中府廳に在鄕軍人會修養團代表者の會合を求め警察署長も立會し種々其の準備につき協議を重ぬる處があつたが來十五日入港の光濟丸に積載すべき全鮮よりの寄贈品は續々釜山に到著すべく之が整理と發送を完全ならしむるの重大任務に服するには鐵道に從ひ多數に上るべきを以て之が手當救護等にも容易ならざる手數を要すべきにつき色々研究の結果遂に在鄕軍人會及び修養團の盡力的奮起に依頼する事となり代表者協議の結果其勤務の分擔等につき目下協議中であるが修養團は場合によりては東萊梁山方面に對しても應援を求むる筈である

全州電信輻輳

【全州】東京地方震害の餘波は全州郵便局にまで及ぼした係員は晝夜の別なく至急官報以外一切受付けませんが夫れでも震災地以外の發信者多く七日には受付け數が八百通であつたが夫れで滯りは續いてゐるので多少の遲延は免れないが一般私報を受付けることになつたら又一層多忙を極むることであらうと因に東京から電報の入つたのは八日始めて三通受信した夫れは內地人一他は鮮人であつた

避難民續々歸鮮
團體輸送として二百六名送還さる
釜山府救濟に著手す

【釜山】關東方面の災害地からの避難者は一船毎に其數を增しつゝあるが八日朝始めての團體輸送として神戸から二百六名の一團が送還されて來たが何分神戸出發以來一粒の米さへ口に入れないので全くヘトヘトに疲れ切て居るので府では直に之れが救濟策を講じ在鄕軍人を招集して一切の手當に任ぜしめると共に直に鐵道に向け無賃乘車方依頼したが何分多數で各方面向ふ可き方面も異つて居るので旅費でも一々證明書の交付等にも多大の手數を要し從つて相當時間を要するので第一棧橋と第二棧橋との中間荷物積卸所の一部を割して救急所とし其他一切は府に於て斡旋する事となつた

公設市場へ嚴訓

【大邱】大邱府尹松井信助氏は八日午前九時より公設市場の商人全部を府廳樓上に招集し東京地方今回の大震災は國家的の大慘害なるを以て同胞相愛の美德を守り諸物價殊に食料品の無理なる値上げ又は買り惜み等をなすことなかれと嚴重なる訓示を與へた

物價公正警告

【大田】關東地方に於ける今回の震災に對し之を奇貨として一般物價の値上げをなさんとする奸商の輩出を防ぐため大田警察署では市內の商工業者に對し此の場合に處し一層公正なる態度を持し範を他に示すべき旨警告を與へた

物價調査委員會
緊急會議を開く

【大邱】大邱府の一諮問機關たる物價調査委員會の緊急會議を十二日午後一時より府廳樓上に於て開會し時局に對し物價調節の件に關し協議する處あるべし

釜山白米相場
一升卅八錢

【釜山】災害の影響による物價の趨勢につきては單なる經濟問題のみに止まらず一步を誤るときは多數民心を險惡ならしむる虞れなきも保し難きを以て當地官憲でも既に發表されたる政府の對策に準據し多大なる注意を拂ひ徹底的暴利の取締に任じて居るが生活の最も必需たる白米の如き災害の報道一度傳はるや思惑的騰貴の趨勢を示し災害前小賣一升三十七八錢を唱へて居たものが忽ち四十錢を突破し同所によりては一圓四十四五錢を稱ふるの狀況を呈するに至つたので七日午後府內白米商小賣業者約五十餘名を琴平町妓雜館に招致し暴利取締につき協議を重ねたる處當局の說明に對し一々其意を諒とする處あり原價の騰貴に伴ふ値上げは已むを得ざるも玄米に對する白米卸小賣間の利潤等に關しては嚴重なる制限を設け斷じて暴利に出づるが如き經營をなさゞる事に協同一致の步調を執る事に協定を了し頗る有意義の協議を爲し閉散したが之が爲め各市場は一齊に八日から一升三十八錢を以て賣出す事となつた

只一語 恐かった
憔悴して避難民歸る

【平澤】九日午前六時平澤著列車で一著の東京震災避難民が歸著した本人は振威郡內面平澤里居住鮮人李完根（二二）で平澤普通校卒業後客年內地に渡航し東京泉商行に雇はれ新聞配達の傍ら苦學して居つたもので歸著當時も顏色憔悴して恰も放心せるものゝ如く衣服は破れ裂け汚れに汚れたる等は當時の慘狀を遺憾なく物語るが如く、何を問ふても當時の狀況を語るの勇氣なく只恐かつたと一言を發して悲慘なる體を懷かしき我が家の一室に橫へた一般人は非常の同情をして居る

畜產品評開期
晉州郡主催四郡聯合

【晉州】晉州郡主催四郡聯合畜產品評會は十月十五日より三日間晉州普通學校で開催の豫定である參加郡は陜川、宜寧、河東、晉州等の四郡にて山下晉州郡守が主催なので品評會長に就任し盛大に擧行する筈であるが晉州は品評會の開催は未曾有の事であるから協贊會を組織し同會の後援をなし種々なる餘興を開催する筈である協贊會經費は三千二百八十圓の豫算である

今年出穀豫想

【平澤】振威郡に於ける本年度作柄は約三割減の見込であるが、集散地たる平澤としての今年度出廻りを各地の作柄により豫想すると、平年作に比し一割六分減の見込である、從來平澤に出廻るものは安城街道より六割、振威郡二割、忠南方面より出廻るもの二割を迎り來て居るが第一の產地たる安城街道方面は本年相當の出來榮を示し平年作の見込で振威郡を七分作とし忠南の方面を五分作と見るときは即ち安城口六割振威郡一割四分忠南口一割の合計八割四分と見る時は平年作に比し一割六分減の數字となる譯である尤も右は充分に作柄りを見越したものであるから市價は多少恢復すべく結局一割減前後なるべく觀測されて居る、而して道は作物本位の觀測であるが價格の上より之を觀るに客年の米價最低の十八圓臺に比し少くとも今年は四割以上の高値を示すべしとは一般の推測せる所であるから經濟上より之を打算すれば出廻正米に於て一割以上の減少を來すも地方財力の點に於ては優に平年の三割增作を見る譯で、畢竟本秋の米價如何が事實上の豐凶の分岐點であると某有力者は語る

棉作と大豆作
先づ平年作か

【大邱】慶尙北道農務課に就て聞く處によれば本年の棉作は播種以來雨多かりし爲め氣溫降下し且つ多濕の爲め生育を妨げ又七月より八月に亘つては連日の旱魃にて益々生育面白からず爲に開花も例年に比し約一週間遲延したるが八月末より九月上旬に亘り數回の降雨ありしを以て開花結實を助け一時悲觀されたる作況も大いに見直すに至れり本年の收穫豫想は目下實地調査中なるを以て正確の見込立たざるも平年の作柄に比し幾分の減收は免れざるべきも多大の減收を見るが如き事なかるべし又大豆作も棉作同樣の氣候にて多少の被害は免れず最も平坦地にありては前年と大差なき作柄にして山間傾斜地にありては多少の被害を蒙り往々落葉したるものを見るも道全體より見たる作況は先づ平年作と見て可なるべしと

漁業組合認可

【光州】羅老島小野鶴松氏外七名より設立申請中であつた漁業組合は三日附認可があつた設立費五百圓經費五百十圓本府から補助があつた現在組合戶數八百二十四人人口三千百九十人で漁獲高は一萬圓である

蠶種製造減少

【大邱】慶尙北道の秋蠶種は從來主に白繭種をのみ製造し來りたるが近頃當業者は同種を歡迎せざる傾きあるに鑑み本年は特に其の製造を手控へ昨年は約二萬枚なりしに對し本年は約半減するの見込なり依つて道當局は之に代ふる交雜種を製造する計畫なるが本年秋蠶に於ては約一千二百枚を製造し自餘の不足額は來年の春蠶に於て交雜種を製造し之を浸酸孵化法を以て其の需要に充當する方針なりと

平壤組合銀行
八月末現在帳尻

【平壤】平壤組合銀行八月末日現在帳尻は貸出合計千七百五十八萬七千七百二圓預金合計五百三十一萬六千七百七十一圓手許在高二十一萬五百九十四圓で尙此外東拓支店の事業貸出金四百四十四萬九千六百五十一圓である、

淸津神社例祭
今年は質素に執行

【淸津】淸津神社の例祭は例年秋季皇靈祭當日であつたが此の時季は常に當地方の雨期でもあり今後は每年十月一日の施政紀念日を以て祭典と定めたが今年の如きは東都今回の事變もある事とて餘興などは遠慮し極めて嚴肅なる祭典のみを執行する事となつた

全鮮武道大會

【大邱】工費四萬餘圓を投じて目下大邱府體操場內に新築工事中なる慶尙北道立武德館は十月中旬頃竣工の見込みに付來る十月二十八日を期し全鮮武道大會を開催する事に決定京都武德會本部に對し師範の派遣方を申請する事となれり

迷信者の群 門前市をなす
當局で取締る

【大邱】慶北善山郡高牙面禮江洞六百九十七番地農夫某（三〇）は數年前より癩病に罹り治療中の者だが本年一月十八日夜昨夢の信者より同數々癩を傳授せられたと自稱し居り超えて六月二十八日夜神夢のお告げを蒙り三つの川の河水を取り寄せ附近の井戶の水に混じて飲用すれば如何なる難病でも全治すべしと言ひ觸らし更に深夜人知れず洛東江の水を汲み取り之を井水に混じ自分の汲み取りに當る事が脚部に腫物が出來居るのに其水を以て洗滌した處立ち處に治癒したと盛んに吹聽したので附近の者は勿論郡內隣接郡の阿呆共之を信じ七月中旬頃には一日五人十人の迷信家集まり來り其神水を服用して居たが近頃其評判が益々高くなつたので大田、大邱、釜山等より神水を頂きに來るもの漸く增加し來り目下愚夫愚婦の中には三百人多くは五百人も集まり來るので所轄善山署では其本人を警察犯處罰令により處分し其他者に對しては解散を嚴命したと

郡庶務課長會議

三日から四日間に亘つて江原道郡庶務課長會議を道廳會議室で開いた各郡の課長連も知事內務部長何れも著任初めての招集なる爲一般に緊張して居た知事及び內務部長の訓示があり警察部長からは民衆警察と地方官廳に就て又課長連も腹藏なき答申やら意見があつた（春川）

仁川商議茶話會

仁川商業會議所は關東地方に於ける稀有の大震災の影響に依り經濟上の打擊甚大なるを以て之が善後策研究のため十日午後四時より茶話會を開催した（仁川）

智的犯罪が多い
強盜や殺人は少い

【大田】地方法院大田支廳に於て取扱へる各被告人の犯罪手段方法に就き北村檢事は語る近來は殆ど智能的犯罪のみにして強盜殺人の如き獰暴なる犯罪は極稀である、殊に鮮人の思想に著しく向上せる爲め文書僞造詐欺に關するものが多い是等犯罪造の原因としては鮮人は古來奢侈に流れ易く遊惰に陷り易き風習があるのと還に刑後彼等は社會に出ても四圍の恥を受くること內地人の夫れに比するに極めて少き爲め再犯者が多いのである、而して今日の法律としては懲戒はなるべく起訴猶豫くは執行猶豫の處分として將來を訓誡する方針である此方法は却つて被告人に對し有效である茲に一例を擧ぐれば大正九年度の起訴猶豫處分人員が二七五人で其內僅に犯罪を犯し處刑された者が三人大正十年度には三一八人中三人大正十一年度には二九四人中四人の處刑者であつた

全南教員試驗

全南道では十月二十二日から教育第二種第三種試驗を施行する本年は第二種試驗は內地人も受驗し得る事となつた願書は十月十日迄に同學務課で受理すと、二種試驗科目は修身教育國語歷史地理數學理科圖畫手工唱歌實業體操等である（光州）

普通校地鎭祭

大邱公立普通學校の新築工事は過般工事は田村敏藏氏の手に落し府當局との間に契約成立したので九日午前十時より嚴肅なる地鎭祭を執行した（大邱）

普通校工事入札

慶北尙州郡洛東面公立普通學校新築工事及び同郡牟東面中牟公立普通學校の新築工事は十九日午前十一時尙州郡廳で入札執行に決定せり（大邱）

連絡船遲着

風浪の爲め途中に避難し九日の七便を缺航した連絡船德壽丸は十時四十分避難地六連を出航約二十分遲れ六時五十分釜山に入港した（釜山）

調査團出發

大連市から東京橫濱の罹災地へ派遣する調査團に對する調査依頼は各方面から申し込み意外に多數であつたので市吏員及商工學校生徒の手で整理中であつたが其用意を終り六日の夜行で伊佐助役以下團員數名は出發した（大連）

親近者安否調査

安東地方事務所では震災地に於ける地方區內居住者の家族近親の安否を調査すべく詳細申請中の所去る九日本社より詳報に接し區長橋本勇第三區長加納正藏第九區長代理立石一成の三氏を派遣することゝなり九日正午急行した（安東縣）

震災追悼講演會

七日曹洞宗天安布教擔當主任は朝鮮布教總監五十嵐絕聖老師を迎へ午後八時より天安座で關東大震害に對する講演會を行ひ翌八日午前六時より佛教會堂で參禪普聲等を終へ正午溫陽溫泉里に行き小學校長舍宅で佛心會員集合し東都罹災死者の追悼を執行し引續き禪學提唱研究等を行ひ一行は午後六時溫泉發天安經由歸城した（天安）

震災橫死者追悼會

鎭海各宗の寺院では今回の震災に對する義捐金募集に奔走盡力中だが尙十日の夜は紅梅町幼稚園園庭で一大追弔會を執行した（鎭海）

村上博士講演

帝大名譽教授文學博士村上專精氏は十日午後八時十一日午後二時の二回に亘り仁川寺町東本願寺に於て講演すと（仁川）

地方人事

▲石川登盛氏（總督府保安課長）罹災民救濟事務開始につき九日朝著釜ホテル滯在中（釜山）
▲村上沼一郎氏（慶南警察部長）同上（釜山）
▲永野江原道內務部長 七日から二週間の豫定で平昌、寧越、旌善の南部山間部の視察に出張（春川）

京日特選 庭球用具
イ 二圓　ロ 二圓四十錢　ハ 三圓三十錢
ニ 四圓　ホ 四圓八十錢　ヘ 六圓五十錢
荷造送料（二本迄六十錢四本迄一圓）
ラケツト　ネツト
（二號）六間物 六圓五十錢　六間半 七圓　七間物 七圓五十錢
（三號）六間物 五圓四十錢　六間物 六圓　七間物 六圓三十錢
送料一張七十錢
A 軟球ボール 一打 二圓 送料三十錢
正規の大きさ（直徑二吋半）と重量を具し打ち心地よく殊に耐久力に富む
其他硬球用ラケット、ボール、各種運動用具共取揃へて居りますから多少共御用命下さい
京城府太平通 合資會社 京日代理部 振替京城三〇八番 電話光化門四六二三番

大いに威張つて御愛用下さい
內地酒に變らぬ處に銘酒朝の花の特色が現はれてゐます

釀造元 朝鮮論山 朝鮮酒造株式會社
京城黃金町三丁目 京城出張所 電話本局二一九七番
販賣店……各地信用ある店に在り

內科 小兒科 村上病院
京城府永樂町一丁目（商品陳列館前） 電話自宅三五六七病院六二一番
院長 醫學士 村上龍藏

資本金 八千萬圓
拂込濟資本金 五千萬圓
積立金 壹千百四萬圓
朝鮮銀行 總裁 美濃部俊吉
本店 京城南大門通 振替貯金口座京城三〇三〇番
預金、貸出、爲替其他一般銀行業務並朝鮮、滿洲及亞港ニ於テ日本銀行代理店業務ヲ取扱申候
支店出張所
內地 東京 大阪 神戸 下關
朝鮮 釜山 大邱 仁川 平壤 鎭南浦 元山 群山 木浦 淸津 會寧
滿洲 大連 旅順 營口 奉天 長春 安東縣 開原 四平街 哈爾濱 龍井村 傅家甸
支那 上海 靑島 天津 濟南
西伯利亞 浦潮斯德
米國 紐育
右ノ外巴里其他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

驚クベキ特效藥 酸素丸
獨逸醫學界ノ大家ローランド氏ノ說ニ依レバ吾人ノ疾病ヤ老人性變化ノ原因ハ血管腺ノ變性カ又ハ發達不充分カ乃至ハ血管腺ガ有害作用ノ毒物ニ觸レテ變化ヲ來スニ因ルモノナリト斷定サレテアリマス此ノ血管腺トハ生殖腺、腎臟、肝臟、膵臟、甲狀腺、胸腺、扁桃腺等ニシテ是等ニ障害アレバ即チ左ノ病症ヲ現出スルノデアリマス
腎臟病、心臟病、神經衰弱、ヒステリー、子宮病、血の道、月經不調、糖尿病、卵巢の病、丸の病、慢性痳病、慢性消渴、尿道狹窄、月經時の疼痛、下腹部の硬塊、常習的頭痛、常習的肩の凝り、眩暈又は便秘、產後の諸病、貧血衰弱、腰痛、淫萎、不姙症、胃又は腸の病、バセードー氏病
其外種々ナル名稱ニ因テ顯ハル、モ要スルニ皆ナ血管腺ノ故障ニ外ナラヌノデアリマス故ニ無病長壽ヲ希ブ方ハ先ヅ其ノ血管腺ノ完全無缺ヲ圖ラネバナラヌ
酸素丸ハ右ニ示ス血管腺ノ病氣一切ニ卓效ヲ奏スル新藥デアリマス元來右等ノ病ハ容易ニ治シ難キモノトセラレタルモ我ガ酸素丸ハ頗ル速カニ確實ニ奏效スルノミナラス病症慢性ニテ頑固ナルモノホド効驗顯著ナルヲ感ジマスガアリマス大概早キハ三四日遲クトモ二週間ニテ奏効ガアリマス
前記各病者ノ大福音デアルト同時ニ虛弱者ヤ老衰者ガ强壯保實ノ目的ニ用ヒテ其効ノ偉大ナル事ハ確カニ何首烏ヤ人蔘ニ勝ルコトヲ保證致シマス
價ハ七日分一圓、十五日分二圓、卅二日分四圓 著金次第送送、送料弊舖持チ、代金引替ハ御斷リ致シマス
酸素丸本舖 南滿洲本溪湖 中西亮 振替大連三四五三番

知つて置かねばならぬ

罐詰の知識（上）

太田滌

最近罐詰の中毒問題が起り罐詰業者や識者は稍や憂慮になつた形であります、決して恐怖すべきものでないので以下其理由を述べ同時に所謂罐詰中毒なるものが總て罐詰の取扱方法を知らない事から起つたといふことを御知らせしたいと思ひます

罐詰消費と 文化の程度

近頃日本の家庭で、罐詰が消費される額は非常に增加し、大正元年頃は一人、一ケ年、一罐に滿たなかつたものが、近頃ではザット見積つて一人二罐半位の平均で消費されて居りますが米國では自國で製造されて居る罐詰丈けの消費量が一人當り、一ケ年八十罐平均となつて居ます或る學者は罐詰の消費額は其國の文化程度を現す、バロメーターだと云つて居ります、誠に至言かと思ひます

米大統領の 死と蟹罐詰

米國大統領の死因がカニのプトマイン中毒だと云ひますがヘンダーソン氏のコックが使用したカニは生カニか罐詰かは判明しなかつた爲、我國の罐詰關係者から、シヤトルと桑港へ電信を出して取調べを依頼しました處大統領のたべたカニは罐詰でなく生カニであつたといふ事が判明しましたアラスカから、バンクーバーにかけて日本の所謂『たらばカニ』の一種が澤山捕れまして丁度此カニの産卵期でありましたから、それに中毒したものであらうと考へられます、米國の第一流の料理店で使用されて居りますカニの罐詰は總て日本の樺太千島沿岸で作つた品物でありまして日本産カニ罐詰は世界で第一流品として誇つて居るので輸出年額は五百萬圓以上に達して居ります若し中毒が罐詰からであつたとすれば、それは日本にとつて大變な問題でありますが幸ひ生カニの中毒であると云ふ事がわかりましたから、其爲めに我國の輸出罐詰の聲價を傷けられる事なく反つて罐詰のカニなれば安全といふ保證が付いた次第です

罐詰の プトマイン中毒

罐詰を喰べてプトマイン中毒を起した例は、獨逸のみならず米國にもあり、最近に英國でも罐詰中毒問題を惹起し、罐詰は社會問題として研究せられ新聞雜誌にも議論されましたが其結果は罐詰其物が惡かつたので無く、罐詰を開いて後腐敗した爲に、中毒を起した事が明瞭になつたので、即ち家庭の主婦の不注意の結果であつたので、あります、英國内務省衛生技師ウイリヤムコツク卿は、大戰中英國軍隊が消費した罐詰の數は十億罐であつて此中に中毒を起した場合が七回あつたが何れの場合も罐詰其物の中毒でなく、罐詰を料理する間に起り原因であると斷定して居ります。

信用ある罐詰

魚類でも肉類でも野菜でも果物でも、新鮮の生々したものを選んで適當に調理して罐に詰め、蒸氣を加へて、瓦斯を排除し、ハンダや鹽酸等の如き人體に有害なる材料は今日第一流の罐詰業者は使用せず、最も進歩したる、サニタリー罐を用ひて機械的に完全に密封して蒸氣熱で、完全に殺菌して居りますから中身は家庭の臺所（色々の商人の手を經て來る生物よりは餘程衛生的安全な食物であります時にチブスやコレラの如きバクテリヤが、假令罐詰にする原料に附着して居つても腐敗細菌と同時に殺菌されて居りますから、罐詰は最も鮮しい安全な食料品と云はなければなりません。』

から松の林

北原白秋

寂寞の一木から松にそゝぐ雨のかそけき聲は雫ふゝめり
○
霧雨の落葉松原の白かんばまだすがれつゝ白う濡れゐし
○
から松の林の道はから松の積み二輪の車が通るそれだけの道
○
山かげの田を鋤く人は馬持たず高き聲もてのであがり鋤く
○
秋の馬今は肥えて野分來とばや颱高に立ち迎へつゝ
○
みすゞかる信濃の駒は鈴蘭の花咲く牧に放たれにけり

體温と その正しい計り方

普通健康體の人の體温は、大抵三十六度三四分から、三十七度前後を上下して居るものであるが、必ずしも終日常に一定して居るのではなく、朝と晩とで違ひ、外氣の温度や攝取した食物乃至運動の多少に依つても相違がある。一日中の最低時間は朝の内で夕刻はその最も上昇する時である。そして其高低の差は五分から一分位で、これも人によつて相違がある。

元來體温はどうして起るかと云ふと我々が毎日攝取して居る營養食物が體中に入つて分解を起し其酸化の作用によつて化學的の熱を生ずるこれが即ち體温であつて、我々はこの熱を保持するためにはそれを起すに足るだけの營養を攝らなければならない。それで

子供の體温

は概して大人よりは五分乃至一度位高いのを普通とするので子供の體温を計つて見て大人の度合に考へ合せて高いと云つて驚くこともあるがこれは別段心配することはない。まづ初生兒の體温の平均は三十七度四五、五歳から九歳の子供の平均數は三十七度七二、十五歳から二十歳の少年の平均は三十七度三七である。

それから青年時代の二十歳から中年時代の三十歳四十歳にかけては前に述べたやうな温度に下降し老年になると亦平均體温は上昇して三十七度以上になる。體温を計るには體温器によつて普通腋下でこれを計るのであるが、重病者や婦人、兒などに對しては、時に直腸や膣内などでそれを計ることもあるが腋下で計つたよりも此の方が少し度が高い。』

腋下で計る場合

にはまづ乾いた布で其部を拭ひ汗などの濕氣を乾かし體温器を少しく振つて水銀柱が三十六度以下にあるかを見定めて後水銀球を正しく腋下に當るやうにキチンと挾み突出した體温器の他端をソツと腕で押へるやうにする。時間は大抵

十分間か十五分

で然る後靜かに取出して温度を見るものである。最も分時體温器と云つてホンノ一分か二分で温度の上る鋭敏な器械もあるがそれは高價でもあり一般には用ひられて居ない普通の體温器なら大抵前に云つたやう十分乃至十五分かければ確實である、が體温器はなるべく正確なものを選んでおく必要がある、偽

直腸部で體温

を計らうとするにはまづ體温器の外部を充分消毒して後靜かに肛門から挿込十分時位を經過してから取出して温度を檢するのである。病氣の輕重や病質のどんなものかを見定めるに就いてもまづ體温に注意する必要があるから一般家庭では體温器の要意と體温の正確な計り方を心得て置くべきである。

西大門校の山上生活

漬物の漬方

必ず美味しく出來る秘訣　白菜。小松菜。お菜

涼しい風に吹かれて漬菜類が賑つて來る季節です。お家庭にも之等の漬菜類が多く買ひ入れられる時ですから漬物の見事な漬方を御紹介致しませう。

白菜の一夜漬

材料、白菜一貫五百匁、鹽五合糠五合

漬方、白菜は株の處を適當に割り水で奇麗に洗ひ、水一升に鹽一合の割で二升を作り此の中に白菜を一時間位浸し置き後で水氣を斷つて置きます、漬桶の中に五合の糠と鹽三合を混合したものを少量撒り、其の上に白菜を一並べ入れ、糠鹽を適當に撒布し又白菜と云ふ順で漬け終り、落蓋をして十三四貫の壓石をして二十四時間位の後に取り出し清水にて手早く洗ひ、水氣を搾り、食卓に供する時は醤油を用ひます。

白菜の三日漬

材料、白菜三百匁、鹽、なら漬粕三百匁、味淋三合

漬方、白菜の株を割り清水に洗ひ水を斷つて後鹽漬として三日間位で取り出しザッと洗ひ水氣を能く搾つて置いて次になら漬粕と味の素を混和し此の中に程よく漬込み三日間位で食卓に供します

小松菜の松前漬

材料、小松菜二貫匁、平昆布百五十匁、鹽三合、鯣一枚

漬方、小松菜は奇麗に洗つて置き漬桶の底に昆布を敷き、少量の鹽を撒き、小松菜を並べ再び糠と鹽と云ふ風にして壓石を乘せ、四日目位に取り出し、ザッと洗ひ水氣を能く搾り、一寸位の長さに切つて供します。此の漬方は都合に依つて糠を用ひない事もありますが糠を使ふ方が味が甘く出來ます。

お菜の糠漬

材料、若菜一貫五百匁、鹽三合、米糠五合。

漬方、先づお菜を奇麗に洗つて水氣を斷つて、次に鹽と糠を能く混ぜたものを漬桶の底に少量撒き、又お菜と云ふ順序に何回も重ねて落ち蓋をして凡そ十三貫位の壓石を致しますと一夜で水が上りますから三日目に取り出して食卓に供します。食べ頃は三日目から五日目が最上等です。

好成績であつた 日出校の林間生活

貞陵里で十日間

客月十四日から同月廿三日迄高陽郡崇仁面貞陵里にて十日間の林間生活を行つた日之出學校を訪へば中村首席訓導は丁寧に語る『吾々林間生活の一團は尋三四年生男女廿七名（内女九名）と教師、醫師、看護婦、小使、炊事夫から成り立つてました宿所は府外貞陵里の奉國寺で此催しの目的を達せんが爲めには實に理想の場所です目的は御紙に既に發表して頂いた通りですが今度の林間生活に連れて行つた兒童は皆で内地の體格の持主で寧ろ病弱と云つて好い兒童のみでした吾校では最初の催しであつたゝめ其の結果については多少心配して出かけたのです、處が幸ひ理想の場所であつた爲めか豫期以上の好結果を得たのです其大略を擧げますれば（一）炎熱と塵埃と喧噪との都會を遠ざかつて新鮮な空氣を浴び靜寂を味はしめたことは多大です（二）附近には鬱蒼たる森林あり溪水あり白砂あり青々とした稻田等があつて所謂自然の抱擁に依り精神の愉悦を計り且田園生活の趣味を覺ふには滿足でした（三）都會を離れて樂しい自然に各自をして親しませて得る知識は幾何でせう（四）今迄家庭と云ふ小さい社會にあつて我儘に馴れる位置の兒童をして圓十日間と云へ共同生活を營ましめ各自の任務を遂行したゝめに自然と共同的精神を養ひ和親輯睦の美を味得せしめる一方には規律的生活の習慣を養ふには好機であつたので今日に至つても家庭でも夫を實行して居る者が多數あるのです（五）終日迄一人の病者を出さなかつたのは幸運ですが身體に及ぼした結果は一寸具體的には申されません、期間中には當局者や父兄等の慰問もあつてかゝる好い催しは毎年行つて貰ひたいとの希望と感謝状も多數參つてます意外の好結果を得ると共に他校の方にも他山の石として貰へれば滿足です附近の住民の風紀を正す上にも多大の貢獻があつた譯です』

西大門校の 北漢山生活は 好成績

暑い盛りの八月五日から十四日迄北漢山に於て兒童の山上生活を行つた西大門小學校では其結果に就て武田主席訓導は語る『今夏擧行しました兒童の山上生活は同校にては始めての催しであり且つ都市の兒童であるものですから最初はどういふ結果に終るだらうかと懸念もしたのです處が懸念所か豫期以上の好結果を收め得たのです、目的としては（一）自然に親しむこと（二）質實剛健の氣象を養成すること（三）體育養成と云ふことが目的でした、高男廿八名を一組とし女子廿名を二組として各五日間宛交替に北漢山上の扶皇寺を宿所にしました而して日程に依つて一定の行爲を取つたのですが右の目的を達するには理想の場所です偉大なる自然の崇嚴の念に打たれることは何を以てしても盡されません二千尺の高峰ですから或る時は雲に蔽はれ或る時は脚下に雲を望み朝日夕日の陽光は之等の雲に映じて絶景を呈する時教師も兒童も共に自然に溶け入つて合して一體となるの神境に這入ることが度々あつたのです、險しい山に登る下りる溪水に浴する等身心鍛錬の效は多大です從つて粗食と雖も皆甘く戴き、掃除をせける者もある位です自由行動の時はノツトに繪を書く者綴り方をやる者、炎天の下に石を投ずる者等あつて如何にも愉快さうです五日間だから飽處かまだ居殘りを希望する者もある位だが付添ひの教師もかゝる催しは毎年行つて貰ひたいと力んで居ます兒童一日の經費は僅五十錢あれば好いのだから來年も擧行する考へです』

鮮人の小使が 義捐金を醵出

府内黄金町大門通り二丁目鈴木商店の小使尹民秀、李聖翼、金永根、朴黙薰は今回震災罹災民の窮状を新聞で知るや足らぬ中から同じ小使の杉山、女中の月給と共に義捐金を提出した

若妻の家出

府内若草町百七番地山本周吉方に同居する漢口府市の妻フミ（二九）は去る七日午前九時頃無斷家出し今日迄歸宅せず本町署に搜索願を提出したが同人はヒステリー病で自殺する虞れがあり百方心當を捜索して居ると

家庭覺帳

汗の汚點拔き

汗で出來た汚點には、酸漿（ほほづき）カレモンの絞汁に少量の鹽を合せたものを塗つて、暫らく經つてから石鹸水で洗ふとすつかり取れます。但し日月を經て色の褪せてゐる樣なものは到底駄目です

泥の汚點には馬鈴薯

馬鈴薯は泥の汚點拔きに大變效果があります。先づ泥を善く乾かして指の先きで輕く彈き生の馬鈴薯を輪切りにしたもので擦ります。さうして汚點が拔けたら日光に干してブラシをかけます。若し縮む布であつたら火熨斗をかけます

怪我にテレピン油

怪我をして大變痛む場合には冷いまゝテレピン油を塗布すると痛みが止まるものです

公設市場小賣値（十日）

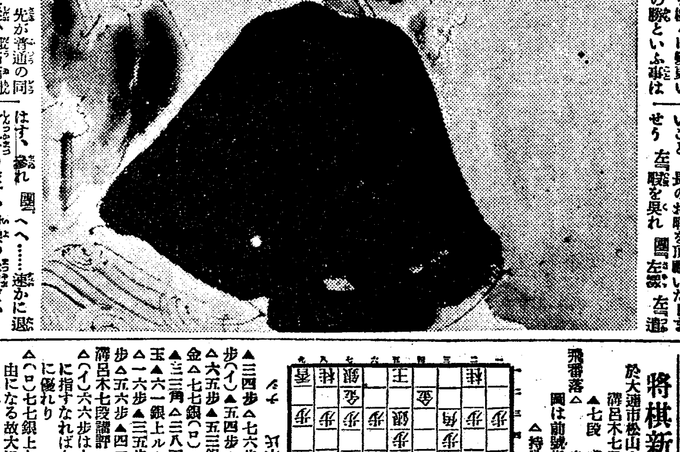
品目	數量	金額
特等白米	一升	三九〇
一等白米	一升	三八〇
ソース星中	一瓶	四八〇
同 ノ 小	一瓶	三二〇
酢ノ素中	一瓶	三五〇
同 ノ 小	一瓶	三二〇
瓶入食鹽大	同	三五〇
同 中	同	一八〇
同 小	同	一〇〇
味ノ素大	同	一、四五〇

通俗太閤記

二百三十四回

松林伯知講演　加藤由太郎速記

左『斯樣な話が出たに依り、其方へ申すか、關ヶ原の戰ひの節、島津の兵が内府旗本に迫つたな、』團『左樣、』左『那の節に予が敵の中軍へ槍を入れろと申した處、其方は予の下知に背いて先陣へ槍を入れよと申した、以來は右樣な事はならんぞ、采配を振るには心をしなければ可かん、』團『ハア、夫は君の采配が違ひます』左『何で違ふ』團『何でと仰せになりますが、夫は兵書では中軍に槍を入れるのが至當でございますが、臨機應變、失はなさいます、君はお手本通りに戰爭をなさいます、臨機に由つて變に應ずる敵の機變で采配を樣々に變更いたさなければ充分の勝といふ事は思ひも寄らんので、先が普通の同勢なれば君の采配に從ひ飯右衛門も中軍に槍を入れますが、薩摩に限つては隨槍を入れて中軍後陣を破るとも何の效もございません、彼の國の人の氣質として後陣中軍破られるとも、先陣に進む者は一歩も跡へ引くなと云ふが軍法でござる、御當家の同勢が中軍に槍を入れたればとて、何の效もございません、夫故先陣へ槍を入れよと私は下知を傳へました御主人はまだ采配の掛引が下手だ』左『現に薩摩勢が引いたではないか』團『那れは御當家の御働きではない、幸に淺野家の御同勢が來つて先陣を遮つたればこそ遂げざるを知つて退去をいたしました、譯はば淺野殿の働きで、御當家に取つては溢れ浮ひ、淺野家があらざれば骨折損の草臥儲け、何の役にも立たない、イヤ何うも未だ君の采配はお未熟だ、アハヽヽ、僕には飯右衛門の處へ來てお稽古をなさい、』左『默れ、主人に對して無禮の一言、其方右樣申さば以來采配を取るな白痴奴ッ、』團『ハア采配を取るなとの御意でございますな、』左『ウム、』團『今伊豫の松山の元老をなし、一朝事ある時には千二千の兵を率ゐ戰に出づる者が、采配を取らず野武士同樣槍を取つて、敵陣に進み、何の面下げて御奉公が出來やう、斯くばかり大祿を頂戴いたして居るのは心苦るしい、物の役に立たん者が御當家に居ても效ないこと、長のお暇を頂戴いたしませう』左『遁らはす、參れ』團『へヽ……速かに退身仕ります、伊豫の松山ばかりに日は照らぬ、米の飯とお天道樣は何處へ參つてもある、』飯右衛門氣焔萬丈、其儘左典厩の御前を退つた、嘉明はアヽ少し言ひ過ぎた、飯右衛門は酒を飲むと何うも言葉が荒くなる、併し醉が醒めたら詫に來るだらうと左のみ御心頭に掛けて居させられない、すると御家來が、○『飯右衛門殿々退身いたしました』左『ナニ退身を……』○『へエ、宿に退りまするや家財道具は道具屋を呼來つて賣つて了ひ皆ました、』左『イヤ憎い奴ぢやな、彼が退身いたさうとも差支へはない、』○『其上に樂書をいたして參りました、』左『何んな樂書だ』○『那の宿の白壁に書いてありましたのを寫して參りました故御覽に供へまする』左『ウム見せよ』左馬之介取上て御覽なさると『高く飛ぶ天地一陣嘶、何ぞ江戸の溜水に止まらん、飯右衛門永長く松山の食を喰み身體不淨となれり、然るに依り紀州那智の瀧に打たれ六根を洗ひ清むる者なり、加藤左典厩へ』としてある、夫れも好いが自分の名を上へ大きく、主人の名を下へ小さく書いてある、左馬之介御覽なすつて、左『コリヤ〳〵、其方寫損ひぢやらう、予の名前が小さく、飯右衛門の名前が大きく書いてある、』○『イエ那の白壁に書いてあるのは夫れ如きではございません、飯右衛門の名前は恐ろしく大きく書いて、君の名を眼鏡で見るやうに小さく書いてございます』○



時計御註文ハ　村木時計店へ　電話四七一

天下一品　京染　京城本町三　ゑにや

▲秋の訪れ……感々朝夕冷氣お覺ゆ　衣裳のお誂とお手入は今　新製品や新見本が揃ました　京城明治町　たまや呉服店　電話一一九六

名菓　松の雪　賣生堂製菓　明治屋　發賣元

京城明治町二丁目　中央婦人科院　院主　衣笠茂　電話二三四〇番

有効確實ニシテ賞讃ヲ博セル　マラリア特効丸　販賣店各地藥店ニアリ　龍山元町二ノ八八　本舗　林藥房

將棋新手合（一）

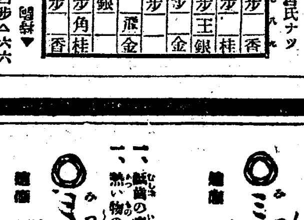
於大連市松山台ラヂウム温泉讃呂木七段歡迎會席上

▲七段　讃呂木光治（東京）
△　泉宮　晋吉（大連）

飛香落

圖は前號指了迄の局面

△持駒　泉宮氏ナツ



▲三四歩△七六歩▲四四歩△六六歩（イ）▲五四歩△六八飛▲四二銀△六五歩▲五三銀△七八銀▲四二金△七七銀（ロ）▲四五歩△四八玉▲三三角△三八玉▲七二金△二八玉▲六一銀上ル△三八銀▲五二王△一六歩▲三五歩△六六銀▲七四歩△五六歩▲四三金　以下次號

讃呂木七段講評

△（イ）六六歩は大に惡し同じ含みに指すなれば七五歩と指す方大に優れり

△（ロ）七七銀上りは敵の角道が自由になる故大に惡し六七銀と上るべし

九月十二日

（舊暦八月二日）▲六白▲戊子▲先負▲平▲水曜▲箕宿

▼六白▲動もすると物事の喰ひ違ひ易き日　縁談は凶　西と北と南が吉
▼七赤▲出世の端緒を得る日　實直にして進んで有利　西と北と南が吉
▼八白▲諸事慎重にして分に富む日　求職縁談大吉　艮と北と丙が吉
▼九紫▲調子に乘り過ぎると不覺をとる　堅く内に守つて安全　東が吉
▼一白▲順調の日　願ひ事は成就する　行商移轉開業等亦吉　東と坤が吉
▼二黒▲前後に氣を配つて進む時は存外に成功するの日　艮と西が吉
▼三碧▲不用意にして思はぬ失敗を招く　世話事禁物　南と東と壬が吉
▼四緑▲無駄骨を折る日　新しき計畫不利　辛抱が肝腎　南と艮と坤が吉
▼五黄▲勇氣に充ち大いに敵を挫く日　入學縁談等吉　艮と北と西が吉

關釜連絡船

釜山發　午前十時　午後九時三十分

十一日　朝、景福丸　夜、德壽丸
十二日　朝、昌慶丸　夜、景福丸
十三日　朝、德壽丸　夜、昌慶丸

藥舗へ行つたら必ずミツワ家庭藥とお尋ねなさい　一度用ふれば藥はミツワ家庭藥に限ることが分る

處方を公開せる◎ミツワ家庭藥三十五方の内

鼻病の原因となる鼻病を治癒せしむる

小平理學博士監督製劑

◎ミツワ鼻病液（みつわ・はなのくすり）

主要成分（鹽酸コカイン、鹽化アドレナリン、石炭酸、バルサムメンヨ水（詳細説明書記載））　定價一壜金四拾錢

適應　鼻腔瘙痒、鼻腔乾燥、鼻液過多、鼻閉塞、嗅覺減退、鼻粘膜腫脹、鼻粘膜潮紅、鼻充血、鼻加答兒、鼻出血、肥厚性鼻炎、臭鼻症等。

鼻腔がムヅ痒く或は痛く、乾いたり或は鼻液が盛んに出たりして、鼻が塞り、呼吸が妨げられ、鼻聲になり、臭氣がわからず、鼻粘膜が紅く爛れ、惡臭のある膿の樣な鼻液が出たり、又時々鼻血の出ることなどがあつて、耳や咽喉の病を誘ひ出し、且神經衰弱の如き神經病を惹起しなどする諸種の鼻加答兒には、處方公開のミツワ鼻病液を用ふるに限る。本劑は疼痛や瘙痒を鎭め、出血を止め、炎症を抑へ、分泌を制し、腫脹を減じ、尚防腐の作用を呈はし、臭氣を除き、清涼しい感覺を與へるもの故、種々の鼻病に卓效を奏し、耳や咽喉の病又神經病を防ぐことの出來る良劑である。

▼如斯人はミツワ鼻病液を用ふべし▲
一、鼻液の出過ぎる人　一、鼻腔の塞る人　一、閉鼻聲の人　一、鼻血の出る人
一、鼻腔のムヅ痒い人　一、鼻腔の腫れる人　一、鼻で呼吸の出來ぬ人　一、鼻加答兒の人
一、鼻腔の痛む人　一、鼻腔の充血する人　一、嗅覺のわからぬ人　一、肥厚性鼻炎の人
一、鼻腔の乾く人　一、鼻腔の臭い人　一、臭い鼻液の出る人　一、臭鼻症の人

右の他應急常備のミツワ家庭藥四方

◎ミツワ齒痛液（みつわ・はのくすり）

主要成分（精製カンフル、クレオソート、メントール、丁子油、エーテル）　定價一壜金貳拾錢

適應　齲齒より起る疼痛、過熱過冷の飲食物又甘味酸味の飲食物の爲に起る齒痛、其の他一般の齒痛。

▼如斯人はミツワ齒痛液を用ふべし▲
一、齲齒の痛む人　一、冷い物の爲に齒の痛む人　一、酸い物の爲に齒の痛む人
一、熱い物の爲に齒の痛む人　一、甘い物の爲に齒の痛む人　一、齒齦の腫れて痛む人

◎ミツワ點眼液（みつわ・めぐすり）

主要成分（硫酸亞鉛、鹽化アムモニウム、精製カンフル）　定價（點眼器附）一壜金拾五錢

適應　眼瞼腫脹、結膜發赤、結膜充血、涙液分泌亢進、羞明、眼瘙痒、眼灼熱、眼疼痛、眼内異物感、急性結膜炎、トラホーム等。

▼如斯人はミツワ點眼液を用ふべし▲
一、眼瞼の腫れる人　一、涙液の多く出る人　一、眼の痒い人　一、種々の結膜炎の人
一、結膜の眞赤になる人　一、目脂の多く出る人　一、眼の痛い人　一、流行眼の人
一、結膜の腫れる人　一、羞明しい人　一、眼中のゴロ〳〵する人　一、血眼の人
一、結膜に充血する人　一、眼の熱い人　一、トラホームの人

◎ミツワ鎭痛液（みつわ・いたみのくすり）

主要成分（サリツト、精製カンフル、アルニカ丁幾、蕃椒丁幾、迷迭香油、テミアン油、丁香油、テレビン油）　定價一壜金五拾錢

適應　打撲傷、挫傷、關節レウマチス、筋肉レウマチス、諸種の神經痛、俗に所謂ふ疝氣、肩凝等の場合。

▼如斯人はミツワ鎭痛液を用ふべし▲
一、身體の或場所を打つた人　一、關節レウマチスの人　一、寸白で腰の痛む人　一、肩の凝る人
一、手や足を挫いた人　一、筋肉レウマチスの人　一、關節部の腫れて痛む人　一、筋肉の痛む人
一、疝氣で腰の痛む人　一、種々の神經痛の人

◎ミツワ解毒錠（みつわ・どくけし）

主要成分（メチーレンブラウ、クレオソート、精製骨炭末、白陶土）　定價（三十錠入金貳拾錢　七十錠入金四拾錢）

適應　過飲過食の場合、不良の飲食物を攝りたる場合、感冒の場合、傳染病者に接したる場合等に、胃腸を防腐殺菌し胃腸病を豫防す。

▼如斯人は◎ミツワ解毒錠を用ふべし▲
一、飲過ぎた人　一、不良い飲食物を攝つた人　一、腸胃を防腐殺菌したい人
一、食過ぎた人　一、傳染病者に接した人　一、腸胃病を豫防したい人

(1-6)

◆以上の他◎ミツワ家庭藥には左の種類あり◆

◎健胃錠　◎消化錠　◎制酸錠　◎緩下錠　◎止瀉錠　◎驅蟲錠
◎清涼錠　◎解熱錠　◎袪痰錠　◎鎭咳錠　◎結核錠　◎人參錠
◎複方人參錠　◎鎭靜藥　◎婦人湯藥　◎婦人坐藥　◎治淋藥　◎淋疾洗滌液
◎含嗽錠　◎咽喉錠　◎驅蟲液　◎養毛液　◎腋臭藥　◎撒布藥
◎泥膏　◎制痒膏　◎痤瘡膏　◎頑癬膏　◎凍瘡膏　◎痔坐藥

小山田醫學士編　家庭治療法（全一冊）郵券にて金五拾錢を拂込あれば送呈す。

全國到る處の藥舗其他にて取次販賣す。最寄に取次店なきときは本舗より直送す（郵券代用不苦）。取次販賣歡迎。副業として確實適當。發賣品目録及取次販賣規定申込次第送呈。

振替貯金口座東京七一〇　ミツワ石鹸發賣元　東京橫町　丸見屋商店

殖銀貸出金利引上

殖産銀行にては両替立替貸出金利從來年九分を一分引揚げ一割となし九月十日より實行することゝなつた

深尾理事談 両替立替貸出金は年四五十萬圓に過ぎざる少額であるが金融關係上從來の金利九分を一割に改正することゝなつた両替立替貸出とは両替事務所に於ける両替員の俸給及旅費並に諸經費の取立をなす迄一時立替ゆるものであるで既に今年度分は相當貸出しあるを以て今回の金利引揚げは今後として大影響あるまい

金利引上乎

殖産銀行にては今回両項預金の如く両替立替金利を一分方引上げたるが内地震災の結果金融狀勢に一大變調を呈し來れるより鮮銀其他にも近く諸貸出金利引上協議中の模様なれば近く諸貸出金利の引上斷行を見るべく觀測されて居る

內地送金停止影響

朝鮮銀行では七日鮮內各銀行及び內地支店銀行に對し當分の間一口一千圓以上の內地送金を停止する旨通告したが關東の震災地では手形仕拂延期の勅令公布以來日銀の援助を受けて各銀行皆々營業を開始して居るが何分目下一切の融通が消滅狀態にあるばかりで無く災害の爲めに襲つた市街の運輸交通の機關が殆んど全國に瓦つて居る事が分つた。斯く取引關係が紛糾である爲め震災直接の取引者は利益を受ける矛盾が生ずるから決濟延期をも行ふのが最良の策であると云ふ譯なので之に依る朝鮮の影響に就ては單に資金の移出入關係のみで觀察するは困難であるが鮮內の資金を內地に移出するは朝鮮金融界として喜ぶべき事で無い大阪では支拂ひ猶豫手形に對する日銀の特別融通問題もあつてゐるから早晩順調の狀態に立至るのは疑ひないが鮮銀としては震災以來內地の營業其他各支店の金融不圓滑を來し又コール吸收に依る支拂方法も不能となつた爲送金停止は資金取締上止むを得ぬ處置であるらしい、併し全然內地送金を停止することは避難民救濟及び融資上に不安が生ずるから一口一千圓を限りとしたものである殊に鮮內も需要期を控へ目先仕入れ資金の需要も起る事であるから織糸其他必需品の移入決濟は或程度まで之を認むる方針であると而して內地送金停止の結果鮮內に於ける資金は餘裕を生じて來るから自然好影響を受くるものと見るが至當であらう

現金輸送は止むを得ぬ

京城に於ける內地支店銀行が鮮內資金を內地に流出せしむるといふ事はあり得ない事と思ふ、如此の際內地財界の爲めに部分的に各自の主張を固持して資金の移動を云爲することは大に慎まねばならぬが更に一方內地の各銀行業者に對して鮮內銀行業者は此の際大に之を援助すべき方策に出づべき時代があると思ふ夫れには支店銀行が多大の經費を投じて現金輸送を行ふとすれば是を止むを得ぬ事で問題であるが內地銀行を擁護すべき方針にある者とすれば此際無方針無考慮で內地銀行に爲替を組むことは或は其銀行として支拂ひ停止の虞を隙かしむる場合が無いとも云へない此の點には大に留意すべき必要があると同時に鮮銀に於ては內地に對する爲替の取組に

鮮內資金集散

朝鮮銀行調査九月中鮮內資金集散概況に依れば收入總額六百三十三萬四千圓一月以降累計八千九百六十四萬八千二百二十五圓撒出九百四十八萬九千九百二十四圓一月以降累計三千三百八萬三千百五十三圓九十八錢であるが詳細左の如し

項目	金額
收納	
國稅及消國稅	五、四三九、〇〇〇
諸會社株金拂込	八九五、〇〇〇
計	六、三三四、〇〇〇
一月以降累計	八九、六四八、二二五
散出	
國債及地方債償還	二、四〇六、〇〇〇
同利子支拂	七、八一七、〇〇〇
諸會社利益配當	四二九、〇〇〇
同社債償還	七、八五〇、〇〇〇
同債劵利子仕拂	一、二〇〇、七〇〇
計	九、四八九、九二四
一月以降累計	三三、〇八三、一五二

（某當局談）鮮內資金集散に對しては大に注意を拂つて居る

魚市場賣上高

八月中京城府內三魚市場に於ける賣上高は總計數量四萬七千九百八十九貫此金額八萬四千十九圓三十錢にして之を前月に比較すれば數量にありては九千九十貫七十錢の減少を示して七千五百十九貫の減少を見たり之を前年同期に比すれば數量に於て七千七百五十七貫を増し金額に於て七千四百二十圓九十錢の減退を見たが之は本年魚價著しく低下せしに依るものにして詳細左の如し

	八月中	前年同期
京城	三五、七七五圓	四一、〇九六圓
日の丸	二六、一五九	二九、九一二
龍山	二二、〇八五	二〇、四二二
合計	八四、〇一九	九一、四四〇

海外諸相場 十日着電

金 紐育 三十一片十六分の七
米棉 弍圓八拾錢高
英米爲替 四弗五三仙二分の一（二分の一高）
スチール 九二弗八分の七（八分の一安）
アナゴンダ 四〇弗八分の七（八分の七高）

長期取引受渡高

京取市場今十日に於ける今十日の長期取引受渡高は株數五千六百四十枚金額十三萬七千三百六十圓にして其內容左の如し

銘柄	株數	金額
京取株	三、三一〇	九九、三〇〇圓
朝鐵株	七〇	三、八〇〇
寄債株	二一〇	一、〇六〇
鮮銀株	三〇〇	二、七〇〇
殖銀株	八〇	六、七一〇
同新株	二三〇	一、四四〇
鮮新株	二〇〇	九、六六〇
同新株	一五〇	一、六五〇
實取株	一〇〇	一、一二〇
東拓株	三〇〇	二、七〇〇
同新株	一〇〇	二、〇〇〇
電鐵株	二〇〇	二、六〇〇
京南株	二〇〇	三、二四〇
京電株	六〇〇	一一、八〇〇
朝興株	一〇〇	一、〇〇〇
京取株（寄日）	五、九〇〇	二七、三〇〇
合計	五、六四〇	一三七、三六〇

手形交換所 近く事務開始か

【東京電報】東京手形交換所組合銀行五十一行の内有志銀行三十八行代表者四十六名は八日午後一時から會議を開いて善後策を協議したが近く一般事務を取扱ふに至るものと見られてゐる

住友銀行開業

住友銀行の東京支店は七軒の内二箇所を殘し全部燒失したが殘れる支店に於て八日より預金者に對し拂戻しを開始し九日は帳簿整理の爲め休業し十日より引續き拂戻しをなし罹災救助に當る事となつた（大阪電報）

大阪金融落付

【大阪特派員八日發電】大阪金融界は八日夜日銀支店にて本店の方針に基き金融救濟を聲明した爲め一般に安堵せる模樣である

大阪財界近信

生絲輸出港問題

震災による横濱港の壞滅を機として從來の慣例である生糸輸出港問題を解決せんが爲大阪商業會議所では五日役員會を開催したが意見纏まらず七日再開して協議する所があつた大阪港が生絲輸出港として果して幾何の可能性を有するかて如何樣の特點を有するかを知らないから據絲業者の說明を聽き度いと云つた由であるが七日の委員會は單に輸出港決定問題のみでなく震災國に於ける支那絲との競爭生產地に於ける製絲業者の金融硬塞

觀念帳

▲東京から歸つた罹災朝鮮人の話に依ると罹災地の慘狀は全く言語に絕して居る目下東京は戒嚴令で其出入は極めて嚴しく自分は七日朝芝浦に取縋られ清水港に上陸したが許可なきものは絕對に乘船を許されない朝鮮銀行東京支店は內部は燒失したが周圍は大丈夫で目下現金運搬は無事一時鮮銀行へ移轉することになつて居るから近く開業出來るだらう▲東京の鮮銀銀行に對して東京取引所は燒失した紡績が燒失した商家も一旦外へ搬出したが大半燒けた然し總裁始め行員一同は幸にも無事なるを得たと ▲電信の一時的停止等或る意味に於て一般の危機に置かれたる生絲輸出貿易に關したのである之に就き日本綿花田中社長は曰く「震災と實に不人情極まる話で我國の生絲取引の繁盛所謂絲出港の生絲を痛いで居る横濱に對しての事業の輸入に際しても輸出の機能としては日本の悲慘であるなら天災と衣食住の爭ひをするのと同一轍である、而して考へると大阪も名古屋も共に不適當である生絲は一般の貿易品であるで今日の狀況を見ると總て一流中の優秀品でなくては輸入積まない事になつて居るが其様な船をつける設備は大阪や名古屋にはない生絲の事は知らないけれども神戶が最も好適であらう」

株式（十日）

大阪長期取引

銘柄	十日 前場寄付	前場大引	十日 後場寄付	後場大引
大株	八二・〇〇	八一・七〇	八二・五〇	八二・五〇
同新	五九・七〇	五八・五〇	五九・五〇	五九・五〇
郵船	八三・六〇	八四・二〇	八三・八〇	八三・八〇
同新	二六・二〇	二〇・三〇	………	………
商船	四一・〇〇	四〇・三〇	二五・七〇	………
同新	………	………	………	………
鐘紡	二六五・四〇	二六三・一〇	二六三・二〇	………
同新	二四三・〇〇	二四二・二〇	二三九・一〇	………
東紡	一〇七・五〇	一〇八・〇〇	一〇七・〇〇	………
日糖	………	九六・四〇	九五・四〇	………

大阪短期取引

銘柄	十日前場寄付	大引	十日後場寄付	大引
大新	五九・〇〇	五八・五〇	五八・五〇	五七・五〇
鐘新	二四一・〇〇	二四〇・五〇	二三六・〇〇	二三七・五〇
天取	………	………	………	………

安東株式

	八日後場寄付	大引	十日前場寄付	大引
安取當	一三・七〇	一三・六〇	………	………
安取先	………	………	………	………

鎭平

	八日後場寄付	大引	十日前場寄付	大引
當限	一・三二六	一・三四〇	………	………
先限	………	………	………	………

前場一と息 諸株一齊に戻る

昨後場小康の氣先今朝は大新五十九圓ドタ鐘新二百四十一圓ドタの低落を入れたるも震災不安人氣稍落付模樣を呈し利喰も投げも一段主なる仕手の入代りとなつたのと突込過ぎ嫌ひがあつて京取は當三十二圓二十錢先三十二圓六十錢仁取百〇四圓ドタ仁新三十三圓八十錢安取十三圓九十錢と一齊に引返し雜株類は何れも小堅き成行を示し

結局ヂリ安か

昨後場から今朝にかけての慘落を演じた震災相場も一恐慌的なるは一巡した…往來では なからうか と見られる（前場）

京取株反騰

▲京取當一圓八十高 先二圓十錢高

短期 小安き成行を示した鮮銀先七十六圓六十錢同新先二十圓ドタ京電先五十四圓ドタ、亞新先九圓ドタ、亞新先一圓六十錢、寄信先三圓九十錢

長期 ▲大新五十六圓九十錢寄り七圓六十錢引、仁取一圓四十錢高、仁新一圓四十錢高、安取二十錢高

▲後場低落

前場引返しの氣先後場は大阪前場の引安を入れて氣配悪く諸株小安く寄り付きたる氣先大阪大新八圓四十錢の小安き寄り付に弱く一部の猛烈賣りに京取は當物三十一圓六十錢先物三十一圓五十錢、大新五十六圓二十錢、三十二圓七十錢、仁取百〇三圓八十錢と再び挫け著しく不味の成行を告げ小堅き模樣を呈した諸株は何れも戻り賣り人氣の傾向を呈した

長期 ▲京取當六十錢安、先一圓十錢安、▲大新一圓四十錢安、仁新一圓十錢安、仁取二十錢安

短期 ▲大新一圓四十錢安、仁取四十錢安、安取六十錢安

京取株反騰 大した高氣はあるまい。七日から八日前場にかけて釣瓶落しの瓦落を演じた京取株は八日の後場には稍突込過ぎの嫌ひかあつて小康を呈して打止めた氣先今朝は人氣落付き來れると利喰と投物が一巡して硬軟仕手の入變りとなり値頃買物多くして賣方を壓し一圓八十錢、先二圓十錢方の反騰を告げた何様過般の相場が單にヤロウ〱の人氣に雷同しての崩壞も相當に多く無茶に叩いたのであるから其咎めが自然に現はれた譯で之れがヂリ〱と押した相場ならば反撥も至難であるが全然角一日大引から小十圓方一氣に叩いたのであるから弱い相場としても當然此邊で一と戻しがあるべき管である殊に今後の金融難は共に懸念さるゝと雖も震災後の財界が如何に變化するさへ見當の付かぬ今日此の安値を以て只徒らに投げて來る道理はなく從つて株不足は依然株不足の狀態にあるのであるから遠き將は兎も角目先としては安いと見て買つたマバラ筋が意外案外安くないので自然崩れざるを得ない事になり易いから大勢觀からは金融其他の關係から安いと見る外はないとしても目先は前記事情に依つて尚一と戻しあるべき狀に見へるが高値も大した事はあるざるべく結局暫らくは此邊の小往來では なからうか と見られる

現株中値出來値（十日）

銘柄	前場 寄	前場 引	後場 寄	後場 引
京取	三一・八〇	三二・〇〇	三二・〇〇	三一・六〇
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
取引	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

（以下各銘柄 寄・引 大部分出來不申）

短期取引

銘柄	寄	大引	高値	安値
大新前	五六・〇〇	五六・〇〇	五六・四〇	五六・〇〇
大新後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁新前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

落付來り仕手代りと値頃買に株一齊に反騰し軟派の期待を裏切るの商狀を呈した何れにしても今回の震災は有史以來の出來事と稱されば其財界に及ぼす影響は不知數である此の相場が今後人心の落付くと共に慾災と財界の影響が眞面目に觀察せらるゝに至つた場合如何に變動するかは元より豫斷の限りに非るも今回の大事變は極言すれば國家の衰滅にも關する程の大椿事であつて政府が之れに對し如何なる救濟策を執るか元より余力を殘して其恢復を圖るのは云ふまでもない換言すれば日本の財界が之れに依つて決して破壞さるべきものではないのであるから悲觀なる悲觀はドーデあるか今迄の賣合は投げと利喰で解け仕手は入代りと成り新規出動の形ちとなつたのであるから此の未知數の財界を眺めて無暗に出動するかは疑問で相場は雙方共に大を期待し難き狀勢であるが震災前と十日前場の大引を對照すると倚左の如き値下りとなつて居る

銘柄	一日後場大引	十日前場	値下り
仁取	一〇四・〇〇	一〇四・〇〇	[illegible]
同新	三六・一〇	三三・八〇	二・三〇
安取	一五・〇〇	一三・九〇	一・一〇
大新	七一・〇〇	五七・〇〇	一四・〇〇
京取當	三九・八〇	三一・六〇	八・二〇
同先	三九・八〇	三二・〇〇	七・八〇

大新逆日步

大新は前場買方の受株で九十枚の株不足となり逆日步四十錢となる

仁新賣方追證

仁取新株は今前場の品薄で賣方から後場立會迄に追證徴した

諸株喰合尻

十日前場現在

▲京取當喰合高三千百六十枚提供六百十枚賣方十店買方八店
▲同先取組高千七百十枚提供千八十枚賣方五店買方十一店
▲仁取 取組高千四十枚代引百八十枚賣方九店買方四店
▲仁新取組高千六百枚代引千百三十枚賣方八店買十店
▲大新取組高三百九十枚不足九十枚賣方五店買方六店
▲安取取組高三千九百二十枚代引二百四十枚賣方九店買方九店

算定

仁取百〇四圓、仁新三十四圓、朝紡十一圓安取十四圓、大新五十八圓

日步

仁取四十錢仁新十五錢、朝紡五錢拓新十錢、安取五錢、大新逆四十錢

出來高

▲長期五千五百枚累計二千四百五十枚 ▲短期四千二百七十萬枚累計十五萬一千六百十枚

後場歩み

▲大新五八、
〇七、九〇 八〇 六〇 一〇〇
七〇〇、六、九〇 八〇 九〇〇
八〇 七〇 二〇〇 (大引) ▲仁
新三三、九〇 八〇 七〇 六〇
三、〇〇 一〇 三〇 二〇 七〇
〇 (大引) ▲京取當三二、
一〇 (大引) ▲同先三三、一〇 五
三二 六〇 (大引) 四〇 三〇 (一〇 五〇

米況（十日）

仁川期米

前場更に叩く

日曜前日は買過ぎ思ひの反動により二十三圓二十一錢四錢安十錢と跌返して打止めたが今朝大阪當限二十九圓〇一錢と九十九丁安の移りに又復買方の狼狽賣を呼び當中出來ずさりとても先ずは直下

第一節 當中出來ず大阪二十三圓二十九圓二十錢なれの八圓九十錢に當り人氣悪化し先三十八錢より續落し▲一圓〇五錢より一氣に二十一圓八十五錢方落に寄付いた

二十三圓二十錢と百三十丁の激落

一圓八十五錢更に二十丁墜落

第二節 當中出來ず二十二圓九十錢度と跌返して引

第三節 當中出來ず大阪當九十圓〇一錢の移りに先三圓十丁方引の手持ち急ぎと瀕安思いの新規賣いに二十錢と跌返し十九錢と引

第四節 當中出來ず先三十錢に殆め五錢と縮りしも戻りは軟派の賣り直しに二十六錢と押し八錢と引

第五節 當中出來ず大阪小高移りに下げ一巡と見る新規の買物現れ先三十錢より六十錢と突飛せしも戻りは小口の賣物裁へ十四十八錢と跌頭重く引

第六節 當中出來ず先四十錢に始め押目待ちの買いに六十五錢と締り四錢と手堅く引

▲第七節 當中出來ず大阪止め二十八錢の小高移りに先二十圓七十錢と手堅く大引した

白露の無難崩か

休日前の暴落にて賣方の投物も一巡され目先一段落と見做された相場が今朝更に一段の惡化を見せたるは要するに前日の白露荒れを懸念された低氣壓が、玄海を通過して日本海に出で豊作期待となつた結果であるが然し正米より猶以上たゞ其の爲めに曠氣著しい人氣が一倍加はつて賣物殺到となつた結果下げの餘地あるかは疑問で値頃關係から弗々新手の玄人筋が買氣を催して來る程かある等餘り破目を外して安値は突込めない様である

米界餘聞

▲暴利取締令と云ふ腑抑小輸以來の低價方面一時的基落を演じた相場を以て正米より著しく一定米がつくのいしも亞く出來事は…いたし相場を打拂ふ様事態の日…の物…

▲が當然だとすると之以上無茶な不利は突込めない殊に暴利として取締る相格の標準が既往三年間の平均値段を超へたる場合とすれば米は此閒の平均値か三十圓強となる▲然し茲を…無茶な不利な不利は正米と無茶な不利相場は正米との採算値まで戻るのが當然だと云ふ曰はせると今回の慘落が暴利取締令の爲めに賣方の機氣を催した事は云ふまでもないが其實全くは今後の財界不況を懸念された爲であるし又見ると三ケ月先の定期がないとか目先の正米事情を云爲する事は考慮を要するのみが震害地の救濟米買付が一巡したら根が供給潤澤の米として割安の定期へ正米から漸次鞘を寄せるのが順序でなかろうとか▲亞に角今次の大慘禍に就き商人は申すに及ばず農家も非常に氣を腐らして居る模樣であるから無論調子に乘つて突込むのは禁物であるか未だ當分は戻り賣の方針が安全でなかろうか

樂觀は尙早か

一時悲觀された帝都の食糧問題も各地からの救濟米輸送と政府持米五十餘萬石の廻著で先づ一安心といふ形であるが一時突飛した正米が割安の定期に鞘を寄せて來るか否やが今後の問題である或玄人筋に云はせると正米は目先の事情に依つて動き定期は三ケ月先の人氣を豫想するので此の際自然兩者の成行きに逢変渉な處がある強氣の中には昨年七千九萬石の豐作を驚かされてさへ十九圓までしか崩れなかつた相場であるから本年は此の以上の安値は見做される、現に天候が頗調に經過して平年作の程度であると比ふまでもなく株式綿糸が昨年期米の十九圓までに暴落した當時より遙かにド値を叩いて居る事より推すと米も比爲倚程堅調を試みるのは時期尚早の様でも

關稅撤廢說

阪地米筋より當地の現物店に達した入電によると政府は九日の閣議に於て關稅の撤廢を決議したとの說が專らであると今朝の阪地再落も大穀の晴れと其の爲めらしいが然し倚ほ眞偽は不明であるが益ては三大緊急勅令が發せられたの鑑みて此の際更に一價の徹底的調節と財界の安定策として右様撤廢を決定せられたのは或は事實かも知れないと觀測されて居る

仁川米豆取引所仲買人
高橋謙三
電話

在米激減

仁川穀物協會の調査に係る今十日迄の仁川在米高は合格米五萬九千七百六十五俵拂込米二千百十四俵にして前週より一萬三千九百七十四石の減少を示して居る之れは倚前の救濟米として內地より一時に白米注文が殺到した爲めで其の外には朝一萬三千八百七十一俵拂送米五百五十拂米六百〇七俵がある

賣買差引殘

	賣方	買方
⑪	七〇〇	四一〇〇
⑬	一、一一〇〇〇	九八〇〇
⑳	二、九〇〇〇	三七〇〇〇
川	一〇〇〇〇	九久 一二〇〇〇
丸	八〇〇〇〇	三輪 一二〇〇〇
宍戸	三、五〇〇	九張 一二〇〇〇
大	四〇〇〇〇	金益 七〇〇〇〇
丸	一、八〇〇〇	
	七〇〇〇〇	

仁川 ㊥ **鳥居仲買店** 電話六三八番

前場

	十日前場	十日後場
寄付	三三・二〇	三三・六九
止値	三三・七〇	三三・七〇
高値	三三・八五	三三・〇五
安値	三三・八五	三二・二〇
前場大引定値		後場大引定値
一節	三三・二〇	三三・六九
二節	三二・九〇	三二・六三
三節	三三・一〇	三三・六九
四節	三三・二〇	三三・四〇
五節	三三・三〇	三三・八一
六節	三三・五〇	三三・九二
七節	三三・七〇	三三・七〇
當限 限月 先限	三三・八〇	
出來高 先中當	一萬四千六百石	
累計	一六三五四八〇〇石	

後場依然頭重

第一節 當中出來ず先二十三圓六十九錢と一丁安に寄付
第二節 當中出來ず先三圓五十七錢より二錢と押し七十四錢と返し二錢引
第三節 當中出來ず先五十錢より三十錢と叩き四十九錢と跌返して引
▲第四節 當中出來ず先六十五錢より九十錢と返し八十五錢引
▲五節 當中出來ず先四圓丁度より〇五錢を持上げ三圓九十錢と押し九十二錢引
▲第六節 當中出來ず先三圓七十引

京城穀物

正米現物

暴利取締令と期米續落の羽音に恐怖の頂天に達せる上財界前途の杞憂益々濃厚となり玆數々地方穀物の商談あるも精米筋も必需口の外見送の姿にて昨日期は四等米二十九圓より八圓七十錢入圓五十錢と尻下りを示し今朝は期米安と俟つて一段の不勢を辿り丸チ四等二十八圓處の賣物ありしも買人は七圓五六十錢見當を唱へて其れ以上は進入なく双方睨合ひの體にて商談、取らず白米も原料安に連れ三十七圓棒みの唱へである

延

▲十月中限二五、〇六〇
▲十月末限二五、二〇〇
五出來高千五百石

仁川正米

定期は更に二十二圓臺の安値を見せたるも正米は賣物薄の爲め丸キ四等二十七圓八十錢より八圓見當にて小口取引が行はれて居る

釜山正米

期米は暴落又た暴落を續けつゝあるも正米は精米筋の買進み旺盛にありて下足之れに添はず今朝は二三十錢安の觀良都二十八圓六十五錢神力二十八圓二十錢處にて五千百個の出來を見た

大邱正米

延 十圓中限二十五圓六十錢より六圓、三錢十月末限二十四圓九十錢より五十錢出來高一萬四千石大豆 新物十六圓六十錢處にて百三十個出來

現物二十七圓五十錢十月中限二十四圓四十錢より五十錢十月末限二十四圓より四十錢出來高三萬六千石

群山正米

現物二十七圓三十錢十月末限二十二圓五十錢より八十八錢

大阪期米

	十日前場	十日後場
當 寄	三一・八九	三一・八一
止め	三二・一九	三一・九一
中 寄	三一・〇一	三〇・七一
止め	二九・〇二	三一・一一
先 寄	二九・〇一	二八・九一
二節	八・九九	九・〇〇
三節	九・〇二	二・〇四
四節	九・〇三	三・〇〇
五節	一・五	一・九九
六節	〇・二一	八・九九
七節	〇・一一	………
八節	二八	………
九節		………
十節		………

兵庫期米

	十日前場	十日後場
寄付	二七・八七	二七・八四
止め	二七・九〇	二七・六四

下關期米

	十日前場寄付	止め	十日後場寄付	止め
當限	………	………	………	………
中限	………	………	………	………
先限	二六・六	二六・六	二六・六	………

桑名期米

	十日前場	十日後場
寄付	二八・二六	二七・七〇
止め	二七・六九	………

大阪三品

米棉二圓八十錢
倫敦銀塊相場三十一片十六分の七

限月	十日前場寄付	後場大引
九月限	三三・八〇	三三・六〇
十月限	三三・八〇	三三・四〇
十一月限	三三・五〇	三三・六〇
十二月限	三四・四〇	三四・八〇
一月限	三四・五〇	………
二月限	三四・六〇	………
三月限	三四・〇〇	………

限月	十日前場寄付	後場大引
九月限	三三・〇〇	三二・一〇
十月限	三三・〇〇	三三・一〇
十一月限	三三・七〇	三三・〇〇
十二月限	三三・〇〇	三三・二〇
一月限	三三・二〇	三三・六〇
二月限	三三・〇〇	三三・〇〇
三月限	三三・〇〇	三三・〇〇

勿驚（おどろくなかれ）

タツタ五分間に忽ち頭痛を治し腦を爽快にす、只一回の頓服にて夢の醒たる如し

清腦新劑

チエヤー

（本劑適應症）
▲頭痛 ▲腦貧血 ▲腦充血 ▲逆上頭痛 ▲神經衰弱 ▲ヒステリー性頭痛 ▲貧血性頭痛 ▲感冒性頭痛 ▲酩酊後の頭痛 ▲子宮病性頭痛

本劑は

▲腦病者▲神經衰弱者▲ヒステリー病者▲子宮病者▲常習頭痛症等は日常懷中用意せらるべし
▲汽車汽船に乘る時▲人込の場所▲試驗の時に臨む時は必ず本劑を用意携帶せらるべし

本舗 大連市伊勢町
藥種貿易商 合資會社 松內楠陽堂
特約店 京城本町 木村藥店
到る處の藥舖にあり

醫師と藥劑師

米櫃の問題

醫者も一種の營業でないか
仁者も喰はねばならぬでないか
藥劑師の我利我利運動
賣藥改良は藥劑師の責任
醫藥分業運動は疲れ儲け
パンの爭は君子の耻る所

有田ドラッグ 會主 **有田音松**

藥劑師が醫者の唯一の米櫃に噛り付いて、之を奪ひ取らうと云ふ經持ならぬ、當世流のパン問題が例の八ケ間敷い醫藥分業である、藥劑師の此の運動も隨分久しいものだ、或は議會に請願したり、或は醫師藥劑師大會を開いたり、或は醫師會の反省を求むると稱して、可成り過激な運動もしたものだ、それが未だに何の解決もつかずに其儘になつて居る。

醫者の米櫃

醫師會は自家擁護の立場から極力之に反對する。今の醫者が診察料丈では立行かぬと、云ふのが、其反對理由である、中には診察料が安いから、藥價を本位として營業せねばならぬと云ふのとが反對論の要旨である、之れも現在の醫者として無理ならぬ次第で、元來我國の醫者は、古より仁術と稱して、一個の營業と認めなかつた習慣上、特別に診察料として患者から金を取ると云ふことが、不合理なことのやうに思はれて居たのである、昔の醫者は、徒らに宏大なる門戸を構へたり、又は美服を纏ふたりするやうなことはなく、

醫は仁術と

職として、人格的嚴主義であつた、從つて人望も極めて高かつたものだ、それに社會も亦其人格にのみ傾倒して詮議や奴隸に惑ふやうなことはなかつたから、自然醫師の藥價の如きも、患者の心任せであつた。

所が濟世の醫者生活を見ると、先づ其教育からするも中學、高等學校、大學と約十二三年の歲月を要の月も敵に寢ずに勉强して、尙ほ且一萬四五千圓の、學資を投じて、ヤツト醫者になると云ふ次第である、それから開業するとなれば、又もや五千や一萬の資金を要するのである、それも都會であつたら場末の開業藥箕である、それに藥局生だ、看護婦だ、車夫だと

所謂醫者の玄關

で無暗と門戶を張つて世間體を繕はねばならぬ、さて是丈けの準備をして開業して見た所で、患者が續々詰め掛ければ文句はないが、さうは問屋が卸さない、其所で醫者の苦心は非常なものである、病家の御得意が出來るまでは、營業が極めて困難と見なければならぬ斯様な有様で、社會一般も醫者の人格を云ふやうなことには一切着眼せず、只其門戶の體裁をのみ見て、其門に走ると云ふやうな、今日の有様である、それだから、醫者の方でも、昔の樣に仁術でござい、と濟まして居ては立行かぬ、何うしても營利本位にせねばならぬ、今時の樣に醫者が曜日に營出しを患者の家にくばると云ふやうなことは、昔の人には夢にも想像出來ないのである、が然し斯の如き結果を招來したのは、決して醫者許りの罪ではないのである、之れ社會一般の所謂皮相の觀察利思想が旺盛となつて義務の觀念を忘却すると云ふ、悪むべき外來思想の齎んだ結果だ、つまりそれが斯る狀態に醫者を導いたので、醫者の營業主義となつたのは、あながち醫者許りの罪でないと考へる。

夫は偖をき、前述の如き感慨破綻と莫大の資金を投じて開業したる醫者の

經濟は只藥價

のみで維持されて居ると云ふ有樣である、診察料の如きは實に微々たるもので問題でない、其唯一の米櫃たる藥價を、藥劑師が張らうと云ふので、茲に醫藥分業問題なるものが起るのであるが、醫者が之を死活問題として、極力爭ふのは無理もない話である、此の點に就ては、予は第三者として公平に醫者側に同情する點で、此一文を草する所以である

藥劑師の米櫃

古來我國には藥劑師と云ふ特定の職業はなかつた、藥は醫者に附きものとしてあつたから、醫者が藥劑師を兼務するか、又は醫生が其細君に造らして居たものだ、イヤ今でも現に造らしてゐる、そして、實はそれで濟んで居つたのである、然るに藥劑師なる新しき職業が生れて茲に醫者と睨み合ふと云ふことになつたのである

我國の習慣

や傳統を顧慮せずにイキナリ、西洋の制度を持ち込んで、ヤレ藥劑師の養成、藥劑師試驗と矢鱈に簇出したものだ、其修業が醫者に較べて、容易いせいか、無暗に藥劑師が殖えた、國家としては誠に結構な次第のやうではあるが、藥劑師となつた當人が、困つたと云ふのは、病院や藥局から獨立して其職業を求めると云ふことは、今の日本では、仲々六ケ敷し、普通藥種屋の開業だが、之れも相當の資本を投じて始めた所が、今云ふ通り、醫者は自分で勝手に藥を處つて居るのであるから、おはちが廻らぬ、客は藥劑師の方へ來ない其所で

藥劑師が躍起

になつて、其藥を此方へ渡せと云ふのだ、歐米では藥劑師が獨立して、藥劑をのみ營業とし、醫者は只診察料のみで、遣つて居るのであるから、我國でも外國の如くに醫藥の分業は當然の事であると云ふ議論を主張するのである、或る程度迄は鳥渡聞けば尤もな議論の樣ではあるが、實は此の議論は其前提を誤つて居る

予は聊か藥劑師に對する予の意見を述べて、諸子の反省を促したいのである。

前述の如く我國の醫者は歐米と其趣きを異にして居るのであるから、今假に醫藥分業と云ふことは實行し難いのである、外國が、そうであるからと云ふて、我古來の習慣傳統を無視して之を外國通りに、其儘實行しやうと云ふのは、無理な話である。

醫者も職業

醫者と云ふものも、社會に無くてはならぬものである、それにも拘らず、藥劑師が只自己の利益のみの立場から、醫者としては唯一の米櫃たる、其藥價を奪ふて、醫者を立ち行かぬやうな目に、逢はすといふことは甚だ面白からぬ主張ではないか。

兎角現代人には自己の權利をのみ主張して一切他の利害休戚を顧みないと云ふ極端たる個人主義の輸入が斯かる不健全なる思想を齎んだのである、然るに斯くの如き者を所謂新人として社會に持て囃されると云ふのは歎かはしい次第である。

それは兎に角として、諸子も多大の勞苦を積んで折角藥劑師となつたものだ、之も一の職業となつて見れば、生活の途を考へねばならぬ、然し諸子が醫藥分業の一點張りで、押通さうと云ふのは餘りに偏狹な了簡ではないか、何故かと云ふに、之れは藥劑師と云ふ職業を極めて、狹隘視したもので藥劑師が何うしても、醫者の領分へ食ひ込まなければ營業し得ないとは情ない次第ではないか、藥劑師が必ずしも、醫者の處方箋を調劑さして貰はなければ營業が成立たないとあつては、餘りに、

自家の天職

を侮辱したものではないか、眼を巡らせば實に天下の分野は廣いのである

第一、政府は賣藥の免許權を醫者と藥劑師とにのみ限定せられて居るのである、斯る特典を政府から附與せられて居るにも拘らず、其特權を打捨て置いて、醫藥分業を主張なし、醫者の米櫃を奪取しやうと云ふのは、無理なる運動である、生存競爭が激しくなれば、中產階級以下の者は、是非賣藥に依らなければ立行かぬと云ふことになる、其處で賣藥の改良といふことは實に諸子の責任ではないか然るに其賣藥を藥劑の素養なき營利一點張の我利々々者流の爲すが儘に放擲して顧みないと云ふのは誠に無責任極まる次第ではないか政府が藥劑師にのみ限つて與へた特典を無視する譯ではないか。

藥劑師諸子は賣藥を以てパンの問題と爲すに足らずとするか。

現に余が肺病藥を發賣したのは七八箇月前のことである、それが年額三百萬圓を突破せんとする盛況を呈して居る、余の見込では來年度に於て確に六百萬圓を突破する確信がある、依つて工場擴張の必要上より大阪赤十字病院前に地をトし工學博士片岡建築事務所設計の下に製藥場を新築中である、『是れ諸子が打捨て顧みなかつた肺病藥を余が拾うて斯る盛況を見たのである』唯單に一の肺病藥ですら、既に斯の如き有樣である、其他算ふるに遑なき種々多樣の賣藥の需要があるではないか

元來余の主義は權利を後にして義務を先にすると云ふことを數十年來實行し來たのである、所謂與へて取ると云ふのが予の主張である、乃ち營利本位でなく、治療本位の良藥を調劑して、病者の幸福を以て己の幸福として居るのである、其結果が今日の盛況を呈したものと考へる。

現時全國に散在する藥劑師の數は約一萬六とのことである、斯る多人數が一致團結して、利己に囚れず相愛主義を實行して以て

賣藥を改良

し、世の病者を救ふと云ふことになれば、藥劑師の人格も自ら尊重され、隨つて信用も昂上し、一般の病者は先づ藥劑師の製劑した賣藥を求むることゝなるではないか、其證據は予が年來實驗して來た所である、然るに藥劑師諸子が常に先づパンを問題として醫藥分業と云ふが如きことにのみ、沒頭するから、何時までもパン問題で苦しまねばならぬのである、從つて其信用を失墜して社會の同情を失ふに至るのである、諸子も又常に濟世救民と云ふことを主眼としなければならぬ。

賣藥の改良

賣藥の改良と一口に云ふが、之は只諸子にのみ附與せられた、特典で、他には一切許されて居ないのである、卽ち諸氏に非ざれば、賣藥の改良は出來ないのである、現に我國に於ける賣藥の製造高は年額約一億圓である、斯は之れ諸子のみの手に歸ずべきものなのである、然るにも拘らず、其大部分が他人の手に奪はれて居るとは何と意氣地のない譯ではないか

新藥の發見

醫者の無かつた時分から、永い間の經驗に依つて自然に發見された藥、草の根や、木の實は云ふに及ばず、我々の周圍には人間の病氣を癒すべき種々の物質が存在して居る、是等は今日の世の中には多く忘れられ勝ではあるが、然し之等の物の中には歐米の藥にも劣らぬ、卓效あるものが多いのである、近來獨逸では此の民間藥の研究が頗る盛んで

醫者の藥より

も遙かに安くあがると云ふので此方面許り研究して居る學者もある位である

我國でも昔から傳へられて居る藥や治療法には化學的原理は解らぬながら頗る効能のあるものが幾程も、野に山に海に河に、全然手を着けられずに遺棄されて居るのである、是等諸種の礦物、植物性のものを研究して以て新藥を發見製劑すると云ふことは、一面に於て國利民福を計る譯でないか。

諸子にして眞に其天職を暁し、國家を憂ふの念あらば、徒らに醫藥分業など云ふ權利問題に彷徨することを止めて、以上陳述せし二項、乃ち賣藥の改良及新藥の發見と云ふ新生面を開展して大に邦家のため努力して貰ひたいのである。

予の老婆心

終りに臨んで一言せん、以上予は諸子に對して或は言の過激に亘つたものがあるかも知れぬが、予は固より醫藥分業問題には門外漢である、何等恩怨利害の關係あるものでない、而かも斯かる言議を以て諸子に忠告する所以のものは餘り諸子の同情を失ふを憂ふるの餘り茲に一片の老婆心より率直に苦言を呈した次第である。諸子多言を許せ。

謙信敵に糧を送る

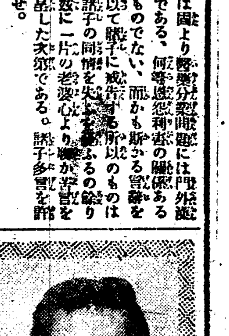
川中島の戰ひで、兒童走卒にも其名を知られて居る、上杉謙信は甲斐の武田信玄と共に、我國武將の双璧である、而も謙信は義侠に富んだ君子人であつた、敵手の信玄は甲斐、信濃と云ふ山國を領地とするので、鹽が誠に不自由であつた、所が當時今川と北條とが聯盟して、鹽の輸送を斷つたので、信玄も大弱りである、偶々此事を聞いた、越後の謙信、それは怪しからぬ、卑怯の振舞と憤慨した『聞く所に依れば、今川北條は鹽の輸送を禁じて、足下を苦しめると云ふことである、甚だ以て不義不仁だ、抑も足下と我とは永年の間、戰を交じへては居るが、その爭ふ所は、弓矢の勝敗であつて米鹽ではない、依つて今後鹽の如き物資は、當越後より輸送すべし心安く思はれよ』と慇懃なる書狀を送つて慰めた、俠骨稜々しき謙信の此の意氣は、誠に立派なものであつて、武士道の精華を遺憾なく、發揮して居るではないか、戰略の一として兵糧攻めと云ふことはあるが、斯は之れ實に卑怯極まる振舞である。

藥劑師諸子も、思ひを茲に致したならば、問題は自ら解決するのである、彼謙信は敵に糧を與へて、武士の雅量を示した、諸子は他を飢しても其糧食を奪取せんとするか、古語に『其爭ひや君子也』と云ふことがある、諸子以て如何となす矣。

再發した肋膜炎と肺尖加答兒 有田藥で一家の歡喜

私は一昨年八月大阪で風邪に罹り身體大に衰弱致しましたゝめ坪井博士の診察を受けました處肋膜炎に肺尖加答兒を併發して居るとの事で早速醫師の上お灸をすること半年以上に及びましたが、幸ひに全治した樣なので昨年九月再度上阪致しました處十一月に又もや風邪が原因で肋膜炎と肺尖加答兒を再發致しました、今度は重態であつたため到底も駄目だと悲觀して居りました處會々有田の治肺藥が大變好いとのことで早速大阪三休橋の有田專賣所へ參り有田特製治肺藥と有田血液素とを求め服用致しました所五日目より効果が現れましたから直に歸鄕へ歸り富山市袋町有田專賣所で五週間分服用致し快方に向ひましたので富山市の藥木醫學士の診察を受けました處最早服藥の必要がないとの事で私始め一家の歡喜は到底筆紙に盡せない程で深く感謝致して居ります

富山 縣婦負郡松原村黑田 全治者 新村安次郎



全治者 新村安次郎氏

福岡大學病院で肺結核と診斷 死線を越えて全治

私は肺病の初期となり、身體は瘦せ血色は惡く咳や咯痰も烈しく只悲しみ泣き暮して居りました。或日父が福岡大學病院の診察を受けて見よと申しますので早速伴はれ福岡に參りまして診察の結果は肺結核で、入院するより新鮮な風氣に富む海岸で保養せよとの事で、矢張り死を待つの外なき身の不幸を悲觀しました或る日新聞廣告に有田ドラックの肺病に關する說明、發生法を讀み全治する人も澤山あるとの事に早速廣島市西横町有田專賣所に參り病態を話し主任より親切な說明を聽き發生法療法を熟讀して有田治肺藥と有田血液素を買ひ服用致しました處三日目より藥の効あり咳も咯痰も減じ一週間にて熱も全く鎭まり氣分も良く食慾も進み蘇生の思ひして三週四週と日を重ねるに從ひ快方に赴き血色も良く體重も增し主任のお奬めに依り大凡週間連服の後には全治の域に達し死線を越えて健全な身體を得ました、世には肺結核を不治の病と悲觀してをられる方が無數にあると存じます不幸な皆樣も早く有田治肺藥と有田血液素を御連服遊ばされ全治の喜びを得られん事をお奬め致します

廣島 縣安藝郡仁保村 吉藤操

全治者 吉藤操子

肺病の爲め兵役免除 死を覺悟した私の再生の喜び

肺病で海軍に合格した私は昨年五月十日軍艦吳鎭島に乘込みましたが乘艦當時一箇月程にて風邪の氣味で發熱し食慾不進で身體が次第に衰弱するのを覺えますので軍醫の診斷を乞ひました所診斷の結果肺結核と決定し一度舞鶴海軍病院へ入院しましたが其年八月五日には兵役免除となりました、私は之が爲人生に對し悲觀して居りましたが、友人より有田藥の有効なる事を聞き早速七尾塗師町有田專賣所へ御伺ひし主任より三時間に亘り病理及び發生の說明を聞き肺病は全治すとの信念を得まして有田特製治肺藥と有田血液素とを求めて服用致しましたが四週間目には以前に優る壯健な身體となりまして、今更有田藥の偉大なる効力に驚きつゝ深く感謝して居る次第であります。私は全快の嬉しさの餘り滿天下十萬の同病者に私の全治の事實を御知らせし有田藥の服用をお勸め申したい心から特に本文を御送致します

能登 國和倉溫泉場 全治者 中村嘉次郎

全治者 中村嘉次郎氏

廣瀨醫師の診斷で肺尖加答兒 有田藥で救はる

私は風邪に罹つてより身體の具合が惡いので廣瀨醫師の診察を受けましたが夫れからは一日として頭の晴れた樣な日はありませんでした或日新聞を見ました處有田ドラッグの廣告が目に付きましたので兎も角試して見樣と思ひまして三島町茶町の有田專賣所に行き容態を包まず申上げ病理や發生法を承はりまして有田治肺藥と有田血液素を一週間分程服用致しました處何となく氣分が良くなりましたので引續き服用致します中に薄紙をはぐ樣に全快しこんな嬉しい事はありません

靜岡 縣駿東郡大平村小山 全治者 吉川みと 父 吉川源太郎

吉川みと子

請合藥に付き他の藥店に販賣を許さず

關西發賣元 有田ドラッグ 大阪市南區三休橋北詰 電話船場一一六一・二三四四番

關東發賣元 有田ドラッグ 東京日本橋區通四丁目 電話本局三一〇七七・三三八四番

滿鮮發賣元 有田ドラッグ 京城南大門外 電話二五六七番

朝鮮 有田ドラッグ專賣所々在地

京城府 南大門外 黃金町電車通 鍾路 龍山練兵町四

仁川宮町二 平壤郵便本局前 兼二浦本町 鎭南浦三和町 新義州常盤町 大田春日町一 群山東榮町 全州高砂町 光州本町 木浦榮町 大邱本町 釜山辨天町 馬山京町三 慶南統營面 甘浦港 元山本町二 咸興本町二 羅南生駒町

滿洲 安東縣四番通 撫順高砂町 奉天松島町 鐵嶺敷島町三 沙河口京町 大連磐城町 長春東一條通 哈爾賓傳家甸 營口永世街

にせドラッグあり有田ドラッグにて買取あれ

有田ドラッグ全國及海外專賣所所在地

大阪 三休橋北詰 心齋橋筋本町 道頓堀二井戶 千日前樂天地東 天神橋筋二 京町堀停留所 松島千代崎橋 花園橋電停前 船津橋北詰 惠美須電停北 阿部野橋南 阪急螢ケ池 堺市驛前 岸和田茜屋橋

近畿 京都三條京極 千本中立賣上 七條驛前 四條堀川 新道通丸太町 伏見平野町 大津丸屋町 彥根土橋町 奈良下三條町 高田驛前 和歌山本町二 新宮馬町 田邊榮町

山陽 神戶生田路切 宇治川停留所 永澤町停留所 兵庫御崎 御影停留所西 西宮東口 尼崎驛前 明石驛前通 姬路博勞町 高砂細工町 山崎富士野町 相生海岸通 洲本外通五 岡山西川橋 倉敷藥師前町 玉島戎町 笠岡仁王堂 津山材木町 宇野新道 高梁町 福山舟町 松永町今津町 府中本町 上下町 庄原本町 三次十日町 尾道十四日町 糸崎海岸通 三原西下町 河內驛前 因島土生町 瀨戶田町 木ノ江港町 竹原新開町 廣村大新開 吳中通四 海田市町 廣島西橫町 同天滿町 同新天地 同宇品町 可部町 警固屋町一 加計町 三川村古市橋 廿日市可愛町 岩國新町 柳井新市町 室津港本町 小松開作町 下松驛前町 德山驛上町 三田尻大正町 小郡米屋町 山口驛通 宇部常盤町 小野田南中川 下關驛前通 同取引所前 仙崎新町

山陰 萩魚屋町 福知山廣小路 中舞鶴上本町 舞鶴本町 豐岡驛前 鳥取二階町 倉吉瀨崎町 米子道笑町 境本町二 松江新大橋 安來町 今市登記所前 大田殿町

四國 高松百間町 坂出驛前 丸龜松屋町 觀音寺茂木町 松山千舟町 今治川岸町 宇和島錦町 西條榮町 三津濱町 大洲町 八幡濱大黑町 德島中通三 小松島驛前通 撫養町四軒家 高知桃形町 須崎町

九州 博多東濱町 門司棧橋町 小倉京町二 同馬借町一 戶畑新町一 枝光町 八幡市通町十 黑崎町 折尾驛前 若松中川通二 遠賀郡中間 直方殿町 同大正町 幸袋町穂波 天道町 津屋崎町 行橋町宮市 飯塚向町 伊田榮町 添田大正町 金田町 姪濱町 二日市八幡町 志免町 甘木八日町 大隈町 久留米庄島町 羽犬塚町 吉井新町 福島宮町 柳河城內本町 大牟田有明町 佐賀白山町 小城新小路 相知町 唐津大石町 伊万里驛前通 武雄松原町 鹿島町 神埼驛前 鳥栖藤木町 長崎濱町鐵橋 同三井銀行前 同浦五島町 佐世保下京町 諫早日町 島原町大手 大村本町 早岐中町 熊本細工町 同二十三裏門前 同上通町一 高瀨天滿町 松橋町 八代二ノ町 人吉二日町 水俣今町 天草本渡町 北小國宮原 鹿兒島東千石町 川內太平座通 鹿屋向江町 肝屬郡串良町 志布志町 宮崎廣島通 都城旭通一 小林町 妻町 飫肥町 高鍋新町 延岡本町 宮崎仲町 大分京町 別府中濱通三 坂ノ市町 佐伯町 杵築町 中津島田町 日田隈町

中京 名古屋榮町七 中央市場前 春日町一 熱田傳馬町 千種古井坂 岡崎能見町 豐橋大手通 新城町的場 一ノ宮大門町

北陸 富山市袋町 魚津町 高岡驛前 新湊町三 大門町 金澤香林坊 松任町 小松町 山代溫泉 七尾町 武生町 敦賀町 小濱町

信越 長野新田町 松本町 上田町 上諏訪町 小諸町 野澤町 伊那町 赤穂町 飯田傳馬町 新潟古町七 同 新發田町 三條町 寺泊町 長岡町 高田町

東海 橫濱 同 同 神奈川 川崎 鎌倉 橫須賀 平塚 小田原 三島 沼津本町 吉原 大宮 伊東 下田 江尻 靜岡

東京 日本橋通四 小傳馬町 神田 淺草 雷門 山谷 本所 牛込 深川 芝 三田 神明町 四谷 青山 北品川 龜戶 板橋 南千住 中澁谷 大塚 五反田 八王子八日町

關東 川越 熊谷 本庄 高崎 前橋 桐生 太田 足利 栃木 甲府 水戶 千葉 舟橋 佐原 茂原

奧羽 白河 郡山 若松 平 石ノ卷 仙台 遠野 一ノ戶

北海道 函館 小樽 札幌 旭川 室蘭 釧路 根室 他

樺太 大泊 豐原 眞岡 落合 泊居

朝鮮 京城南大門外 黃金町 鍾路 龍山 仁川 平壤 太田 群山 全州 光州 木浦 大邱 釜山 馬山 慶南 甘浦 元山 咸興 羅南

滿州 安東縣 撫順 奉天 鐵嶺 沙河口 大連 長春 哈爾賓 營口

沖繩 那覇

臺灣 基隆 臺北 臺中 嘉義 臺南 高雄

支那 北京 天津 青島 濟南 上海 漢口 廣東

米國

にせドラッグあり有田ドラッグにて

陸軍工廠作業開始

【大阪電報】九日朝大阪城東練兵場著の飛行機にて伊太利國の外務

橫濱蠶絲貿易

墺國公使任命

「自殺する」との書置